

2024 年 9 月 17 日公開

2024 年度秋学期 履修ガイド (授業時間割表)

商経学部

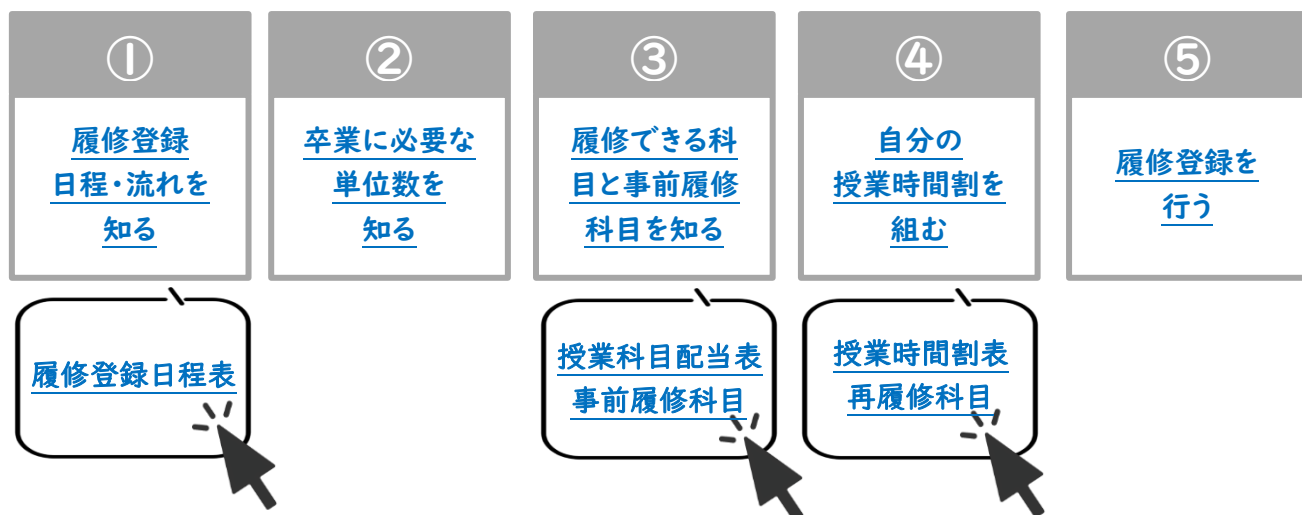
(2014～2024 年度入学者対象)

一目で分かる！

学修の流れ

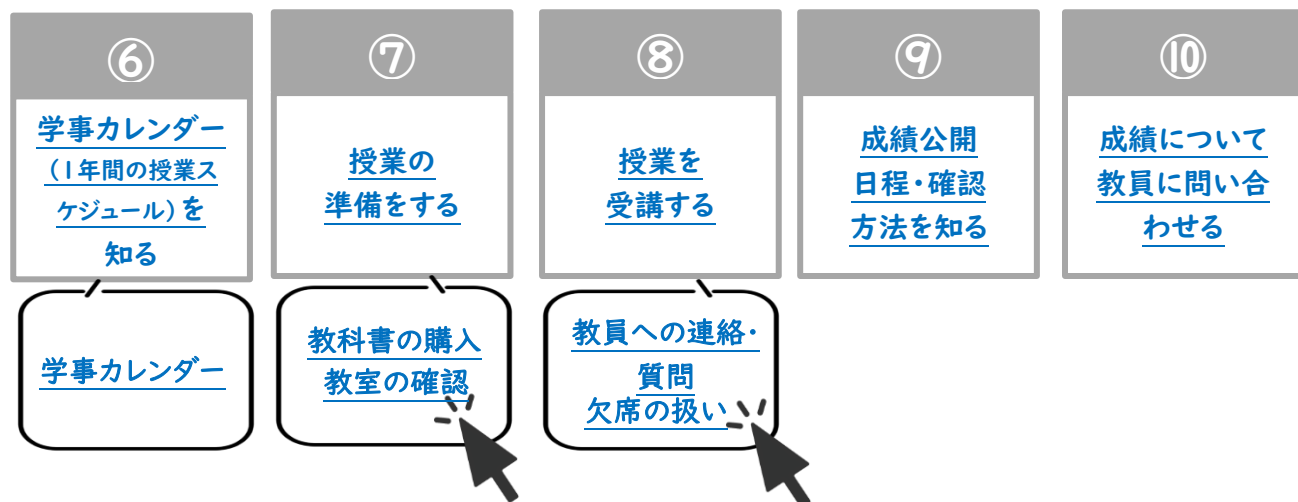
履修・授業・成績・卒業など学修に関わる一連の流れをここで確認しましょう！

履修



授業

成績



成績

卒業



? 履修ガイド（授業時間割表）の活用方法

その1. パソコンで閲覧すべし！

▶ スマートフォンは読みづらかったり、検索機能が使用できない可能性があります。パソコンで閲覧することを推奨します。

その2. リンク機能を使用すべし！

▶ 青字をクリックすると、該当のページへリンクします。

その3. 検索機能を活用すべし！

▶ PDFの「テキストまたはツールを検索」や「Ctrl + F」で、キーワード検索が可能です。わからないことがあったり、情報を探す際にぜひご利用ください。

履修・授業・成績・卒業に関する大学からの連絡は、CUC PORTALで掲示配信されます。

1日1回、CUC PORTAL掲示板を確認する習慣を身につけましょう！

<https://portal.cuc.ac.jp/uprx/>

CUC PORTAL>ログイン>基本機能>掲示板



目次

千葉商科大学 理念・教育方針.....	5
千葉商科大学 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー.....	6
学部長からのメッセージ.....	8
商経学部 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー.....	9
商学科、経済学科、経営学科 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー.....	11
商経学部 教育課程.....	14
教職課程.....	19
基盤教育機構(CUC 基盤教育科目群).....	21

履修.....23

①履修登録日程・流れを知る.....	23
▶ 履修登録日程表.....	23
②卒業に必要な単位数を知る.....	26
▶ 卒業要件.....	26
③履修できる科目と事前履修科目を知る.....	27
▶ 授業科目配当表.....	27
▶ 履修にあたり条件がある科目について.....	35
▶ 体育科目について.....	36
▶ 事前履修科目.....	37
▶ 単位認定申請方法.....	38
▶ コースについて.....	41
④自分の授業時間割を組む.....	46
手順1：履修登録できる単位数を確認する.....	46
手順2：授業時間割表を確認する.....	48
▶ 授業時間割表.....	48
手順3：各科目における注意点を確認する.....	66
▶ 再履修科目.....	66
▶ 授業科目読替・新設・廃止等科目一覧.....	68
手順4：気になる科目のシラバスを確認し、授業内容を把握する.....	73
手順5：自分の時間割を決める.....	73
⑤履修登録を行う.....	74

授業.....76

⑥学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）を知る.....	76
▶ 学事カレンダー.....	77
⑦授業の準備をする.....	79

▶ 教科書の購入.....	79
▶ 教室の確認.....	80
⑧授業を受講する.....	82
▶ 出席登録.....	82
▶ 遠隔授業の受講.....	83
▶ 休講・補講.....	86
▶ 課題の提出.....	87
▶ 教員への連絡・質問.....	87
▶ 欠席の扱い.....	88
▶ 不正行為.....	89
▶ 授業の受講以外の対応.....	89
成績.....	90
⑨成績公開日程・確認方法を知る	90
⑩成績について教員に問い合わせる	94
⑪証明書を発行する.....	96
卒業.....	97
⑫卒業者発表日程を知る	97
その他	98
千葉商科大学で身につける「CUC3 つの力」と「CUC6 つの能力要素」	98
カリキュラムマトリクスとカリキュラムマップ.....	99
ナンバリング.....	101
学籍	102
おすすめ検索キーワード集.....	104
内容別 事務問い合わせ先.....	105
よくある問い合わせまとめ.....	106

建学の趣旨

のうりよく そと ちやうよう じよ みと ため ところ じんかく ひかり あお てんどう おのずか いた
能力を外にして長幼の序を認め、為にする所なくして人格の光を仰ぎ、天道の自ら至るを
おそ じんりん まさ よ したが
恐れ人倫の當に依るべきに従う。
じんるい いっし そ こうえい ぞうしん ゆうよう がくじゆつ おさ しつじつ きふう やしな ゆ ところ そ
人類を一視して其の幸栄を増進し、有用の学術を修め質実の氣風を養い、適く所として其の
てんしよく まつと
天職を完うせんとす。

建学の精神

こんにちしやうぎやうどうとく たいはい すこぶ かんしん がいこくばうえき ふしん ひつきやう こ こ きた ゆえ
今日商業道德の頹廢は頗る寒心すべきものあり。外国貿易の不振も畢竟此处より来る。故に
じつぎやう か もの しやうぎやうどうとく ふ こ こと ぶ してきせいしん ちゆうにゆう もっと きゆうむ い
実業家となるべき者に商業道德を吹き込み殊に武士的精神を注入するは最も急務なりと謂
わざるべからず。

教育の理念

建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを本
学の教育の理念とする。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた
指導者」を指す。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とし、以下の力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

高い倫理観

- ◆実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラル

幅広い教養

- ◆実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力

専門的な知識・技能

- ◆実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力

上記の力を身につけるためのカリキュラムを編成・実施し、所定の単位の修得により学修成果を評価する。単位修得状況が一定の水準に満たない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

本学では、ディプロマ・ポリシーを教育の質保証を図るための起点とし、建学の精神および社会の要請に基づく教育の不断の改革・改善に努める。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とし、ディプロマ・ポリシーの達成のため、以下のカリキュラムを体系的に編成し実施する。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

本学のカリキュラムでは、実学を重んじ、実社会との連携とアクティブラーニングにより実践力を育成する。

初年次教育

多様な入学者が本学での主体的な学びに適応し、4年間を通じた学修の基礎を身につけ、専門研究へ導入することができるように、少人数での初年次ゼミを実施する。初年次ゼミでは、多様な人々と協働する上で必要となるコミュニケーション力、倫理観および実践力を身につけるための「グループワーク」を取り入れる。

基盤教育

全学部の学生が共通して、ディプロマ・ポリシーに定める幅広い教養と高い倫理観を身につけることができるように、初年次より教養、外国語、情報、簿記会計、体育、キャリア及び日本語関連などの基盤教育を実施する。

専門教育

実社会における諸課題を発見し、解決するための専門的な知識・技能を体系的な学修を通して段階的に身につけるために、初年次に基礎的な専門教育を実施し、2年次以降に有用かつ高度な専門的な知識・技能を身につけるための発展的な専門教育を実施する。

ゼミナール教育

発展的な専門知識・技能を修得するために、2年次以降にゼミナール教育を実施する。「研究」、「調査」、「グループワーク」、「グループディスカッション」および「プレゼンテーション」の積み重ねによって専門学修を深化させ、4年次にその集大成を行う。

さらに、本学では、各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価するとともに、科目間の関係性を可視化し、学生が体系的に履修・学修を行えるようにする。

学生の能動的な学修の充実に向け、履修科目の登録上限の設定による1科目あたりの学修時間の増加を図り、単位修得状況が一定の水準に満たない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

本学では、ディプロマ・ポリシーの達成のため、カリキュラム・ポリシーを教育課程の編成・実施における重要な位置づけとし、カリキュラム・ポリシーに沿った大学教育の不断の改革・改善に努める。

学部長からのメッセージ

学校教育法 83 条 1 項においては、「大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させることを目的とする」と定められています。これまで皆さんが学んできた小学校・中学校・高等学校においては普通教育（一部の高等学校では普通教育及び専門教育）がなされていたのに対し、大学においてはより高度かつ専門的な内容の教育及び研究がなされています。そして商経学部においては、商学・経済学・経営学・会計学を中心として、より高度かつ専門的な内容の教育及び研究がなされており、皆さんは数多くの専門的な知識を大学在学中に修得することとなります。

しかしながらそのような専門的な知識をただやみくもに修得することは効率的ではありません。いずれの学問分野の中においても数多くの分野に細分化されており、それらが基礎的分野から応用的分野に体系的に構築されています。従って数多くの分野を体系的に学ぶことにより、専門的な知識を効率的に修得することができます。この履修ガイドにおいては、専門的な知識を効率的に修得するためのいわば「道しるべ」が記載されているので、大学を卒業するまで大切に保管し、分からないことがあれば何度も目を通してください。

また大学は、自ら主体的に学ぶ場であり、社会の様々な課題を自分で見つけ解決していくための力を養うところです。社会で必要とされる基本的な能力である、論理的に物事を捉え分析する力、および自分の考えを相手に理解してもらうためのコミュニケーション力を、数多くの授業科目を通じてしっかり身につけてください。さらに自分の将来目標を設定し、その将来目標の達成のために自ら主体的・能動的に知識や能力を掴み取っていくことで、大学で学ぶ楽しさを実感してください。

商経学部長 松田和久

商経学部 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

商経学部 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

建学の精神に基づき、実学教育を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育理念とする。さらに商経学部では、伝統と実績を重んじ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、以下の高い倫理観、幅広い教養、専門的な知識・技能を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。実学は、座学と実践の融合によって体现される。

商経学部では、社会人として生きていくために必要な知識、技能、問題発見と解決能力を持つとともに、商学・経済学・経営学に関する幅広い専門的知識を身につけ、経済社会の発展に貢献する人材の育成に努める。

高い倫理観

◆商業・経済・経営に携わる局面で、主体的に判断・行動する際に求められる使命感と倫理観

幅広い教養

◆三言語（自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計）を基礎とした普遍的な知識と優れたコミュニケーション能力

専門的な知識・技能

◆ビジネス・経済社会の動きを理解し、問題を解決するために必要な商学・経済学・経営学に関する有用かつ高度な知識および技能

上記の力を身につけるためのカリキュラムを編成・実施し、所定の単位の修得により、学修成果を評価する。単位修得状況が一定の水準に達しない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

商経学部 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

商経学部では、伝統と実績を重んじ実学の真の楽しさ・面白さを追求し、ディプロマ・ポリシーの達成のため、以下のカリキュラムを体系的に編成し実施する。

商経学部の教育目的は、三言語（自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計）の修得を基礎に、商学、経済学、経営学を中心とした広い視野をもった専門知識を有する実社会で活躍できる人材を育成することである。すなわち、豊かな人間性と道徳性、幅広い教養と深い専門知識を有し、社会で有意な活動を行うことのできる人材の育成である。この教育目的を実現するために、全学部共通カリキュラムであるCUC基盤教育科目群の科目を通じて本学の学生として基盤となる知識の獲得と能力の醸成を行い、1年次は、初年次教育を中心に学び、2年次以降は、専門教育、ゼミナール教育およびアクティブラーニングによって専門的な知識・技能を学ぶ科目を配当する。

初年次教育

多様な入学者が商経学部での主体的な学びに適応し、学修の基礎を身につけ、ゼミナール教育へのスムーズな移行ができるように、研究基礎を少人数で実施する。研究基礎では、多様な人々と協働する上で必要となるコミュニケーション力、リテラシーおよび実践力を身に付けるための活動を実施する。

また、社会諸活動を行う上で根幹となる基礎的な知識・技能を身につけるため、商学分野、経済学分野、経営学分野及び簿記に関する基礎科目を配当する。

専門教育

商経学部では、初年次に各学科に基礎的な専門科目を必修または選択必修科目として設置する。2年次以降には、専門知識を多角的に身に付けさせるために、主専攻コース及び副専攻コースを選択する制度を設ける。主専攻コースとして、所属する学科に設置した3つのコースから1つ選択させ、副専攻コースとして、主専攻コースで選択したコース以外の所属学科のコース、他学科のコース、3つの共通副専攻コース（言語文化コース、情報コース、法学コース）の中から1つ選択させる。

ゼミナール教育

発展的な専門知識・技能を修得するために、2年次以降にゼミナール教育を実施する。2年次が研究I、3年次が研究II、4年次が卒業研究となる。ゼミナールは、幅広い分野の教員が担当する。ゼミナール教育では、研究、調査、プレゼンテーション等の積み重ねによって専門学修を深化させ、4年次の卒業研究において卒業研究論文または制作物を作成することを必須とする。

教員養成教育(教職課程)

教職課程の履修者に対し、1 年次に、学部学科における基礎的な学びとともに、教職や教育の基本的知識を身につける科目を配当する。2 年次には、学部学科での専門的な学びとともに、教科指導・生徒指導等の基本的知識・技術や生徒理解の基礎を身につける科目を配当する。3 年次には、学部学科でのより専門性の高い学びとともに、インターンシップも含めたアクティブラーニングによって教科指導・生徒指導等の実践的知識・技術を身につける科目を配当する。4 年次には、これまでの 3 年間の学びを総動員し、教育実習やインターンシップによって教科指導・生徒指導等の実践力を身につける科目を配当する。

商経学部では、各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価する。さらに GPA を導入することで学生の学修状況を把握し、指導に役立てている。

上記の区分ごとに決められた単位数を修得するとともに、合計 124 単位以上を修得することによってディプロマ・ポリシーで定める学位を授与する。

商学科、経済学科、経営学科 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

商学科 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

建学の精神に基づき、実学教育を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育理念とする。さらに商学科では、伝統と実績を重んじ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、以下の高い倫理観、幅広い教養、専門的な知識・技能を身につけ、所定の単位を修得した学生に学士（商学）の学位を授与する。実学は、座学と実践の融合によって体现される。商学科では、社会人として生きていくために必要な知識、技能、問題発見と解決能力を持つとともに、商学に関する幅広い専門的知識を身につけ、経済社会の発展に貢献する人材の育成に努める。

高い倫理観

- ◆商業に携わる局面で、主体的に判断・行動する際に求められる使命感と倫理観

幅広い教養

- ◆三言語（自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計）を基礎とした普遍的な知識と優れたコミュニケーション能力

専門的な知識・技能

- ◆ビジネス・経済社会の動きを理解し、問題を解決するために必要な商学に関する有用かつ高度な知識および技能

上記の力を身につけるためのカリキュラムを編成・実施し、所定の単位の修得により、学修成果を評価する。単位修得状況が一定の水準に達しない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

商学科 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

商学科の教育目的は、商品流通、貨幣流通、会計に関する知識を備えた人材を育成することであり、ディプロマ・ポリシーの達成のため、以下のカリキュラムを体系的に編成し実施する。

初年次教育

多様な入学者が商学科での主体的な学びに適応し、学修の基礎を身につけ、ゼミナール教育へのスムーズな移行ができるように、研究基礎を少人数で実施する。研究基礎では、多様な人々と協働する上で必要となるコミュニケーション力、リテラシーおよび実践力を身に付けるための活動を実施する。

また、社会諸活動を行う上で根幹となる基礎的な知識・技能を身につけるため、商学分野、経済学分野、経営学分野及び簿記に関する基礎科目を配当する。

専門教育

商学科では、「商学入門」、「経済学入門」、「経営学入門」、「初級簿記I」、「初級簿記II」を配当し、初年次に必修科目として学科所属の全学生が履修する。また、「マーケティング論I」、「ファイナンス入門」、「会計学総論I」、「会計学総論II」を配当し、選択必修科目として2科目以上を履修する。商学科には3つの主専攻コース「マーケティングコース」、「ファイナンスコース」、「アカウンティングコース」を設置する。コースに設置した科目から所定の単位数を修得する必要がある。

ゼミナール教育

発展的な専門知識・技能を習得するために、2年次以降にゼミナール教育を実施する。2年次が研究I、3年次が研究II、4年次が卒業研究となる。ゼミナールは、幅広い分野の教員が担当する。ゼミナール教育では、研究、調査、プレゼンテーションの積み重ねによって専門学修を深化させ、4年次の卒業研究において卒業研究論文または制作物を作成することを必須とする。

教員養成教育（教職課程）

教職課程の履修者に対し、1年次に、学部学科における基礎的な学びとともに、教職や教育の基本的知識を身につける科目を配当する。2年次には、学部学科での専門的な学びとともに、教科指導・生徒指導等の基本的知識・技術や生徒理解の基礎を身につける科目を配当する。3年次には、学部学科でのより専門性の高い学びとともに、インターンシップも含めたアクティブラーニングによって教科指導・生徒指導等の実践的知識・技術を身につける科目を配当する。4年次には、これまでの3年間の学びを総動員し、教育実習やインターンシップによって教科指導・生徒指導等の実践力を身につける科目を配当する。

商学科では、各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価する。さらにGPAを導入することで学生の学修状況を把握し、指導に役立てている。上記の区分ごとに決められた単位数を修得するとともに、合計124単位以上を修得することによってディプロマ・ポリシーで定める学位を授与する。

経済学科 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

建学の精神に基づき、実学教育を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育理念とする。さらに経済学科では、伝統と実績を重んじ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、以下の高い倫理観、幅広い教養、専門的な知識・技能を身につけ、所定の単位を修得した学生に学士（経済学）の学位を授与する。実学は、座学と実践の融合によって体现される。経済学科では、社会人として生きていくために必要な知識、技能、問題発見と解決能力を持つとともに、経済学に関する幅広い専門的知識を身につけ、経済社会の発展に貢献する人材の育成に努める。

高い倫理観

◆経済に携わる局面で、主体的に判断・行動する際に求められる主体的な使命感と倫理観

幅広い教養

◆三言語（自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計）を基礎とした普遍的な知識と優れたコミュニケーション能力

専門的な知識・技能

◆ビジネス・経済社会の動きを理解し、問題を解決するために必要な経済学に関する有用かつ高度な知識および技能

上記の力を身につけるためのカリキュラムを編成・実施し、所定の単位の修得により、学修成果を評価する。単位修得状況が一定の水準に達しない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

経済学科 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

経済学科の教育目的は、経済の仕組み、市場経済の法則を理解できる人材を育成することであり、ディプロマ・ポリシーの達成のため、以下のカリキュラムを体系的に編成し実施する。

初年次教育

多様な入学者が経済学科での主体的な学びに適應し、学修の基礎を身につけ、ゼミナール教育へのスムーズな移行ができるように、研究基礎を少人数で実施する。研究基礎では、多様な人々と協働する上で必要となるコミュニケーション力、リテラシーおよび実践力を身に付けるための活動を実施する。

また、社会諸活動を行う上で根幹となる基礎的な知識・技能を身につけるため、商学分野、経済学分野、経営学分野及び簿記に関する基礎科目を配当する。

専門教育

経済学科では、「経済学入門」、「商学入門」、「経営学入門」、「初級簿記Ⅰ」、「初級簿記Ⅱ」を配当し、初年次に必修科目として学科所属の全学生が履修する。また、「ミクロ経済学基礎」、「マクロ経済学基礎」、「経済統計基礎」、「政治経済学基礎」を配当し、選択必修科目として2科目以上を履修する。経済学科には3つの主専攻コース「国際経済コース」、「公共経済コース」、「地域経済コース」を設置する。コースに設置した科目から所定の単位数を修得する必要がある。

ゼミナール教育

発展的な専門知識・技能を習得するために、2年次以降にゼミナール教育を実施する。2年次が研究Ⅰ、3年次が研究Ⅱ、4年次が卒業研究となる。ゼミナールは、幅広い分野の教員が担当する。ゼミナール教育では、研究、調査、プレゼンテーションの積み重ねによって専門学修を深化させ、4年次の卒業研究において卒業研究論文または制作物を作成することを必須とする。

経済学科では、各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価する。さらにGPAを導入することで学生の学修状況を把握し、指導に役立てている。上記の区分ごとに決められた単位数を修得するとともに、合計124単位以上を修得することによってディプロマ・ポリシーで定める学位を授与する。

経営学科 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

建学の精神に基づき、実学教育を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育理念とする。さらに経営学科では、伝統と実績を重んじ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、以下の高い倫理観、幅広い教養、専門的な知識・技能を身につけ、所定の単位を修得した学生に学士（経営学）の学位を授与する。実学は、座学と実践の融合によって体现される。経営学科では、社会人として生きていくために必要な知識、技能、問題発見と解決能力を持つとともに、経営学に関する幅広い専門的知識を身につけ、経済社会の発展に貢献する人材の育成に努める。

高い倫理観

- ◆経営に携わる局面で、主体的に判断・行動する際に求められる使命感と倫理観

幅広い教養

- ◆三言語（自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計）を基礎とした普遍的な知識と優れたコミュニケーション能力

専門的な知識・技能

- ◆ビジネス・経済社会の動きを理解し、問題を解決するために必要な経営学に関する有用かつ高度な知識および技能

上記の力を身につけるためのカリキュラムを編成・実施し、所定の単位の修得により、学修成果を評価する。単位修得状況が一定の水準に達しない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

経営学科 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

経営学科の教育目的は、企業組織と経営の在り方を学び、資本・人材・技術力の活用と運営ができる人材を育成することであり、ディプロマ・ポリシーの達成のため、以下のカリキュラムを体系的に編成し実施する。

初年次教育

多様な入学者が経営学科での主体的な学びに適応し、学修の基礎を身につけ、ゼミナール教育へのスムーズな移行ができるように、研究基礎を少人数で実施する。研究基礎では、多様な人々と協働する上で必要となるコミュニケーション力、リテラシーおよび実践力を身に付けるための活動を実施する。

また、社会諸活動を行う上で根幹となる基礎的な知識・技能を身につけるため、商学分野、経済学分野、経営学分野及び簿記に関する基礎科目を配当する。

専門教育

経営学科では、「経営学入門」、「商学入門」、「経済学入門」、「初級簿記Ⅰ」、「初級簿記Ⅱ」を配当し、初年次に必修科目として学科所属の全学生が履修する。また、「中小企業論入門」、「経営管理論」、「会計学総論Ⅰ」、「会計学総論Ⅱ」を配当し、選択必修科目として2科目以上を履修する。経営学科には3つの主専攻コース「ビジネスマネジメントコース」、「経営診断・起業コース」、「アカウントティングコース」を設置する。コースに設置した科目から所定の単位数を修得する必要がある。

ゼミナール教育

発展的な専門知識・技能を習得するために、2年次以降にゼミナール教育を実施する。2年次が研究Ⅰ、3年次が研究Ⅱ、4年次が卒業研究となる。ゼミナールは、幅広い分野の教員が担当する。ゼミナール教育では、研究、調査、プレゼンテーションの積み重ねによって専門学修を深化させ、4年次の卒業研究において卒業研究論文または制作物を作成することを必須とする。

教員養成教育（教職課程）

教職課程の履修者に対し、1年次に、学部学科における基礎的な学びとともに、教職や教育の基本的知識を身につける科目を配当する。2年次には、学部学科での専門的な学びとともに、教科指導・生徒指導等の基本的知識・技術や生徒理解の基礎を身につける科目を配当する。3年次には、学部学科でのより専門性の高い学びとともに、インターンシップも含めたアクティブラーニングによって教科指導・生徒指導等の実践的知識・技術を身につける科目を配当する。4年次には、これまでの3年間の学びを総動員し、教育実習やインターンシップによって教科指導・生徒指導等の実践力を身につける科目を配当する。

経営学科では、各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価する。さらに GPA を導入することで学生の学修状況を把握し、指導に役立てている。上記の区分ごとに決められた単位数を修得するとともに、合計124単位以上を修得することによってディプロマ・ポリシーで定める学位を授与する。

商経学部 教育課程（2019～2024年度入学者対象）

科目の区分

科目区分は、「CUC 基盤教育科目群」「レクチャー科目群」「セミナー科目群」「教職課程（※）」「自由科目」の科目群に分かれます。※2023年度以降入学者は商学科および経営学科のみ

科目の概要

【CUC 基盤教育科目群】

CUC 基盤教育科目群は、共通教養科目（人文科学・社会科学・自然科学より各 2 単位以上を含む）12 単位以上、外国語科目 12 単位以上（選択必修科目 12 単位を含む）、情報科目 2 単位（必修科目 2 単位）、体育科目 2 単位以上（必修科目 2 単位を含む）、計 28 単位以上を修得することが卒業の要件となります。詳細は、[基盤教育機構](#)のページを参照してください。

【レクチャー科目群】

レクチャー科目群は、学部共通基礎科目 10 単位、学科基礎科目 4 単位以上、主専攻コース科目 12 単位以上、副専攻コース 8 単位以上を含む 54 単位以上を修得することが卒業の要件となります。

また、レクチャー科目群は、主として 1 年次に専門の基礎科目群が各学科に配当されており、必修や選択必修になっている学科もあります。2 年次以降、専攻科学科目を学んでいくための基礎及びコースを選択する際の指針ともなるので、これらの科目は 1 年次に修得しておきましょう。もし、修得できなかったときは、次の学期で修得するように心がけてください。

また、レクチャー科目群の科目は、商学、会計学、経済学、経営学、法学、情報科学、語学等、さまざまな専門分野に分かれています。主として、2 年次より専攻科学科目を履修していくことになり、同時にコースを選択することになります。コース選択の詳細については、[コースについて](#)を確認してください。

（Ⅰ）学部共通基礎科目

「初級簿記Ⅰ・Ⅱ」、「商学入門」、「経済学入門」、「経営学入門」が、学部共通基礎科目の必修科目です。

α 「初級簿記Ⅰ・Ⅱ」について

1 年次に配当された「初級簿記Ⅰ・Ⅱ」各 2 単位（合計 4 単位）が必修科目です。なお、日商簿記 1 級・2 級・3 級の資格を取得している者は、申請により「初級簿記Ⅰ・Ⅱ」の単位を認定します。また、単位認定申請者は、日商簿記検定の取得級に応じて、2 年次生以降に配当されている上級科目を履修することができます。

履修できる科目については、以下の表を参照してください。

日商簿記検定取得級	授 業 科 目
1 級または 2 級合格者	中級簿記Ⅰ・Ⅱ、工業簿記Ⅰ・Ⅱ、上級簿記Ⅰ・Ⅱ
3 級合格者	中級簿記Ⅰ・Ⅱ、工業簿記Ⅰ・Ⅱ

b 「商学入門」「経済学入門」「経営学入門」について

下表の通り、学科によって配当学期が異なりますので、確認してください。

学科	I 年次春学期	I 年次秋学期
商学科	商学入門	経済学入門
		経営学入門
経済学科	経済学入門	商学入門
経営学科	経営学入門	

(2) 学科基礎科目

各学科の専門科目を学ぶ上で基礎となる科目を、学科別に 4 科目ずつ設置しています。これらは、アの学部共通基礎科目の上級となる科目であり、選択必修科目として自学科の学科基礎科目群より 2 科目以上修得することが卒業の要件となります。なお、学部共通基礎科目の上級となる科目であることから、I 年次秋学期以降に履修することを推奨します。

また、自学科以外の学科基礎科目は、選択科目として履修することも可能です。各学科基礎科目の詳細については、下表を確認してください。

学科	学科基礎科目（I 年次秋学期以降に履修することを推奨）			
商学科	マーケティング論 I	ファイナンス入門	会計学総論 I	会計学総論 II
経済学科	ミクロ経済学基礎	マクロ経済学基礎	経済統計基礎	政治経済学基礎
経営学科	経営管理論	中小企業論入門	会計学総論 I	会計学総論 II

【セミナー科目群】

セミナー科目群は、全学年の必修科目であり、合計 14 単位修得することが卒業の要件となっています。

いわゆるゼミナール形式の少人数授業であり、教員の講義を聴くのみというわけではありません。学生同士が同一教材等をもとに議論しあいながら知識を深め、問題発見・解決の方法を学ぶ「学修訓練の場」として重要な科目です。

I 年次の「研究基礎 A・B」は、大学生としての学び方を訓練するための導入基礎科目です。重要な科目の一つですので、必ず I 年次で修得してください。修得できなかったときは、必ず次の学期で履修し、単位を修得してください。

また、2 年次からの「研究 I」、3 年次の「研究 II A・B」、4 年次の「卒業研究 A・B」は、原則として同一の教員のゼミに所属します。4 年次の「卒業研究 A・B」では、卒業研究論文を執筆して提出しなければなりません。セミナー科目は、さまざまな分野の科目があるので、コースの選択と同様に、自分が学びたい分野や興味関心に合わせて慎重に選択してください。

配当年次	春学期	秋学期
1	研究基礎 A	研究基礎 B
2		研究 I
3	研究 II A	研究 II B
4	卒業研究 A	卒業研究 B

注：セミナー科目は、「研究 I → 研究 II → 卒業研究」の順で単位修得することが望まれますが、いずれかの科目が不合格になった場合は、「研究 I と研究 II」あるいは「研究 II と卒業研究」という組み合わせで 2 科目までの同時履修を認めることがあります。ただし、『「卒業研究」の履修には、「研究 I」の単位修得』が、『「研究 II」の履修には「研究基礎 A・B」の単位修得』がそれぞれ必要な条件とされていますので、注意してください。

【教職科目】

教職科目は、卒業後に教員を目指す者が教育職員免許状を取得するために、必ず修得しなければならない科目です。詳細については、[教職課程](#)を確認してください。（2023年度以降入学者は商学科および経営学科の学生のみ履修可能です）

【自由科目】

自由科目は、単位を修得しても卒業に必要な単位に含まれない科目です。自由科目には、「中級簿記特講」が設置されています。

授業科目配当表

入学年度及び学科ごとにカリキュラムが異なりますので、履修登録の際には注意してください。詳しくは、[授業科目配当表](#)を参照し、自身が所属している学科の授業科目配当表を確認してください。

※2018 年度以前入学者は、「履修ガイド 2018 年度以前入学者補足版」を確認してください。

コース制

商経学部では、コース制を設けています。コースの選択は、主専攻と副専攻に分かれ、主専攻は所属学科に配当されているコースから選択します。副専攻は、商経学部全体に設置されているコースから自由に選択できます。自身の目標にあわせたコースを選択し、まとまりのある分野の科目を体系立てて履修するようにしましょう。

コース選択については、1 年次の秋学期に説明がありますので、自分の目標を見定めながら慎重に選択してください。なお、選択したコースに配当されていないレクチャー科目を受講することもできます。詳細については、[コースについて](#)を参照してください。

※2018 年度以前入学者は、「履修ガイド 2018 年度以前入学者補足版」を確認してください。

早期卒業制度

商経学部では、きわめて優秀かつ勉学意欲のある学生が、本人の強い意志により効率的な自己の能力の研鑽及びキャリアアップを達成できるよう、3年で卒業できる「早期卒業制度」を導入しています。

早期卒業をするためには、2年次終了時に次の要件をすべて満たし、早期卒業希望者として申請する必要があります。

ア 2年次終了日までに卒業に必要な修得単位数を80単位以上修得していること。

イ 次のa～cのいずれかに該当すること。

a) 上記アの単位に関する累積GPAが3.5以上であること

b) 中小企業診断士Ⅰ次試験Ⅰ科目以上、税理士試験Ⅰ科目以上、公認会計士短答式試験、日本商工会議所主催簿記検定試験Ⅰ級または全国経理教育協会主催簿記検定試験上級のいずれかに合格していること

c) 上記アの単位に関する累積GPAが3.0以上であって、中小企業診断士Ⅰ次試験、税理士試験、公認会計士短答式試験、日本商工会議所主催簿記検定試験Ⅰ級、または全国経理教育協会主催簿記検定試験上級のいずれかの資格試験合格を目指していること

ウ 本学の大学院への進学を希望していること

注：商経学部早期卒業制度での入学が認められている本学大学院は、商学研究科（修士課程）、会計ファイナンス研究科（専門職学位課程）です。

早期卒業希望申請が承認され、3年次終了時において次の要件をすべて満たした場合は、早期卒業を認めます。

ア 卒業に必要な単位（124単位）をすべて修得していること。

イ 次のa、bのいずれかに該当すること。

a) 上記アの単位に関する累積GPAが3.5以上であること

b) 上記アの単位に関する累積GPAが3.0以上であって、中小企業診断士Ⅰ次試験Ⅰ科目以上、税理士試験Ⅰ科目以上、公認会計士短答式試験、日本商工会議所主催簿記検定試験Ⅰ級、または全国経理教育協会主催簿記検定試験上級のいずれかに合格していること。

ウ 本学が指定する大学院入試に合格し、進学手続きをとっていること。

資格取得単位認定

商経学部では、対象資格を取得し、大学に申請することで単位を認定することができます。対象資格、単位認定する科目については、下表を確認してください。申請期間等の詳細については、[単位認定申請方法について](#)を参照してください。

学部	該当資格	認定科目	認定時期	注意事項
【商経学部】 (2019年度以降 入学者対象)	実用英語技能検定準2級 ※英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱの中から 1科目選択可能	英語(A)Ⅰ	1年次 秋学期～	■英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱについて ①必修英語の選択者で、再履修クラスを履修する必要がある(必修英語科目の単位を1度落としている)学生のみ対象となります。 ②準2級による単位認定者が次学期以降に2級を取得した場合、追加で単位認定ができる科目は1科目となります。
		英語(B)Ⅰ		
		英語(C)Ⅰ		
		英語(A)Ⅱ		
		英語(B)Ⅱ		
		英語(C)Ⅱ		
	ITパスポート試験	情報科学概論	1年次～	
	基本情報技術者試験	プログラミングⅠ	2年次～	
	日商簿記検定試験1級	初級簿記Ⅰ・Ⅱ	1年次～	
	日商簿記検定試験2級			
	日商簿記検定試験3級			
	日商簿記検定試験1級	中級簿記特講		
	日商簿記検定試験2級			
【商経学部】 (2018年度以前 入学者対象)	ITパスポート試験	情報科学概論	1年次～	■1年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱ 2年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱについて ①必修英語の選択者で、再履修クラスを履修する必要がある(必修英語科目の単位を1度落としている)学生のみ対象となります。 ②準2級による単位認定者が次学期以降に2級を取得した場合、追加で単位認定ができる科目は2科目までとなります。
	基本情報技術者試験	プログラミングⅠ	2年次～	
	実用英語検定準2級 ※1年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱ及び 2年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱの 中から2科目選択可能	1年英語(A)Ⅰ	1年次～	
		1年英語(B)Ⅰ		
		1年英語(C)Ⅰ		
		1年英語(A)Ⅱ		
		1年英語(B)Ⅱ		
		1年英語(C)Ⅱ		
		2年英語(A)Ⅰ		
		2年英語(B)Ⅰ		
		2年英語(C)Ⅰ		
		2年英語(A)Ⅱ		
	2年英語(B)Ⅱ			
	2年英語(C)Ⅱ			
	実用英語技能検定2級 ※1年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱ及び 2年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱの中 から4科目選択可能	初級簿記Ⅰ・Ⅱ		
			日商簿記検定試験1級	
			日商簿記検定試験2級	
		日商簿記検定試験3級	中級簿記特講	
		日商簿記検定試験1級		
		日商簿記検定試験2級		
		日商簿記検定試験2級		

教職課程

教職課程は、教員になるために必要な学修課程です。教員になるためには、教員免許状を取得しなければなりません。教員免許状は法令によって取得条件が細かく決められており、そのための手続きも複雑です。また、卒業に必要な単位の他に、教育職員免許法に基づく教職課程関連科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。原則として、入学年度の教職課程ハンドブック（教職課程履修説明会時配布）に示されたものが卒業まで適用されますので、よく読んで理解するようにしてください。

教職課程に関する詳細、不明な点については、教務課まで問い合わせてください。

参考 HP : https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/teach_licence/index.html

ア. 本学で取得できる免許状の種類及び教科

学科	免許状の種類	免許教科
商学科	高等学校教諭一種免許状	商 業 情 報
経済学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 ※
経営学科	高等学校教諭一種免許状	商 業

イ. 免許法に定められた基礎資格及び最低修得単位数

所要資格 免許状の種類		基礎資格	大学における最低修得単位数		
			教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	英 語※	学士の学位を有すること	28	27	4
高等学校教諭一種免許状	商 業 情 報 英 語		24	23	12

※「英語」については 2022 年度以前入学者までが対象となります。

中学校教諭一種免許状

教科及び教科の指導法に関する科目 28 単位以上、教育の基礎的理解に関する科目等 27 単位以上、大学が独自に設定する科目 4 単位以上、合計 59 単位以上修得しなければなりません。

高等学校教諭一種免許状

教科及び教科の指導法に関する科目 24 単位以上、教育の基礎的理解に関する科目等 23 単位以上、大学が独自に設定する科目 12 単位以上、合計 59 単位以上修得しなければなりません。

ウ．教職課程の履修について

①教員免許状を取得する場合は、以下の教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目の単位修得が必要になります。

・基礎体育学実習

・体育学実習Ⅰ

・外国語（Ｃ）Ⅱ

※英語、中国語のいずれかを選択（Ⅰ年次選択必修科目）

・情報入門

・日本国憲法

②教育実習の履修については、指定された各年次及び各セメスター、または全学年において履修要件が設定されています。履修要件を満たしていない場合は、４年次での教育実習の履修が許可されませんので、注意してください。

エ．教職課程履修費について

入学時またはそれ以降に教職課程の履修手続きをした者は、取得希望免許数に関わらず、２年次春学期の学費納付期日までに一律 40,000 円を一括納付してください。

基盤教育機構(CUC 基盤教育科目群)

基盤教育機構 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

本学では、創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」（大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者）としての基盤を形成するため、全学部の学生が共通に学ぶ「CUC基盤教育科目群」を設ける。

CUC基盤教育科目群では、主として、ディプロマ・ポリシーに定める「幅広い教養」及び「高い倫理観」を身につけるため、次のとおりカリキュラムを編成し実施する。

共通教養科目

多様な学問の核心に触れることで、治道家たるにふさわしい知の基盤を築く。すなわち、現実社会の諸問題を発見し分析する上で基盤となる知識や方法を身につけ、豊かな人間性と幅広い視野にもとづき、高い倫理観をもってものごとを判断する力を育む。この目的のために、人文科学、社会科学および自然科学の3領域からなるカリキュラムを編成し、初年次より実施する。各学問の考え方をより体系的に理解し修得できるように、主として講義形式にて実施する。

外国語科目

多様な言語や文化を背景に持つ人々と協働する上で基盤となる外国語に関する普遍的な知識・技能を身につけるために、各種の外国語からなるカリキュラムを編成し、初年次より実施する。特に、英語及び中国語については、基礎的な内容に加え、実社会において活用するための実践的な内容を取り入れる。コミュニケーション力と実践力を培うとともに、より多くの知識を体系的に修得できるように、主として、少人数での演習または講義形式にて実施する。

情報科目

大学生活のみならず、実社会で働く上で基盤となる情報通信技術（ICT）に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、情報社会において必要となる情報を正しく扱う行動規範（情報倫理）を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。実践力を培うことができるように、主として、コンピュータを用いた演習形式にて実施する。

簿記会計科目

実社会で働く上で基盤となる簿記会計に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、商業道德の基礎となる素養を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。さらに、実社会において活用するための実践的な内容を取り入れる。より多くの知識を体系的に修得できるように、主として、演習を取り入れた講義形式にて実施する。

体育科目

スポーツや健康増進の活動を通じて、学修の基盤となる心身の健康を獲得するとともに、生涯にわたり豊かなライフスタイルを形成するための基礎的な知識や技能を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。主体性とチャレンジ精神を育むとともに、コミュニケーション力を培うことができるように、主として、実技形式にて実施する。

キャリア科目

実社会で働く上で基盤となる知識・技能・態度を身につけ、職業意識を育むとともに、自己のキャリアを通じて学修成果を実社会の課題解決に活かすために、初年次より段階的なカリキュラムを編成し実施する。主体性と社会規範意識を育み、コミュニケーション力と実践力を培うことで、多様な人々との協働に必要な人間性を形成することができるように、主として、演習または講義形式の授業を実施する。

日本語関連科目

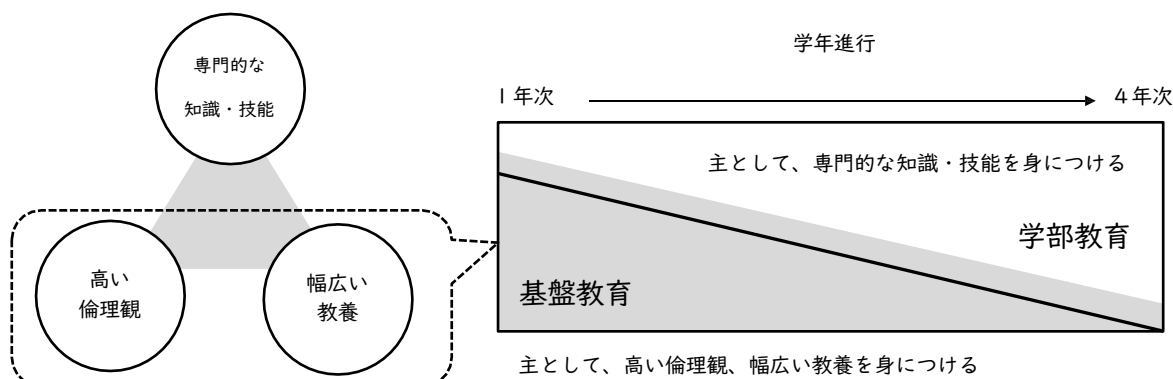
大学生活における学修と実社会で働く上で基盤となる日本語に関する基礎的な知識・技能を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。レポートや論文などで自らの考えや意見を論理的に表現する力を培うとともに、留学生を対象とした授業においては、「読む」「聴く」「書く」「話す」という4技能を取り入れた内容を通じて、コミュニケーション力と実践力を培う。主として、演習または講義形式にて実施する。

上記の各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価するとともに、科目間の関係性を可視化し、学生が体系的に履修・学修を行えるようにする。また、社会の要請及び学生のニーズにもとづき、定期的なカリキュラムの点検及び見直しを行う。

基盤教育機構 教育編成

千葉商科大学では、全学部生の基盤教育として、「CUC 基盤教育科目群」を各学部の卒業要件科目に配当しています。本学卒業生に必要とされる「CUC3 つの力（専門的な知識・技能、高い倫理観、幅広い教養）」のうち、主に「高い倫理観」と「幅広い教養」に重点を置いたカリキュラム構成となっています。

<学部教育と基盤教育の役割と学年進行のイメージ>



基盤教育機構 科目区分

CUC 基盤教育科目群は、7 つの科目区分から構成されます。各科目は卒業要件単位数として算定されます。学部によって卒業要件区分単位数が異なりますので、各学部別の卒業要件を確認してください。

ア. 共通教養科目

人文科学、社会科学および自然科学の3領域からなるカリキュラムを編成しています。

イ. 外国語科目

6 つの言語（英語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語）からなるカリキュラムを編成しています。

ウ. 情報科目

大学生活のみならず、実社会で働く上で基盤となる情報通信技術（ICT）に関する基礎的な知識・技能を修得することを目的としたカリキュラムを編成しています。

なお、「情報入門」は必修科目として配当しています。

エ. 簿記会計科目

実社会で働く上で基盤となる簿記会計に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、商業道德の基礎となる素養を身につけるためのカリキュラムを編成しています。

オ. 体育科目

スポーツや健康増進の活動を通じて、学修の基盤となる心身の健康を獲得するとともに、生涯にわたり豊かなライフスタイルを形成するための基礎的な知識や技能を身につけるためのカリキュラムを編成しています。

カ. キャリア科目

実社会で働く上で基盤となる知識・技能・態度を身につけ、職業意識を育むとともに、自己のキャリアを通じて学修成果を実社会の課題解決に活かすために、初年次より段階的なカリキュラムを編成しています。

キ. 日本語関連科目

大学生活における学修と実社会で働く上で基盤となる日本語に関する基礎的な知識・技能を身につけるためのカリキュラムを編成しています。

履修

■履修登録とは

履修登録とは、学期の初めに、その学期の学修計画に基づき決定した授業科目を各自で登録する最も重要な手続きの一つです。時間割の作成と履修登録の手続きは各自の責任で行う必要があります。

履修ガイド（授業時間割表）やシラバスをよく確認し、自身の学修計画に従って責任をもって履修登録を行ってください。

①履修登録日程・流れを知る

以下履修登録日程を確認の上、履修登録を行ってください。

履修登録期間外は、いかなる理由であっても履修登録や修正を受け付けませんので、十分注意してください。

※CUC PORTAL は毎日午前 3：00～午前 5：00 はシステムメンテナンスのため利用できません。履修登録を行う際には留意し、時間に余裕をもって申請してください。

※アクセスが集中している時は繋がりにくくなりますので、時間をおいて行ってください。

【履修登録日程表】

日程・期間	履修登録種類	左記期間の説明		
		事前履修 科目	定員設定 科目	概要
9 月 17 日(火)12 時以降	【希望者のみ対象】単位認定申請（第 2 期申請）※詳細は「 単位認定申請について 」参照			
10 月 1 日(火)9 : 00	事前履修科目公開	-	-	・ CUC PORTAL「学生時間割表」画面より事前履修科目の登録状況を確認できます。 （履修することが決まっている事前履修科目は、自分で履修登録を行う前に各自の時間割に登録されています）
1 年生 10 月 1 日(火)10 : 00 ～10 月 4 日(金)13 : 00	<u>一次履修登録期間</u> <u>(抽選)</u>	変更不可	登録可能	・ CUC PORTAL「抽選希望登録」画面より定員設定科目の申し込みが可能です。 ・ 申込数が定員数を超過した場合、抽選で履修当落が決定します。
2 年生 10 月 1 日(火)12 : 00 ～10 月 4 日(金)13 : 00				※期間中は登録内容の変更が可能です。 ※学年毎に期間が異なります。
3 年生 10 月 1 日(火)14 : 00 ～10 月 4 日(金)13 : 00				
4 年生 10 月 1 日(火)16 : 00 ～10 月 4 日(金)13 : 00				
10 月 1 日(火)以降	教科書販売開始 ※詳細は「 教科書の購入 」参照			

日程・期間	履修登録種類	左記期間の説明		
		事前履修科目	定員設定科目	概要
10月5日(土)9:00	抽選結果発表	-	-	・CUC PORTAL「学生時間割表」画面より抽選科目申込結果の確認ができます。 ・抽選で当選した科目のみ、時間割表へ登録され、落選した科目は時間割表に反映されません（落選通知は行いません） ・落選した場合は、別科目を二次履修登録期間（先着）で登録することを検討してください。
1年生： 10月7日(月)13:00 ～10月9日(水)13:00	<u>二次履修登録期間</u> <u>(先着)</u>	変更不可	登録可能 取消可能	・履修科目の追加および取消が可能です。 ・定員が満たされていない科目を、先着順で登録できます。期間中は定員充足状況が変動しますので、定員に空きが出たか都度確認してください。 ・事前履修科目および必修科目以外は取り消すことが可能です。 ※学年毎に期間が異なります。 ※履修内容にエラーが残された状態だと、履修登録を完了できません。 エラー解消をしたうえで手続きを完了させてください。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。
2年生： 10月7日(月)12:00 ～10月9日(水)13:00				
3年生： 10月7日(月)11:00 ～10月9日(水)13:00				
4年生： 10月7日(月)10:00 ～10月9日(水)13:00				
10月11日(金)	秋学期授業開始			
10月17日(木)10:00 ～10月23日(水)13:00	<u>三次履修登録期間</u> <u>(修正)</u>	変更不可	登録可能 取消可能	・履修科目の追加および取消が可能です。 ・定員が満たされていない科目を、先着順で登録できます。期間中は定員充足状況が変動しますので、定員に空きが出たか都度確認してください。 ・事前履修科目および必修科目以外は取り消すことが可能です。 ※履修内容にエラーが残された状態だと、履修登録を完了できません。 エラー解消をしたうえで手続きを完了させてください。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。
11月20日(水)10:00 ～11月22日(金)13:00	履修取消期間	変更不可	登録不可 取消可能	・履修科目の取消が可能です。追加はできません。 ・事前履修科目および必修科目以外は取り消すことが可能です。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。

Q A よくある問い合わせ

Q 一次履修登録期間（抽選）で、抽選科目申込をし忘れてしまったが、どうしたらよいか。救済措置はあるか。

A 二次履修登録期間（先着）および三次履修登録期間（修正）で定員に空きがある抽選科目の追加登録が可能です。

Q 履修登録期間外だが、履修を変更（追加・取消）することは可能か。

A 履修登録期間外は、一切履修を変更できません。
履修取消できなかった科目の受講継続有無はご自身で判断してください。なお、受講を継続しない場合も成績評価はされますので、GPA の算出にも影響があることをご理解の上ご判断ください。

Q 三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、授業第 1 回目時点ではまだ履修登録が完了していないが、第 1 回目から出席してもよいか。

A 履修登録が完了していない科目は、出席できません。
ほぼ全ての科目で履修定員を設定しており、定員に応じた席数の教室を設定しています。履修登録していない学生が教室に行くことで、履修登録している学生の席がなくなる可能性がありますので、出席はしないでください。

Q 三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、出席しなかった授業第 1 回目の授業資料が欲しい。

A 履修登録完了後、担当教員にお問い合わせください。教員によっては、すでにクラスプロファイル授業資料などから資料を公開している可能性もございます。

Q 履修取消した科目は、取消以降は出席しなくてよいのか。GPA に影響はあるか。

A 履修取消する科目の授業に出席する必要はありません。また、GPA の算出にも影響しません。

②卒業に必要な単位数を知る

本学に4年（3年次編入学した者は2年）以上在学（休学期間を除く）し、以下に掲げる卒業要件を充足して、124単位以上修得した者は卒業が認定されます。

卒業するためには、科目区分ごとに定められた卒業要件単位数を修得することと、合計で124単位以上修得することが必要です。

ただし、科目区分ごとに定められた卒業要件単位数を合計しても、124単位には足りません。興味を持ってより深めたいと思った科目群などを多く履修し、合計単位数を満たす必要があります。

気になる人はチェック

☞卒業要件科目の科目群の説明など詳細を確認したい場合は、[教育課程](#)を確認してください。

☞きわめて優秀かつ勉学意欲のある学生が、本人の強い意志により効率的な自己の能力の研鑽及びキャリアアップを達成できるよう、3年で卒業できる「早期卒業制度」を導入しています。早期卒業を希望する場合は、[早期卒業制度](#)を確認してください。

【2019年度以降入学者】卒業要件

区 分	単 位 履 修 要 件		
CUC基盤教育科目群	共通教養科目	人文科学	2 単位以上
		社会科学	2 単位以上
		自然科学	2 単位以上
	小 計		1 2 単位以上
	外国語科目		1 2 単位以上
	情報科目		2 単位以上
	簿記会計科目		0 単位以上
	体育科目		2 単位以上
	キャリア科目		0 単位以上
	日本語関連科目		0 単位以上
小 計		2 8 単位以上	
レクチャー科目群	学部共通基礎科目		1 0 単位
	学科基礎科目		4 単位以上
	主専攻コース		1 2 単位以上
	副専攻コース		8 単位以上
小 計		5 4 単位以上	
セミナー科目群			1 4 単位
卒業必要単位合計			1 2 4 単位以上

※上記以外に、任意選択（どの科目群の選択科目でもよい）科目28単位が卒業要件単位に算入され、合計124単位となります。

※2018年度以前入学者は、「履修ガイド2018年度以前入学者補足版」を確認してください。

③履修できる科目と事前履修科目を知る

授業科目の種類

授業科目には、次のとおり 4 種類の区分があります。

授業科目の種類	説明
必修	単位を修得しないと卒業できない科目です。 「所属学部（学科）の学生として欠かすことのできないこと」を学ぶ科目になりますので、特に意欲的に学びましょう。
選択必修	選択科目のうち、決められた科目群から自身で選択して、一定の単位数を修得しなければならない科目です。 ※所定の単位数を超えて修得した単位については、選択科目の単位数として算入されます。
選択	必修・選択必修以外の科目です。
自由	単位は修得できますが、卒業要件単位数には算入されない科目です。

履修できる科目（授業科目配当表）

原則として、履修できる科目は授業科目配当表に記載のある科目となります（この他、単位互換科目、自由科目、特別講義があります）。

授業科目配当表に記載のない科目の単位修得をしても卒業要件には含まない場合があります。入学年度ごとにカリキュラムが異なりますので、履修登録の際には注意してください。

※2018 年度以前入学者は、「履修ガイド 2018 年度以前入学者補足版」を確認してください。

【授業科目配当表】

②「授業科目配当表」の確認方法

- 科目名の後に記載されている（ ）の数字は、科目の単位数です。
（例）アジアの歴史（2） → 単位修得時には 2 単位修得となる
- 列の縦線が引かれていない枠は、すべて第 1 年次～第 4 年次いつでも履修可能です。
（例）下図の太枠で示される科目は第 1 年次～第 4 年次で選択可能

区 分		第 1 年次 科 目（単位）	第 2 年次 科 目（単位）	第 3 年次 科 目（単位）	第 4 年次 科 目（単位）
人文 科学	必修	アジアの歴史(2)	近代日本文学(2)	性格心理学(2)	ヨーロッパの歴史(2)
		アメリカの文学と文化(2)	美学への招待(2)	世界の文学(2)	倫理学(2)
人文 科学	選択	イギリスの文学と文化(2)	言語学(2)	哲学(2)	歴史学入門(2)
		イスラーム・アラブ文化論(2)	現代中国の思想(2)	日本史(2)	論理学(2)
人文 科学	選択	演義史(2)	古典日本文学(2)	日本の文化(2)	海外短期文化研修Ⅰ(2)
		カウンセリング心理学(2)	社会思想史(2)	東アジア文化論(2)	海外短期文化研修Ⅱ(2)
人文 科学	選択	教育学(2)	宗教学(2)	美術史(2)	海外長期文化研修(4)
		観光文化論(2)	心理学入門(2)	Film Studies(2)	日本政治史(2)

- 列の縦線が引かれている枠は、縦線の右に記載されている年次以降履修可能です。
（例）下図の太枠で囲まれている科目は第 2 年次～第 4 年次で選択可能

区 分		第 1 年次 科 目（単位）	第 2 年次 科 目（単位）	第 3 年次 科 目（単位）	第 4 年次 科 目（単位）
部共通 基礎科目	必修	商学入門(2)	経済学入門(2)	経済学入門(2)	経済学入門(2)
		経営学入門(2)	初級簿記Ⅰ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅲ(2)
部共通 基礎科目	選択	マーケティング論Ⅰ(2)	マーケティング論Ⅱ(2)	マーケティング論Ⅲ(2)	マーケティング論Ⅳ(2)
		会計学総論Ⅰ(2)	会計学総論Ⅱ(2)	会計学総論Ⅲ(2)	会計学総論Ⅳ(2)
部共通 基礎科目	選択	マーケティングⅠ(2)	マーケティングⅡ(2)	マーケティングⅢ(2)	マーケティングⅣ(2)
		マーケティングⅤ(2)	マーケティングⅥ(2)	マーケティングⅦ(2)	マーケティングⅧ(2)
部共通 基礎科目	選択	マーケティングⅧ(2)	マーケティングⅨ(2)	マーケティングⅩ(2)	マーケティングⅪ(2)
		マーケティングⅫ(2)	マーケティングⅬ(2)	マーケティングⅭ(2)	マーケティングⅮ(2)
部共通 基礎科目	選択	マーケティングⅯ(2)	マーケティングⅰ(2)	マーケティングⅱ(2)	マーケティングⅲ(2)
		マーケティングⅳ(2)	マーケティングⅴ(2)	マーケティングⅵ(2)	マーケティングⅶ(2)
部共通 基礎科目	選択	マーケティングⅷ(2)	マーケティングⅸ(2)	マーケティングⅹ(2)	マーケティングⅺ(2)
		マーケティングⅻ(2)	マーケティングⅼ(2)	マーケティングⅽ(2)	マーケティングⅾ(2)
部共通 基礎科目	選択	マーケティングⅿ(2)	マーケティングⅽ(2)	マーケティングⅾ(2)	マーケティングⅿ(2)
		マーケティングⅿ(2)	マーケティングⅿ(2)	マーケティングⅿ(2)	マーケティングⅿ(2)

【2019年度以降入学者】

①商学科配当表

区 分				第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
				科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)
CUC基盤教育科目群	共通教養科目	人文科学	選択	アジアの歴史(2) アメリカの文学と文化(2) イギリスの文学と文化(2) イスラーム・アラブ文化論(2) 演劇(2) 音楽史(2) カウンセリング心理学(2) 教育学(2)	近代日本文学(2) 実学への招待(2) 言語学(2) 現代中国の思想(2) 古典日本文学(2) 社会思想史(2) 宗教学(2) 心理学入門(2)	性格心理学(2) 世界の文学(2) 哲学(2) 日本史(2) 日本の文化(2) 東アジア文化論(2) 美術史(2) Film Studies(2)	ヨーロッパの歴史(2) 倫理学(2) 歴史学入門(2) 論理学(2) 海外短期文化研修Ⅰ(2) 海外短期文化研修Ⅱ(2) 海外長期文化研修(4)
		社会科学	選択	観光文化論(2) グローバル・アジア論(2) Global Studies(2) 経済と社会(2) 現代社会と宗教(2) 日本国憲法(2)	国際関係論(2) ジェンダー論(2) 質的調査法(2) 社会学(2) 社会調査法(2) 社会ネットワーク論(2)	商業と倫理(2) 生活環境論(2) 政治学入門(2) 世界の紛争と平和(2) 地理学と社会(2) 日本現代社会論(2)	日本政治史(2) 福祉論(2) 文化人類学(2) 法学(2) 民俗学(2)
		自然科学	選択	宇宙科学(2) エネルギー論(2) 化学(2) 科学技術史(2) 数と計算(2)	環境と倫理(2) 健康科学(2) コーチング論(2) 自然科学入門(2) 自然地理(2)	情報と倫理(2) 数学(2) スポーツ科学(2) 生物学入門(2) 生物と機能(2)	生命と倫理(2) 地球科学(2) 地球環境論(2) 統計学入門(2) 物理学(2)
	外国語科目	選択	必修	英語(A)Ⅰ(2) 英語(B)Ⅰ(2) 英語(C)Ⅰ(2) 英語(A)Ⅱ(2) 英語(B)Ⅱ(2) 英語(C)Ⅱ(2) 中国語(A)Ⅰ(2) 中国語(B)Ⅰ(2) 中国語(C)Ⅰ(2) 中国語(A)Ⅱ(2) 中国語(B)Ⅱ(2) 中国語(C)Ⅱ(2)			
			選択	基礎英語Ⅰ(2) 基礎英語Ⅱ(2) スポーツ英語(2) ビジネス英語Ⅰ(2) ビジネス英語Ⅱ(2) ビジネス英語Ⅲ(2) 中級英語Ⅰ(2) 中級英語Ⅱ(2) 中級英語Ⅲ(2) プレゼンテーション英語(2)	ドイツ語Ⅰ(2) ドイツ語Ⅱ(2) ドイツ語Ⅲ(2) ドイツ語Ⅳ(2) フランス語Ⅰ(2) フランス語Ⅱ(2) フランス語Ⅲ(2) フランス語Ⅳ(2)	基礎中国語会話Ⅰ(2) 基礎中国語会話Ⅱ(2) 基礎中国語文法Ⅰ(2) 基礎中国語文法Ⅱ(2) 中級中国語Ⅰ(2) 中級中国語Ⅱ(2) 上級中国語Ⅰ(2) 上級中国語Ⅱ(2)	スペイン語Ⅰ(2) スペイン語Ⅱ(2) スペイン語Ⅲ(2) スペイン語Ⅳ(2) 韓国語Ⅰ(2) 韓国語Ⅱ(2) 韓国語Ⅲ(2) 韓国語Ⅳ(2)
	情報科目	必修		情報入門(2)			
	簿記会計科目	選択		会計学への扉(2) 簿記特講(4)	税理実務研究Ⅰ(2) 税理実務研究Ⅱ(2)	経理実務入門(2) 税務実務入門(2)	
	体育科目	必修		基礎体育学実習Ⅰ(1) 体育学実習Ⅰ(1)			
		選択		体育学実習Ⅱ(1)	体育学実習Ⅲ(1)		
	キャリア科目	選択		キャリアデザイン(2) 雇用と労働の法律(2) 企業研究(2) 職業・業界研究(2)	ビジネス探究(2) ホスピタリティ実践(2) マナー・ディスカッション(2)	インターンシップ(2) 就業力実践(2)	
	日本語関連科目	選択		文章表現(2) *日本語読解Ⅰ(2) *日本語読解Ⅱ(2) *日本語読解Ⅲ(2)	*日本語聴解Ⅰ(2) *日本語聴解Ⅱ(2) *日本語聴解Ⅲ(2)		

区 分			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
			科 目 (単位)		科 目 (単位)		科 目 (単位)		科 目 (単位)		
レクチャー科目群	学部共通 基礎科目	必修	商学入門(2) 経済学入門(2) 経営学入門(2) 初級簿記Ⅰ(2) 初級簿記Ⅱ(2)								
		選択 必修	マーケティング論Ⅰ(2) 会計学総論Ⅰ(2) 会計学総論Ⅱ(2) ファイナンス入門(2)								
	学科 基礎科目	選択	アカデミック・リテラシー(2) 商学総論(2) 中小企業論入門(2)※ 中小企業診断Ⅰ(2)		中小企業診断Ⅱ(2) 観光文化論実践(2) 経営管理論(2)※ ファイナンス・プランニング論(2)		経済統計基礎(2)※ インターネット社会論(2) 情報科学概論(2)		情報処理(2) 情報数学(2) 憲法Ⅰ(2) 憲法Ⅱ(2)		
			流通経済論Ⅰ(2) 流通経済論Ⅱ(2) 流通政策Ⅰ(2) 流通政策Ⅱ(2) 流通システム論(2) 地域流通論(2) 物流論(2) 電子商取引論(2) マーケティング論Ⅱ(2) マーケティング・リサーチ論Ⅰ(2) マーケティング・リサーチ論Ⅱ(2) グローバル・マーケティング論Ⅰ(2) グローバル・マーケティング論Ⅱ(2) ケースで学ぶマーケティング戦略(2) ソーシャル・マーケティング論(2) 消費者行動論(2) マーケティング・コミュニケーション(2) サービス経済論(2) サービスマーケティング論(2) 市場戦略論(2) 商品学(2) ブランド論(2) 商品評価論(2) 商品開発論(2) 中小企業経営論(2) 貿易論Ⅰ(2) 貿易論Ⅱ(2) 交通論Ⅰ(2) 交通論Ⅱ(2) 金融論Ⅰ(2) 金融論Ⅱ(2) 金融機関論(2) 金融行政論(2) 銀行論(2) 銀行経営実務(2) 証券市場論Ⅰ(2) 証券市場論Ⅱ(2) 外国為替論Ⅰ(2) 外国為替論Ⅱ(2) 保険論Ⅰ(2) 保険論Ⅱ(2) 証券投資論Ⅰ(2) 証券投資論Ⅱ(2) 消費者金融論(2) 与信管理論A(2) 与信管理論B(2) 職業指導(2) ビジネス実践(2) 電子商取引実践(2) 貿易英語Ⅰ(2) 貿易英語Ⅱ(2)		商学特殊講義Ⅰ(2) 商学特殊講義Ⅱ(2) ビジネス倫理(2) 中国の社会とビジネス(2) 中国ビジネスコミュニケーション基礎(2) 中国ビジネスコミュニケーション実践(2) 商業中国語(2) 中級簿記Ⅰ(2) 中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 工業簿記Ⅰ(2) 工業簿記Ⅱ(2) 財務会計論Ⅰ(2) 財務会計論Ⅱ(2) 管理会計論Ⅰ(2) 管理会計論Ⅱ(2) 原価計算論Ⅰ(2) 原価計算論Ⅱ(2) 会計監査論Ⅰ(2) 会計監査論Ⅱ(2) 税務会計論Ⅰ(2) 税務会計論Ⅱ(2) コンピュータ会計論Ⅰ(2) コンピュータ会計論Ⅱ(2) 経営分析Ⅰ(2) 経営分析Ⅱ(2) 国際会計論(2) 連結会計論Ⅰ(2) 連結会計論Ⅱ(2) 税効果会計論(2) IFRS入門Ⅰ(2) IFRS入門Ⅱ(2) 財務報告論(2) 経営組織論Ⅰ(2) 経営組織論Ⅱ(2) 企業金融論Ⅰ(2) 企業金融論Ⅱ(2) デリバティブ入門(2) 人的資源管理(2) 国際経済論Ⅰ(2) 国際経済論Ⅱ(2) 経済政策Ⅰ(2) 経済政策Ⅱ(2) 現代産業論(2) 情報産業論(2) 産業組織論(2) 財政学Ⅰ(2) 財政学Ⅱ(2) 経済統計中級(2) 経済統計上級(2)		経済地理Ⅰ(2) 経済地理Ⅱ(2) 情報メディア論(2) 応用情報処理(2) コンピュータシステム(2) 情報システム論(2) プログラミングⅠ(2) プログラミングⅡ(2) 情報技術論(2) 経営情報概論(2) 経営情報処理(2) 情報ビジネス論(2) 情報資源管理(2) 経営情報システム論(2) 情報システム設計(2) ネットワーク管理Ⅰ(2) ネットワーク管理Ⅱ(2) Web情報デザイン(2) 映像情報処理Ⅰ(2) 映像情報処理Ⅱ(2) 音楽情報デザインⅠ(2) 音楽情報デザインⅡ(2) 民法ⅠⅠ(2) 民法ⅠⅡ(2) 民法ⅡⅠ(2) 民法ⅡⅡ(2) 商法Ⅰ(2) 商法Ⅱ(2) 刑法Ⅰ(2) 刑法Ⅱ(2) 会社法Ⅰ(2) 会社法Ⅱ(2) 経済法Ⅰ(2) 経済法Ⅱ(2) 行政法Ⅰ(2) 行政法Ⅱ(2) 労働法Ⅰ(2) 労働法Ⅱ(2) 国際取引法Ⅰ(2) 国際取引法Ⅱ(2) 税法Ⅰ(2) 税法Ⅱ(2) 金融商品取引法Ⅰ(2) 金融商品取引法Ⅱ(2) 知的財産法Ⅰ(2) 知的財産法Ⅱ(2) 外書講読Ⅰ(2) 外書講読Ⅱ(2)				
セミナー 科目群		必修	研究基礎A(2) 研究基礎B(2)		研究Ⅰ(2)		研究ⅡA(2) 研究ⅡB(2)		卒業研究A(2) 卒業研究B(2)		
自由科目			中級簿記特講(4)								

(注) 1. 海外短期文化研修Ⅰ・Ⅱ、海外長期文化研修は、協定校に語学研修または交換留学した者が履修できる科目です。
 2. ＊印の日本語読解Ⅰ～Ⅲ・日本語聴解Ⅰ～Ⅲは留学生のみの配当としています。
 3. 上記科目以外に「特別講義」として開講する科目があります。
 4. ※の科目は他学科の学科基礎科目のため、単位修得時は学科基礎科目（選択）として計算されます。
 5. 学科基礎科目については、1年次秋学期以降の履修を推奨します。

②経済学科配当表

区 分				第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
				科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)
CUC基盤教育科目群	共通教養科目	人文科学	選択	アジアの歴史(2) アメリカの文学と文化(2) イギリスの文学と文化(2) イスラーム・アラブ文化論(2) 演劇(2) 音楽史(2) カウンセリング心理学(2) 教育学(2)	近代日本文学(2) 実学への招待(2) 言語学(2) 現代中国の思想(2) 古典日本文学(2) 社会思想史(2) 宗教学(2) 心理学入門(2)	性格心理学(2) 世界の文学(2) 哲学(2) 日本史(2) 日本の文化(2) 東アジア文化論(2) 美術史(2) Film Studies(2)	ヨーロッパの歴史(2) 倫理学(2) 歴史学入門(2) 論理学(2) 海外短期文化研修Ⅰ(2) 海外短期文化研修Ⅱ(2) 海外長期文化研修(4)
		社会科学	選択	観光文化論(2) グローバル・アジア論(2) Global Studies(2) 経済と社会(2) 現代社会と宗教(2) 日本国憲法(2)	国際関係論(2) ジェンダー論(2) 質的調査法(2) 社会学(2) 社会調査法(2) 社会ネットワーク論(2)	商業と倫理(2) 生活環境論(2) 政治学入門(2) 世界の紛争と平和(2) 地理学と社会(2) 日本現代社会論(2)	日本政治史(2) 福祉論(2) 文化人類学(2) 法学(2) 民俗学(2)
		自然科学	選択	宇宙科学(2) エネルギー論(2) 化学(2) 科学技術史(2) 数と計算(2)	環境と倫理(2) 健康科学(2) コーチング論(2) 自然科学入門(2) 自然地理(2)	情報と倫理(2) 数学(2) スポーツ科学(2) 生物学入門(2) 生物と機能(2)	生命と倫理(2) 地球科学(2) 地球環境論(2) 統計学入門(2) 物理学(2)
	外国語科目	選択 必修 必修	必修	英語(A)Ⅰ(2) 英語(B)Ⅰ(2) 英語(C)Ⅰ(2) 英語(A)Ⅱ(2) 英語(B)Ⅱ(2) 英語(C)Ⅱ(2) 中国語(A)Ⅰ(2) 中国語(B)Ⅰ(2) 中国語(C)Ⅰ(2) 中国語(A)Ⅱ(2) 中国語(B)Ⅱ(2) 中国語(C)Ⅱ(2)			
		選択	選択	基礎英語Ⅰ(2) 基礎英語Ⅱ(2) スポーツ英語(2) ビジネス英語Ⅰ(2) ビジネス英語Ⅱ(2) ビジネス英語Ⅲ(2) 中級英語Ⅰ(2) 中級英語Ⅱ(2) 中級英語Ⅲ(2) プレゼンテーション英語(2)	ドイツ語Ⅰ(2) ドイツ語Ⅱ(2) ドイツ語Ⅲ(2) ドイツ語Ⅳ(2) フランス語Ⅰ(2) フランス語Ⅱ(2) フランス語Ⅲ(2) フランス語Ⅳ(2)	基礎中国語会話Ⅰ(2) 基礎中国語会話Ⅱ(2) 基礎中国語文法Ⅰ(2) 基礎中国語文法Ⅱ(2) 中級中国語Ⅰ(2) 中級中国語Ⅱ(2) 上級中国語Ⅰ(2) 上級中国語Ⅱ(2)	スペイン語Ⅰ(2) スペイン語Ⅱ(2) スペイン語Ⅲ(2) スペイン語Ⅳ(2) 韓国語Ⅰ(2) 韓国語Ⅱ(2) 韓国語Ⅲ(2) 韓国語Ⅳ(2)
	情報科目	必修	必修	情報入門(2)			
	簿記会計科目	選択	選択	会計学への扉(2) 簿記特講(4)	税理実務研究Ⅰ(2) 税理実務研究Ⅱ(2)	経理実務入門(2) 税務実務入門(2)	
	体育科目	必修	必修	基礎体育学実習Ⅰ(1) 体育学実習Ⅰ(1)			
		選択	選択	体育学実習Ⅱ(1)	体育学実習Ⅲ(1)		
	キャリア科目	選択	選択	キャリアデザイン(2) 雇用と労働の法律(2) 企業研究(2) 職業・業界研究(2)	ビジネス探究(2) ホスピタリティ実践(2) マナー・ディスカッション(2)	インターンシップ(2) 就業力実践(2)	
	日本語関連科目	選択	選択	文章表現(2) *日本語読解Ⅰ(2) *日本語読解Ⅱ(2) *日本語読解Ⅲ(2)	*日本語聴解Ⅰ(2) *日本語聴解Ⅱ(2) *日本語聴解Ⅲ(2)		

区 分			第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次
			科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)
レクチャー科目群	学部共通 基礎科目	必修	経済学入門(2) 商学入門(2) 経営学入門(2) 初級簿記Ⅰ(2) 初級簿記Ⅱ(2)			
		選択 必修	マクロ経済学基礎(2) ミクロ経済学基礎(2) 政治経済学基礎(2) 経済統計基礎(2)			
	学科 基礎科目	選択	アカデミック・リテラシー(2) 中小企業論入門(2)※ 観光文化論実践(2)	インターネット社会論(2) 情報科学概論(2) 情報処理(2)	情報数学(2) 会計学総論Ⅰ(2)※ 会計学総論Ⅱ(2)※	憲法Ⅰ(2) 憲法Ⅱ(2) 英語音声学Ⅰ(1)(2) 英語音声学Ⅱ(2)(2)
				国際経済論Ⅰ(2) 国際経済論Ⅱ(2) 経済成長論(2) 計量経済学(2) マクロ経済学中級(2) マクロ経済学上級(2) ミクロ経済学中級(2) ミクロ経済学上級(2) 公共経済学(2) 行動経済学(2) 経済史Ⅰ(2) 経済史Ⅱ(2) 西洋経済史(2) 経済政策Ⅰ(2) 経済政策Ⅱ(2) 地域産業論(2) 地域開発論(2) 開発経済論(2) 産業組織論(2) 現代の日本経済(2) 日本と世界経済(2) アメリカ経済論(2) ヨーロッパ経済論(2) アジア経済論(2) 実験経済学(2) 環境経済学(2) 農業経済学(2) 生産システム論(2) 交通経済学(2) 経済地理Ⅰ(2) 経済地理Ⅱ(2) 現代産業論(2) 情報産業論(2) ゲーム理論(2) 財政学Ⅰ(2) 財政学Ⅱ(2) 地方財政論(2) 金融論Ⅰ(2) 金融論Ⅱ(2) 金融機関論(2) 国際金融論(2) 与信管理論A(2) 与信管理論B(2) 経済統計中級(2) 経済統計上級(2) 社会政策(2) 公共政策(2)	産業政策論(2) 社会保障論(2) 労働経済論(2) グローバル社会論(2) ビジネス倫理(2) 中国の社会とビジネス(2) 中国ビジネスコミュニケーション基礎(2) 中国ビジネスコミュニケーション実践(2) 商業中国語(2) 中小企業政策論(2) 商品学(2) ブランド論(2) 職業指導(2) ビジネス実践(2) 電子商取引実践(2) 貿易英語Ⅰ(2) 貿易英語Ⅱ(2) 応用情報処理(2) コンピュータシステム(2) 情報システム論(2) プログラミングⅠ(2) プログラミングⅡ(2) 情報技術論(2) 経営情報概論(2) 経営情報処理(2) 情報ビジネス論(2) 情報資源管理(2) 経営情報システム論(2) 情報システム設計(2) ネットワーク管理Ⅰ(2) ネットワーク管理Ⅱ(2) Web情報デザイン(2) 映像情報処理Ⅰ(2) 映像情報処理Ⅱ(2) 音楽情報デザインⅠ(2) 音楽情報デザインⅡ(2) 中級簿記Ⅰ(2) 中級簿記Ⅱ(2) 民法ⅠⅠ(2) 民法ⅠⅡ(2) 民法ⅡⅠ(2) 民法ⅡⅡ(2) 商法Ⅰ(2) 商法Ⅱ(2) 刑法Ⅰ(2) 刑法Ⅱ(2)	会社法Ⅰ(2) 会社法Ⅱ(2) 経済法Ⅰ(2) 経済法Ⅱ(2) 行政法Ⅰ(2) 行政法Ⅱ(2) 労働法Ⅰ(2) 労働法Ⅱ(2) 国際取引法Ⅰ(2) 国際取引法Ⅱ(2) 税法Ⅰ(2) 税法Ⅱ(2) 金融商品取引法Ⅰ(2) 金融商品取引法Ⅱ(2) 知的財産法Ⅰ(2) 知的財産法Ⅱ(2) 外書講読Ⅰ(2) 外書講読Ⅱ(2) 英語学Ⅰ(1)(2) 英語学Ⅱ(2)(2) コミュニケーション・グラマーⅠ(1)(2) コミュニケーション・グラマーⅡ(2)(2) 英語音声学特講Ⅰ(1)(2) 英語音声学特講Ⅱ(2)(2) 英文学Ⅰ(1)(2) 英文学Ⅱ(2)(2) リーディングⅠ(1)(2) リーディングⅡ(2)(2) ライティングⅠ(1)(2) ライティングⅡ(2)(2) ライティングⅢ(3)(2) オーラル・コミュニケーションⅠ(1)(2) オーラル・コミュニケーションⅡ(2)(2) オーラル・コミュニケーションⅢ(3)(2) オーラル・コミュニケーションⅣ(4)(2) 時事英語(2) アメリカ文化論(2) イギリス文化論(2) ヨーロッパ文化論(2) 地中海文化論(2) 異文化理解論Ⅰ(1)(2) 異文化理解論Ⅱ(2)(2) ビジネスコミュニケーション論(2)
セミナー 科目群	必修	研究基礎A(2) 研究基礎B(2)	研究Ⅰ(2)	研究ⅡA(2) 研究ⅡB(2)	卒業研究A(2) 卒業研究B(2)	
自由科目			中級簿記特講(4)			

(注) 1. 海外短期文化研修Ⅰ・Ⅱ、海外長期文化研修は、協定校に語学研修または交換留学した者が履修できる科目です。

2. *印の日本語読解Ⅰ～Ⅲ・日本語聴解Ⅰ～Ⅲは留学生のみの配当としています。

3. 上記科目以外に「特別講義」として開講する科目があります。

4. ※の科目は他学科の学科基礎科目のため、単位修得時は学科基礎科目（選択）として計算されます。

5. 学科基礎科目については、1年次秋学期以降の履修を推奨します。

③経営学科配当表

区 分				第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
				科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)
CUC基盤教育科目群	共通教養科目	人文科学	選択	アジアの歴史(2) アメリカの文学と文化(2) イギリスの文学と文化(2) イスラーム・アラブ文化論(2) 演劇(2) 音楽史(2) カウンセリング心理学(2) 教育学(2)	近代日本文学(2) 実学への招待(2) 言語学(2) 現代中国の思想(2) 古典日本文学(2) 社会思想史(2) 宗教学(2) 心理学入門(2)	性格心理学(2) 世界の文学(2) 哲学(2) 日本史(2) 日本の文化(2) 東アジア文化論(2) 美術史(2) Film Studies(2)	ヨーロッパの歴史(2) 倫理学(2) 歴史学入門(2) 論理学(2) 海外短期文化研修Ⅰ(2) 海外短期文化研修Ⅱ(2) 海外長期文化研修(4)
		社会科学	選択	観光文化論(2) グローバル・アジア論(2) Global Studies(2) 経済と社会(2) 現代社会と宗教(2) 日本国憲法(2)	国際関係論(2) ジェンダー論(2) 質的調査法(2) 社会学(2) 社会調査法(2) 社会ネットワーク論(2)	商業と倫理(2) 生活環境論(2) 政治学入門(2) 世界の紛争と平和(2) 地理学と社会(2) 日本現代社会論(2)	日本政治史(2) 福祉論(2) 文化人類学(2) 法学(2) 民俗学(2)
		自然科学	選択	宇宙科学(2) エネルギー論(2) 化学(2) 科学技術史(2) 数と計算(2)	環境と倫理(2) 健康科学(2) コーチング論(2) 自然科学入門(2) 自然地理(2)	情報と倫理(2) 数学(2) スポーツ科学(2) 生物学入門(2) 生物と機能(2)	生命と倫理(2) 地球科学(2) 地球環境論(2) 統計学入門(2) 物理学(2)
	外国語科目	選択	必修	英語(A)Ⅰ(2) 英語(B)Ⅰ(2) 英語(C)Ⅰ(2) 英語(A)Ⅱ(2) 英語(B)Ⅱ(2) 英語(C)Ⅱ(2) 中国語(A)Ⅰ(2) 中国語(B)Ⅰ(2) 中国語(C)Ⅰ(2) 中国語(A)Ⅱ(2) 中国語(B)Ⅱ(2) 中国語(C)Ⅱ(2)			
			選択	基礎英語Ⅰ(2) 基礎英語Ⅱ(2) スポーツ英語(2) ビジネス英語Ⅰ(2) ビジネス英語Ⅱ(2) ビジネス英語Ⅲ(2) 中級英語Ⅰ(2) 中級英語Ⅱ(2) 中級英語Ⅲ(2) プレゼンテーション英語(2)	ドイツ語Ⅰ(2) ドイツ語Ⅱ(2) ドイツ語Ⅲ(2) ドイツ語Ⅳ(2) フランス語Ⅰ(2) フランス語Ⅱ(2) フランス語Ⅲ(2) フランス語Ⅳ(2)	基礎中国語会話Ⅰ(2) 基礎中国語会話Ⅱ(2) 基礎中国語文法Ⅰ(2) 基礎中国語文法Ⅱ(2) 中級中国語Ⅰ(2) 中級中国語Ⅱ(2) 上級中国語Ⅰ(2) 上級中国語Ⅱ(2)	スペイン語Ⅰ(2) スペイン語Ⅱ(2) スペイン語Ⅲ(2) スペイン語Ⅳ(2) 韓国語Ⅰ(2) 韓国語Ⅱ(2) 韓国語Ⅲ(2) 韓国語Ⅳ(2)
	情報科目	必修		情報入門(2)			
	簿記会計科目	選択		会計学への扉(2) 簿記特講(4)	税理実務研究Ⅰ(2) 税理実務研究Ⅱ(2)	経理実務入門(2) 税務実務入門(2)	
	体育科目	必修		基礎体育学実習Ⅰ(1) 体育学実習Ⅰ(1)			
		選択		体育学実習Ⅱ(1)	体育学実習Ⅲ(1)		
	キャリア科目	選択		キャリアデザイン(2) 雇用と労働の法律(2) 企業研究(2) 職業・業界研究(2)	ビジネス探究(2) ホスピタリティ実践(2) マナー・ディスカッション(2)	インターンシップ(2) 就業力実践(2)	
	日本語関連科目	選択		文章表現(2) *日本語読解Ⅰ(2) *日本語読解Ⅱ(2) *日本語読解Ⅲ(2)	*日本語聴解Ⅰ(2) *日本語聴解Ⅱ(2) *日本語聴解Ⅲ(2)		

区 分			第 1 年次 科 目 (単位)	第 2 年次 科 目 (単位)	第 3 年次 科 目 (単位)	第 4 年次 科 目 (単位)
レクチャー科目群	学部共通 基礎科目	必修	経営学入門(2) 商学入門(2) 経済学入門(2) 初級簿記Ⅰ(2) 初級簿記Ⅱ(2)			
		選択 必修	中小企業論入門(2) 経営管理論(2) 会計学総論Ⅰ(2) 会計学総論Ⅱ(2)			
			アカデミック・リテラシー(2) 中小企業診断Ⅰ(2) 中小企業診断Ⅱ(2)	企業経営体験講義(2) 観光文化論実践(2) インターネット社会論(2)	情報科学概論(2) 情報処理(2) 情報数学(2)	憲法Ⅰ(2) 憲法Ⅱ(2) 英語音声学(Ⅰ)(2) 英語音声学(Ⅱ)(2)
	学科 基礎科目	選択		経営実践(2) 現代企業論(2) 国際経営(2) 中小企業経営論(2) 経営診断学Ⅰ(2) 経営診断学Ⅱ(2) 地域流通診断の理論と実践(2) 起業基礎実践(2) 経営組織論Ⅰ(2) 経営組織論Ⅱ(2) 生産管理(2) 人的資源管理(2) 企業金融論Ⅰ(2) 企業金融論Ⅱ(2) マーケティングマネジメント(2) リーダーシップ論(2) 技術イノベーション(2) 組織イノベーション(2) 人間関係論(2) 異文化マネジメント(2) 企業と社会(2) コーポレートガバナンス(2) 意思決定論(2) 企業家精神論(2) 起業の理論(2) 起業の実践(2) 起業家リサーチ(2) Web起業論(2) 技術開発論(2) 経営戦略論(2) 情報資源管理(2) 応用情報処理(2) コンピュータシステム(2) 情報システム論(2) プログラミングⅠ(2) プログラミングⅡ(2) 情報技術論(2) 経営情報概論(2) 経営情報処理(2) 経営情報システム論(2) 情報システム設計(2) ネットワーク管理Ⅰ(2) ネットワーク管理Ⅱ(2) Web情報デザイン(2) 音楽情報デザインⅠ(2) 音楽情報デザインⅡ(2) 中級簿記Ⅰ(2) 中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅱ(2)	工業簿記Ⅰ(2) 工業簿記Ⅱ(2) 財務会計論Ⅰ(2) 財務会計論Ⅱ(2) 管理会計論Ⅰ(2) 管理会計論Ⅱ(2) 原価計算論Ⅰ(2) 原価計算論Ⅱ(2) 会計監査論Ⅰ(2) 会計監査論Ⅱ(2) 税務会計論Ⅰ(2) 税務会計論Ⅱ(2) 税効果会計論(2) コンピュータ会計論Ⅰ(2) コンピュータ会計論Ⅱ(2) IFRS入門Ⅰ(2) IFRS入門Ⅱ(2) 経営分析Ⅰ(2) 経営分析Ⅱ(2) ビジネス倫理(2) 中国の社会とビジネス(2) 中国ビジネスコミュニケーション基礎(2) 中国ビジネスコミュニケーション実践(2) 商業中国語(2) 金融論Ⅰ(2) 金融論Ⅱ(2) 貿易論Ⅰ(2) 貿易論Ⅱ(2) 保険論Ⅰ(2) 保険論Ⅱ(2) 銀行論(2) 金融機関論(2) 与信管理論A(2) 与信管理論B(2) 商品学(2) ブランド論(2) 商品開発論(2) 職業指導(2) ビジネス実践(2) 電子商取引実践(2) 貿易英語Ⅰ(2) 貿易英語Ⅱ(2) 財政学Ⅰ(2) 財政学Ⅱ(2) 民法(Ⅰ)Ⅰ(2) 民法(Ⅰ)Ⅱ(2) 民法(Ⅱ)Ⅰ(2) 民法(Ⅱ)Ⅱ(2)	商法Ⅰ(2) 商法Ⅱ(2) 刑法Ⅰ(2) 刑法Ⅱ(2) 会社法Ⅰ(2) 会社法Ⅱ(2) 経済法Ⅰ(2) 経済法Ⅱ(2) 行政法Ⅰ(2) 行政法Ⅱ(2) 労働法Ⅰ(2) 労働法Ⅱ(2) 国際取引法Ⅰ(2) 国際取引法Ⅱ(2) 税法Ⅰ(2) 税法Ⅱ(2) 金融商品取引法Ⅰ(2) 金融商品取引法Ⅱ(2) 知的財産法Ⅰ(2) 知的財産法Ⅱ(2) 英語学(Ⅰ)(2) 英語学(Ⅱ)(2) コミュニケーション・グラマー(Ⅰ)(2) コミュニケーション・グラマー(Ⅱ)(2) 英語音声学特講(Ⅰ)(2) 英語音声学特講(Ⅱ)(2) 英文学(Ⅰ)(2) 英文学(Ⅱ)(2) リーディング(Ⅰ)(2) リーディング(Ⅱ)(2) ライティング(Ⅰ)(2) ライティング(Ⅱ)(2) ライティング(Ⅲ)(2) オール・コミュニケーション(Ⅰ)(2) オール・コミュニケーション(Ⅱ)(2) オール・コミュニケーション(Ⅲ)(2) オール・コミュニケーション(Ⅳ)(2) 時事英語(2) アメリカ文化論(2) イギリス文化論(2) ヨーロッパ文化論(2) 地中海文化論(2) 異文化理解論(Ⅰ)(2) 異文化理解論(Ⅱ)(2) ビジネスコミュニケーション論(2)
	セミナー 科目群	必修	研究基礎A(2) 研究基礎B(2)	研究Ⅰ(2)	研究ⅡA(2) 研究ⅡB(2)	卒業研究A(2) 卒業研究B(2)
	自由科目		中級簿記特講(4)			

(注) 1. 海外短期文化研修Ⅰ・Ⅱ、海外長期文化研修は、協定校に語学研修または交換留学した者が履修できる科目です。

2. *印の日本語読解Ⅰ～Ⅲ・日本語聴解Ⅰ～Ⅲは留学生のみの配当としています。

3. 上記科目以外に「特別講義」として開講する科目があります。

4. ※の科目は他学科の学科基礎科目のため、単位修得時は学科基礎科目(選択)として計算されます。

5. 学科基礎科目については、1年次秋学期以降の履修を推奨します。

④教職課程科目配当表

【2019～2021年度入学者】

区 分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)
教職課程	教職概論(2) 教育原理(2) 生徒指導と進路指導(2)	教育史(2) 教育心理(2) 教育法規(2) 教育課程論(2) 道徳教育の理解と指導(2) 教育方法技術論(1)(2) 教育方法技術論(2)(2) 教育相談論(2) 特別活動と総合的な学習の時間(2)	教育経営論(2) 特別支援教育概論(2) 総合演習(2) 商業科教育法(1)(2) 商業科教育法(2)(2) 商業科教育実践(2) 情報科教育法(1)(2) 情報科教育法(2)(2) 情報科教育実践(2) 英語科教育法(1)(2) 英語科教育法(2)(2) 英語科教育法(3)(2) 英語科教育法(4)(2) 英語科教育実践(2)	教育実習(1)(5) 教育実習(2)(3) 教職実践演習(中・高)(2)

【2022年度入学者】

区 分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)
教職課程	教職概論(2) 教育原理(2) 生徒指導と進路指導(2)	教育史(2) 教育心理(2) 教育法規(2) 教育課程論(2) 道徳教育の理解と指導(2) 教育方法技術論(2) 教育相談論(2) 特別活動と総合的な学習の時間(2)	教育経営論(2) 特別支援教育概論(2) 総合演習(2) ICT活用技術論(2) 商業科教育法(1)(2) 商業科教育法(2)(2) 商業科教育実践(2) 情報科教育法(1)(2) 情報科教育法(2)(2) 情報科教育実践(2) 英語科教育法(1)(2) 英語科教育法(2)(2) 英語科教育法(3)(2) 英語科教育法(4)(2) 英語科教育実践(2)	教育実習(1)(5) 教育実習(2)(3) 教職実践演習(中・高)(2)

【2023～2024年度入学者】

区 分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)
教職課程	教職概論(2) 教育原理(2) 生徒指導と進路指導(2)	教育史(2) 教育心理(2) 教育法規(2) 教育課程論(2) 道徳教育の理解と指導(2) 教育方法技術論(2) 教育相談論(2) 特別活動と総合的な学習の時間(2)	教育経営論(2) 特別支援教育概論(2) 総合演習(2) ICT活用技術論(2) 商業科教育法(1)(2) 商業科教育法(2)(2) 商業科教育実践(2) 情報科教育法(1)(2) 情報科教育法(2)(2) 情報科教育実践(2)	教育実習(1)(5) 教育実習(2)(3) 教職実践演習(2)

【履修できない科目】

以下の通りとなります。誤って履修登録しないよう注意してください。

カリキュラムが異なる科目	授業科目や卒業要件が異なりますので、自分が入学した年度の授業科目配当表をよく確認し、異なる入学年度のカリキュラム科目を誤って履修しないよう注意してください。 カリキュラム改定された場合、 授業科目読替・新設・廃止一覧 を確認してください。
単位修得済み科目	一度単位を認定された科目（単位修得済みの科目）は、再履修することができません。
同一名称科目	授業担当教員や開講時限が異なっても、同一名称の科目は重複して履修することはできません。 また、「体育学実習」の同一種目の場合も重複履修することはできません。
同一時限科目	一つの曜日・時限に二つ以上の科目を履修登録することはできません。

Q A よくある問い合わせ

Q	他学部 of 科目を履修したいが、履修可能か。
A	原則、他学部 of 科目は履修できません。履修できる科目は、 授業科目配当表 に記載のある科目となります。 授業科目配当表に記載のない科目は履修できませんので、ご注意ください。

【履修にあたり条件がある科目について】

以下の科目の履修にあたっては条件があります。ステップアップ科目については、次学期以降に履修登録に影響が出ますので、計画的に履修登録を行ってください。

ステップアップ科目	条件
研究 I	「研究基礎 A・B」の単位を修得済み、または履修中であること。
研究 IIA	「研究基礎 A・B」の単位を修得済みであること。
研究 IIB	「研究基礎 A・B」の単位を修得済み、かつ「研究 I」の単位を修得済みまたは履修中であること。
卒業研究 A	「研究 I」の単位を修得済み、かつ「研究 IIA」の単位を修得済みまたは履修中であること。
卒業研究 B	「研究 I」の単位を修得済み、かつ「研究 IIB」の単位を修得済みまたは履修中であること。

履修に制限がある科目	条件
日本語読解 I～III	留学生のみ履修可能
日本語聴解 I～III	
ネットワーク管理 II	「ネットワーク管理 I」単位修得者のみ可能

※履修する時限がクラス毎に決められている場合は、必ずその区分に従って履修してください。

【体育科目について】

- ・体育科目は、「基礎体育学実習」及び「体育学実習」（種目別）の 2 つに分かれており、1 年次の春学期と秋学期にそれぞれ履修します。どちらの学期にそれぞれ履修をするかについては、新入生はクラス別に指定されます。
- ・体育科目は、事前履修科目ではありませんので注意してください。
- ・他科目との曜日時限重複などにより 1 年次に履修できなかった場合は、2 年次以降に履修登録し、卒業までに単位を修得する必要があります。

【1 年次の履修】

1 年次は、以下の通り、クラスによって各学期に履修できる科目が異なります。

科目名	春学期に履修できるクラス（組）			秋学期に履修できるクラス（組）		
	商学科	経済学科	経営学科	商学科	経済学科	経営学科
基礎体育学実習	1～10 組	1～4 組	1～4 組	11～18 組	5～9 組	5～8 組
体育学実習	11～18 組	5～9 組	5～8 組	1～10 組	1～4 組	1～4 組

- ・「体育学実習Ⅰ～Ⅲ」において、同一種目を複数回履修することはできません。履修が発覚した場合はその履修を削除します。また、開講する種目等については授業時間割表を参照してください。
- ・「体育学実習」は、1 学期 1 種目（1 単位）の履修とします。
- ・「基礎体育学実習」と「体育学実習」を同学期に履修することはできません。ただし、集中授業を受講する場合はこの限りではありません。
- ・「基礎体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は 9 月 23 日(月)までに教務課へメールにて申し出てください。

件名：【履修相談】特別体育について
 本文：(1) 学籍番号 (2) 氏名 (3) 相談内容
 送付先：kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp

- ・CUC PORTAL 上の学生時間割表において、科目名に「振替」と表示されますが、以下に記載されている成績付与に関連するものですので、そのまま受講してください。

<2019 年度以降入学者>

「体育学実習」については、3 回まで履修可能です。単位修得後、以下の通り成績が付与されます。

- ・「体育学実習Ⅰ」→必修科目として成績が付与されます。
- ・「体育学実習Ⅱ～Ⅲ」→選択科目として成績が付与されます。

<2018 年度以前入学者>

「体育学実習」については、5 回まで履修可能です。単位修得後、以下の通り成績が付与されますのでご注意ください。

- ・「体育学実習Ⅰ」→必修科目として成績が付与されます。
- ・「体育学実習Ⅱ～Ⅲ」→選択科目として成績が付与されます。
- ・「体育学実習Ⅳ～Ⅴ」→自由科目として成績が付与されます。（卒業要件単位数には含まれません）

事前履修科目

必修科目など、履修することが指定されている科目は、履修登録を行う前に各自の時間割に登録されています。履修登録期間に各自で登録する必要はありません。これを「事前履修科目」と呼んでいます。

事前履修科目の曜日・時限は 10 月 1 日(火)9:00 以降に CUC PORTAL の「学生時間割表」で確認できます。各自で曜日・時限の指定・変更はできませんので、学生時間割表で指定された曜日・時限の授業に出席してください。

なお、指定された曜日・時限以外の授業に出席しても単位修得はできませんので注意してください。

対象 学年	春学期				秋学期			
	科目名	対象学科			科目名	対象学科		
		商	経 済	経 営		商	経 済	経 営
1 年生	研究基礎 A	○	○	○	研究基礎 B	○	○	○
	情報入門	○	○	○	-	-	-	-
	商学入門	○	-	-	商学入門	-	○	○
	経済学入門	-	○	○	経済学入門	○	-	-
	経営学入門	-	○	○	経営学入門	○	-	-
	初級簿記 I	○	○	○	初級簿記 II	○	○	○
	英語(A)I または 中国語(A)I ※選択必修	○	○	○	英語(A)II または 中国語(A)II ※選択必修	○	○	○
	英語(B)I または 中国語(B)I ※選択必修	○	○	○	英語(B)II または 中国語(B)II ※選択必修	○	○	○
	英語(C)I または 中国語(C)I ※選択必修	○	○	○	英語(C)II または 中国語(C)II ※選択必修	○	○	○
2 年生	事前履修科目なし				研究 I	○	○	○
3 年生	研究 IIA	○	○	○	研究 IIB	○	○	○
4 年生	卒業研究 A	○	○	○	卒業研究 B	○	○	○

※事前履修科目の単位を修得できず再履修をする場合は、一部科目を除き自身で履修登録を行う必要があります

Q A よくある問い合わせ

Q 必修科目の単位を落とした場合、次学期以降再履修はできるか。再履修の科目内容は同じか。

A 再履修は可能です。再履修時の科目概要は同じです。詳細な授業計画などはシラバスを参照してください。

A 再履修クラスを履修可能な年度・学期は、科目ごとの開講年度・学期により異なります。科目によっては、再履修する科目が事前履修登録されることもあります。詳細は[再履修科目](#)を参照してください。

② 単位認定申請方法について

所定の資格を取得した場合、認定科目の単位が未修得の学生に対して、単位認定の申請を受け付けます。
単位認定を希望する場合は、以下を確認のうえ、申請してください。

【申請期間】※第1期・第2期ともに全学部全学年対象

第1期申請	2024年8月19日(月)12時～9月9日(月)12時まで
第2期申請	2024年9月17日(火)12時～10月3日(木)12時まで

【認定科目および認定条件】

学部	該当資格	認定科目	認定時期	注意事項
【商経学部】 (2019年度以降 入学者対象)	実用英語技能検定準2級 ※英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱの中から 1科目選択可能	英語(A)Ⅰ	1年次 秋学期～	■英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱについて ①必修英語の選択者で、再履修クラスを履修する必要がある(必修英語科目の単位を1度落としている)学生のみ対象となります。 ②準2級による単位認定者が次学期以降に2級を取得した場合、追加で単位認定ができる科目は1科目となります。
		英語(B)Ⅰ		
		英語(C)Ⅰ		
		英語(A)Ⅱ		
		英語(B)Ⅱ		
		英語(C)Ⅱ		
	ITパスポート試験	情報科学概論	1年次～	
	基本情報技術者試験	プログラミングⅠ	2年次～	
	日商簿記検定試験Ⅰ級	初級簿記Ⅰ・Ⅱ	1年次～	
	日商簿記検定試験2級			
	日商簿記検定試験3級			
	日商簿記検定試験Ⅰ級	中級簿記特講		
	日商簿記検定試験2級			
【商経学部】 (2018年度以前 入学者対象)	ITパスポート試験	情報科学概論	1年次～	■1年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱ 2年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱについて ①必修英語の選択者で、再履修クラスを履修する必要がある(必修英語科目の単位を1度落としている)学生のみ対象となります。 ②準2級による単位認定者が次学期以降に2級を取得した場合、追加で単位認定ができる科目は2科目までとなります。 ■中級簿記特講について 「中級簿記特講」については、自由科目(卒業要件単位には含まれない科目)として4単位を認定します。認定後、成績通知表及び成績証明書には記載されます。
	基本情報技術者試験	プログラミングⅠ	2年次～	
	実用英語検定準2級 ※1年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱ及び 2年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱの 中から2科目選択可能	1年英語(A)Ⅰ	1年次～	
		1年英語(B)Ⅰ		
		1年英語(C)Ⅰ		
		1年英語(A)Ⅱ		
		1年英語(B)Ⅱ		
		1年英語(C)Ⅱ		
		2年英語(A)Ⅰ		
		2年英語(B)Ⅰ		
		2年英語(C)Ⅰ		
		2年英語(A)Ⅱ		
	実用英語技能検定2級 ※1年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱ及び 2年英語(A)～(C)Ⅰ・Ⅱの中 から4科目選択可能	2年英語(B)Ⅱ		
		2年英語(C)Ⅱ		
	日商簿記検定試験Ⅰ級	初級簿記Ⅰ・Ⅱ		
	日商簿記検定試験2級			
	日商簿記検定試験3級			
	日商簿記検定試験Ⅰ級	中級簿記特講		
	日商簿記検定試験2級			

【申請手順】

下記の Microsoft Forms の URL より、順番に沿って質問に回答し、申請を行う科目の認定条件となっている資格試験の合格証書ファイルを提出（アップロード）してください。

第1期指定 URL:

<https://forms.office.com/r/pmnWj2ZkiH>

第2期指定 URL:

<https://forms.office.com/r/eAXjCkN5TP>

※合格証書ファイルの形式は PDF 形式もしくは画像データのみ受け付けます。

Microsoft Forms による申請は **1人1回のみ** 実施可能となっているため、申請内容に間違いがないようにご注意ください。

※諸般の事情により手元に合格証書がない、用意できない場合には、

Microsoft Forms 上での申請を行わず、申請期間中に教務課までその旨ご連絡ください。

【連絡先】

教務課電話番号:047-373-9754

教務課メールアドレス:kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp

メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、合格証書を用意できない理由を明記してください。

【申請期間における注意事項】

- Microsoft Forms の回答（申請）、合格証書の正しい提出が行われなかった場合には申請を受理できません。
- 単位認定を希望する科目の履修登録は行わないでください。当該科目の履修登録がなされていた場合には申請を取り下げたものとみなします。
- 単位認定が認められた場合には当該学期の修得単位として扱われ、学期末の成績公開時に成績照会に反映されますので、学期中の当該授業の受講は不要です。
- 単位認定が認められた場合、その単位は「学期履修単位数の上限」には含まれません。
- 第2期で申請した学生について、「初級簿記 II」の単位認定が認められた場合には、申請期間終了後に事前履修登録されている「初級簿記 II」の登録が学生時間割表から自動的に削除されます。

Q 単位認定申請をしたが、申請結果はいつ、どのように分かるか。

A

申請期間終了後、以下を目安に CUC PORTAL の掲示配信にてお知らせします。
(第1期:9/30(月)頃まで 第2期:10/7(月)頃)

Q 申請期間中に必要な合格証書データを用意できない、どうすれば良いか。

A

Microsoft Forms 上での申請を行わず、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。
メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、合格証書を用意できない理由を明記してください。

Q 1 度申請をしたが、申請内容に不備があったため、再申請したい。

A Microsoft Forms による申請は 1 人 1 回のみとなります。
申請内容を間違えた場合、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。
メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、再申請をしたい理由を明記してください。

Q 指定 URL をクリックしても Microsoft Forms にログインできない。

A Microsoft Forms での申請が可能となるのは申請期間中のみです。
まずは、申請期間中であるかどうか確認をしてください。
申請期間中にも関わらず、ログインできない場合、大学メールアカウント以外でログインを試みている可能性があります。必ず大学メールアドレスのアカウントでログインするようにしてください。
(○○○○○○○@st.cuc.ac.jp のメールアドレス)

【コースについて】

①コースの種類

コースは、商学科に 3 コース、経済学科に 3 コース、経営学科に 3 コース、学部共通のコース（副専攻としてのみ履修）として 3 コースの合計 12 コースが設置されています。詳細については、下表を参照してください。

※2018 年度以前入学者は、「履修ガイド 2018 年度以前入学者補足版」を確認してください。

区 分	コ ー ス 名
商 学 科	マ ー ケ テ ィ ン グ
	フ ァ イ ナ ン ス
	ア カ ウ ン テ ィ ン グ 注 1
経 済 学 科	国 際 経 済
	公 共 経 済
	地 域 経 済
経 営 学 科	ビ ジ ネ ス マ ネ ジ メ ン ト
	経 営 診 断 ・ 起 業
	ア カ ウ ン テ ィ ン グ 注 1
学 部 共 通 (副専攻コース)	情 報
	法 学
	言 語 文 化

注 1：商学科の「アカウンティング」コース及び経営学科の「アカウンティング」コースは同じコースであるため、この 2 つのコースを主・副専攻コースとすることはできません。

注 2：主専攻コースについては、必ず自分が所属している学科のコースから選択してください。

②コースの登録方法

コースは、1 年次秋学期に主・副専攻コースの登録を行います。詳細は告示にてお知らせします。コース制の趣旨等を理解した上で登録を行ってください。

なお、このコース登録を行わないと、2 年次春学期以の履修に影響が出ますので、必ず期間内にコース登録を完了させてください。

また、コース変更期間は、2 年次秋学期及び 3 年次秋学期に設けます。コース登録後に変更を希望する場合には、告示を確認の上、指定された期間内にコース変更手続きを行ってください。主・副専攻コースのいずれのコースも変更することができますが、期間後の変更は認められませんので、注意してください。

③コース配当科目

ア 商学科

マーケティングコース	ファイナンスコース	アカウンティングコース
マーケティング論Ⅱ	企業金融論Ⅰ	財務会計論Ⅰ
市場戦略論	企業金融論Ⅱ	財務会計論Ⅱ
流通経済論Ⅰ	証券市場論Ⅰ	管理会計論Ⅰ
流通経済論Ⅱ	証券市場論Ⅱ	管理会計論Ⅱ
ブランド論	デリバティブ入門	原価計算論Ⅰ
商品開発論	ファイナンシャル・プランニング論	原価計算論Ⅱ
マーケティング・コミュニケーション	保険論Ⅰ	会計監査論Ⅰ
流通システム論	保険論Ⅱ	会計監査論Ⅱ
消費者行動論	金融商品取引法Ⅰ	連結会計論Ⅰ
マーケティング・リサーチ論Ⅰ	金融商品取引法Ⅱ	税務会計論Ⅰ
サービスマーケティング論	金融機関論	経営分析Ⅰ
ソーシャル・マーケティング論	消費者金融論	経営分析Ⅱ

【マーケティングコース】

商品開発や販売戦略に欠かせないマーケティングの理論と実践のほか、ヒット商品を作りだせる力も習得します。商品（有形財または無形財）が売れる・売れない理由を理論的に捉える能力を育成します。その能力をもとにニーズをより良く満たす商品の開発、販売戦略、広告戦略など、総合的なマーケティング戦略を策定し、実践し、修正することができる人材を育てます。

【ファイナンスコース】

金融や企業財務などのお金の流れに関する知識を学び、資金調達や資産運用など、資金を的確に管理し運用する能力を身につけます。ファイナンシャル・プランニングなどの専門知識を身につけ金融機関などで活躍できる人材、または、企業内での財務管理に精通した人材などを育成します。

【アカウンティングコース】

様々な会計情報の意味を適切に理解し、企業活動の色々な領域に活用できる力や、財務諸表から企業の経営状況や将来性を推測する能力を学びます。簿記会計の基本的な知識を有し、様々な局面で、会計情報に基づいた適切な判断を下せる人材を育成します。

（注）商学科のアカウンティングコース及び経営学科のアカウンティングコースは、同一コースとなります。

イ 経済学科

国際経済コース	公共経済コース	地域経済コース
国際経済論Ⅰ	財政学Ⅰ	地域産業論
国際経済論Ⅱ	財政学Ⅱ	地域開発論
貿易論Ⅰ	金融論Ⅰ	産業組織論
貿易論Ⅱ	金融論Ⅱ	産業政策論
国際金融論	経済政策Ⅰ	現代の日本経済
開発経済論	経済政策Ⅱ	地方財政論
アメリカ経済論	行動経済学	中小企業政策論
ヨーロッパ経済論	公共経済学	交通経済学
アジア経済論	公共政策	農業経済学
グローバル社会論	社会政策	社会保障論
国際取引法Ⅰ	行政法Ⅰ	経済地理Ⅰ
国際取引法Ⅱ	行政法Ⅱ	経済地理Ⅱ

【国際経済コース】

ヒト・モノ・カネが国境を超えて移動する経済のしくみを理解して、国を豊かにするための国際経済における望ましい政策のあり方を学びます。多国籍企業は国境を越えて多くの国に展開しています。それぞれの国の制度の違いを学んで、国際経済の仕組みに対応できる人材を育成します。

【公共経済コース】

国の経済活動や中央銀行の制度を理解して、国民の暮らし向きを良くするための公共経済における望ましい政策のあり方を学びます。経済政策の両輪は財政と金融です。それぞれの政策の役割を学んで、公共経済の仕組みに対応できる人材を育成します。

【地域経済コース】

地方に山積する経済の問題と課題を理解して、地域住民の暮らし向きを良くするための地域経済における望ましい政策のあり方を学びます。地域により、人口密度、寒暖などの気象条件、地場産業が異なります。それぞれの地域の特色を学んで、地域経済の仕組みに対応できる人材を育成します。

ウ 経営学科

ビジネスマネジメントコース	経営診断・起業コース	アカウンティングコース
人的資源管理	中小企業診断Ⅰ	財務会計論Ⅰ
企業と社会	中小企業診断Ⅱ	財務会計論Ⅱ
マーケティングマネジメント	企業経営体験講義	管理会計論Ⅰ
経営戦略論	起業の理論	管理会計論Ⅱ
コーポレートガバナンス	企業家精神論	原価計算論Ⅰ
経営組織論Ⅰ	経営診断学Ⅰ	原価計算論Ⅱ
経営組織論Ⅱ	経営診断学Ⅱ	会計監査論Ⅰ
国際経営	地域流通診断の理論と実践	会計監査論Ⅱ
現代企業論	起業基礎実践	連結会計論Ⅰ
組織イノベーション	起業の実践	税務会計論Ⅰ
技術イノベーション	中小企業経営論	経営分析Ⅰ
リーダーシップ論	生産管理	経営分析Ⅱ

【ビジネスマネジメントコース】

企業や組織の経営戦略やリーダーシップ、役割と目的に応じたマネジメント（管理・運営）の方法などを幅広く学びます。様々な企業や組織で働くために必要な知識や理論を身につけたビジネスを担う人材を育成します。

【経営診断・起業コース】

国家資格の中小企業診断士、経営者（店舗経営者・中小企業経営者）、管理職をめざす人のための実学重視のコースです。経営に関する基本的な理論だけでなく、経営診断や起業に求められる知識及び、実践的な経験を身につけた人材を育成します。

【アカウンティングコース】

様々な会計情報の意味を適切に理解し、企業活動の様々な領域に活用できる力や、財務諸表から企業の経営状況や将来性を推測する能力を学びます。簿記会計の基本的な知識を有し、様々な局面で、会計情報に基づいた適切な判断を下せる人材を育成します。

（注）商学科のアカウンティングコース及び経営学科のアカウンティングコースは、同一コースとなります。

エ 学部共通副専攻

情報コース	法学コース	言語文化コース
情報科学概論	憲法Ⅰ	オーラル・コミュニケーション（１）
情報処理	憲法Ⅱ	オーラル・コミュニケーション（２）
プログラミングⅠ	民法（１）Ⅰ	ビジネスコミュニケーション論
情報システム論	民法（１）Ⅱ	英語音声学（１）
経営情報処理	民法（２）Ⅰ	英語音声学（２）
ネットワーク管理Ⅰ	民法（２）Ⅱ	英文学（１）
Web 情報デザイン	刑法Ⅰ	英文学（２）
映像情報処理Ⅰ	商法Ⅰ	異文化理解論（１）
情報ビジネス論	商法Ⅱ	異文化理解論（２）
経営情報システム論	会社法Ⅰ	ヨーロッパ文化論
音楽情報デザインⅠ	会社法Ⅱ	地中海文化論
情報数学	税法Ⅰ	アメリカ文化論
応用情報処理	税法Ⅱ	イギリス文化論
コンピュータシステム	労働法Ⅰ	中国ビジネスコミュニケーション基礎
経営情報概論	経済法Ⅰ	中国ビジネスコミュニケーション実践
情報資源管理	知的財産法Ⅰ	商業中国語

【情報コース】

経営情報、応用情報、表現情報の科目群を専門的に学び、社会で通用する情報技術(IT)を身につけます。情報技術に関する幅広い知識をもち、様々な状況においてコンピュータを活用できる人材を育成します。

【法学コース】

ビジネスや行政といった社会の幅広い分野で活躍するために必要な法に関する知識を学び、法的思考によって問題を解決する力（リーガルマインド）を身につけます。社会的な問題を客観的にとらえ、ルールに則って合理的に解決するための力、「リーガルマインド」を持った人材を育成します。

【言語文化コース】

外国語を集中して学ぶ他、その言語背景となる文化への理解を身につけます。多様な文化的背景を理解し、高いコミュニケーション力を用いて、よりよい人間社会の構築に積極的に関わっていく人物を育成します。

④自分の授業時間割を組む

【自分の授業時間割を組む手順】

手順	内容
1	履修登録できる単位数を確認する
2	授業時間割表を確認する
3	各科目における注意点を確認する
4	気になる科目のシラバスを確認し、授業内容を把握する
5	自分の時間割を決める

手順 1：履修登録できる単位数を確認する

【履修上限単位数】

学期の履修上限単位数は入学年度ごとに異なります。

入学年度	履修上限単位数	履修上限単位数には含まない科目
2024 年度入学者	22 単位（前学期 GPA3.0 以上の場合には 24 単位まで履修が可能）	・集中授業 ・教職課程科目 ・自由科目 ・海外短期文化研修 ・海外長期文化研修
2020 年度以降入学者	22 単位（前学期 GPA3.0 以上の場合には 26 単位まで履修が可能）	
2019 年度入学者	23 単位（前学期 GPA3.0 以上の場合には 26 単位まで履修が可能）	
2018 年度以前入学者	22 単位（前学期 GPA3.0 以上の場合には 26 単位まで履修が可能）	

【自身で履修登録できる単位数】

履修上限単位数から、事前履修科目の合計単位数を引いて、残った単位数が自身で履修できる単位数です。※事前履修科目および単位数は[事前履修科目](#)を参照してください

履修上限単位数 _____ 単位	—	事前履修科目の合計単位数 _____ 単位	=	自身で履修できる単位数 _____ 単位
---------------------	---	--------------------------	---	-------------------------

Q A よくある問い合わせ

Q

前学期 GPA3.0 以上は 26 単位（2024 年度入学者は 24 単位）履修可能という制度だが、「前学期」とは 1 つ前の学期の「学期 GPA」か、それとも「1 年間（春学期・秋学期）の GPA」か。

A

「前学期」の GPA とは、以下の GPA を指します。前年の 1 年間（春学期・秋学期）ではありません。

- ・春学期の履修時：前年度 秋学期の GPA
- ・秋学期の履修時：同年度 春学期の GPA

※GPA は CUC PORTAL 「成績照会」で確認してください。

【推奨される修得単位数】

履修上限単位数と同様に、その学期に修得することが望ましい推奨修得単位数が設定されています。

この推奨修得単位数にしたがって単位を修得することによって、4 年間で無理なく卒業ができるようになりますので、履修計画の際の参考にしてください。

学年	セメスター	推奨修得単位数	修得可能単位数
1	1	18	22
	2	36	44
2	3	54	66
	4	72	88
3	5	90	110
	6	108	132
4	7	120	154
	8（卒業）	124	176

手順2：授業時間割表を確認する

以下の表にて、時間割表を確認してください。

【授業時間割表（2024年度秋学期）】

※各科目における補足説明

- ・特別講義：今日の社会で関心の高いテーマ等を取り上げた科目であり、単年度での開講となります。どの卒業要件単位に含まれるかは、以下時間割表の「区分」を参照してください。
- ・オンデマンド：曜日時限の指定がない科目です。詳細は[遠隔授業の受講](#)を参照してください。

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修がでる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例)1-4:1~4年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜1時限・金曜3時限、水曜4時限・木曜4時限) ※4 2019年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023年度から2024年度入学の1~2年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	--	---

2024年9月17日現在

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	学科	クラス(組)	定員	備考
月	1	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	佐藤 正雄	経営	6-8	100	
	1	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	土屋 清人	商	5-7	100	
	1	学科基礎(経済)	選必	1-4	ミクロ経済学基礎/経済学 I	後藤 啓			85	
	1	経営診断・起業		2-4	企業家精神論	小谷 健一郎			100	
	1	選択		1-4	工業簿記 II	森 浩気			140	
	1	公共経済		2-4	財政学 II	江波戸 順史			150	
	1	選択		2-4	労働法 II	石川 茉莉			100	
	1	ファイナンス		1-4	ファイナンシャル・プランニング論	三田村 智			120	※5
	1	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	藏田 幸三			-	
	1	セミナー	必修	4	卒業研究 B	内海 幸久			-	
	1	外国	必再	1-4	英語(B)I (再履修)	小林 忠好			30	
	1	簿記		1-4	簿記特講	東条 美和			40	※3
	1	体育	必修	1-4	体育学実習 バスケットボール	武井 大輔			40	
	2	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	森 浩気	商	8-11	140	
	2	セミナー	必修	1-4	研究基礎 B	根岸 亮平、他	商	15	-	
							経済	1	-	
							経営	8	-	
	2	セミナー	必修	1-4	研究基礎 B	大沼 沙樹、他	商	1	-	
							経済	6	-	
							経営	2	-	
	2	選択		1-4	インターネット社会論	桃塚 薫			200	
	2	情報(商経)		1-4	情報処理	濱野 和人			32	
	2	マーケティング		2-4	流通経済論 I	野木村 忠度			100	
	2	選択		2-4	経済史 II	大賀 紀代子			110	
	2	選択		1-4	工業簿記 II	佐藤 正雄			100	
	2	アカウンティング		2-4	管理会計論 II	土屋 清人			170	
	2	選択		2-4	電子商取引実践/ビジネス実践 II	近藤 真唯			65	
	2	言語文化		2-4	英語音声学 (2)	松本 理一郎			40	
	2	選択		2-4	コミュニケーション・グラマー (2)	小黒 岳志			25	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基礎教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基礎教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基礎教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基礎教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基礎教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基礎教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断:起業_専攻_経営診断_起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例)1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	---

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス(組)	定 員	備 考
月	2	ビジネスマネジメント		2-4	現代企業論	戸室 健作			150	
	2	マーケティング		2-4	商品開発論/製品開発論	大風 薫			120	
	2	選択		2-4	情報システム設計	上山 俊幸			70	
	2	選択		2-4	リーディング（2）/リーディング（4）	山崎 聡			30	
	2	教職		3-4	商業科教育法（2）	西村 修一			40	
	2	選択		1-4	特別講義（総合教養 E）	後藤 啓			85	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	松田 和久			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	田原 慎二			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	朱 珉			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	小林 直人			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	藏田 幸三			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	川崎 知己			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	中尾 将人			-	
	2	自然		1-4	地球環境論	杉田 文			150	
	2	自然		1-4	統計学入門	赤木 茅			150	
	2	人文		1-4	Film Studies	酒井 志延			60	※5
	2	外国	必再	1-4	英語(B)I（再履修）	小林 忠好			30	
	2	外国		1-4	中級英語 II	菅原 典子			30	
	2	外国		1-4	プレゼンテーション英語	大勝 裕史			30	
	2	外国		1-4	フランス語 I	村松 マリ＝E			30	
	2	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	武井 大輔			40	
	3	セミナー	必修	1-4	研究基礎 B	西村 修一、他	商	10-12・18-19	-	
	3	セミナー	必修	1-4	研究基礎 B	森 浩気、他	商	5-9	-	
	3	選択		1-4	インターネット社会論	桃塚 薫			200	
	3	学科基礎 （商・経営）	選必	1-4	会計学総論 II	土屋 和之			130	
	3	情報（商経）		1-4	情報処理	濱野 和人			32	
	3	アカウンティング		2-4	原価計算論 II	安藤 崇			200	
	3	情報（商経）		2-4	応用情報処理	永岡 淳一			65	
	3	情報（商経）		2-4	映像情報処理 I	小野 聡			32	
	3	選択		2-4	グローバル・マーケティング論 II	森 久人			150	
	3	言語文化		2-4	ヨーロッパ文化論/言語文化特論 I	橋本 克己			120	
	3	地域経済		2-4	産業組織論	松崎 朱芳			70	
	3	選択		2-4	プログラミング II	宮田 大輔			70	
	3	選択		2-4	ネットワーク管理 II	柏木 将宏			25	
	3	ビジネスマネジメント		2-4	人的資源管理/人的資源管理論	戸室 健作			150	
	3	学科基礎 （経営）	選必	1-4	中小企業論入門/地域と中小企業論	小谷 健一郎			100	
	3	経営診断・起業		2-4	中小企業経営論	上笹 恵			140	
	3	選択		2-4	人間関係論	河田 美智子			150	
	3	ビジネスマネジメント		2-4	リーダーシップ論	大沼 沙樹			70	
	3	教職		2-4	教育法規	永井 克昇			50	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	山崎 聡			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	三田村 智			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	関口 雄祐			-	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基礎教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基礎教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基礎教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基礎教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基礎教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基礎教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断:起業_専攻_経営診断_起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 選択:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例)1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	---

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	学科	クラス(組)	定員	備考
月	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	朱 珉			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	櫻井 聡			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	野木村 忠度			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	川崎 知己			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	小黒 岳志			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	久保 誠			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	布施 雄治			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	杉浦 一雄			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	松田 和久			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	江波戸 順史			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	藏田 幸三			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	伊藤 泰生			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	松下 幸生			-	
	3	人文		1-4	ヨーロッパの歴史	師尾 晶子			150	
	3	社会		1-4	社会学	荒川 敏彦			150	
	3	自然		1-4	地球科学	杉田 文			150	
	3	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	菅原 典子		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	小林 忠好		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	酒井 志延		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	森野 豊		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	松本 理一郎		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	大勝 裕史		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	王 瑞来		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	康 宏理		指定	-	
	3	外国		1-4	基礎中国語会話 I	高 麗貞			30	
	3	外国		1-4	ドイツ語 II	村井 浩一			30	
	3	外国	必再	1-4	フランス語(A)I (再履修)	村松 マリ＝E			5	
	3	体育	必修	1-4	体育学実習 フットサル＆サッカー	武井 大輔			40	
	4	学科基礎(経済)	選必	1-4	マクロ経済学基礎	未定			85	
	4	情報(商経)		1-4	情報処理	西村 修一			40	
	4	情報(商経)		1-4	情報処理	濱野 和人			40	
	4	情報(商経)		1-4	情報処理	永岡 淳一			60	
	4	ビジネスマネジメント		2-4	リーダーシップ論	齊藤 三			70	
	4	選択		2-4	商品学/商品学 I	大風 薫			110	
	4	法学		2-4	会社法 II/商法(2) II	松田 和久			50	
	4	地域経済		2-4	社会保障論/社会保障論 I	齋藤 香里			140	
	4	言語文化		2-4	イギリス文化論	酒井 志延			150	※5
	4	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	小林 直人			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	土屋 和之			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	宮田 大輔			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	松崎 朱芳			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	中尾 将人			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	小野 聡			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	松下 幸生			-	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例)1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜1時限・金曜3時限・水曜4時限・木曜4時限) ※4 2019年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023年度から2024年度入学の1~2年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	--

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス(組)	定 員	備 考
月	4	セミナー	必修	4	卒業研究B	布施 雄治			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究B	久保 誠			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究B	関口 雄祐			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究B	朱 珉			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究B	長谷川 博			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究B	大平 進			-	
	4	人文		1-4	アジアの歴史	王 瑞来			150	
	4	人文		1-4	哲学	枅岡 大輔			150	
	4	人文		1-4	美術史	山内 舞子			150	
	4	自然		1-4	数と計算	新井 裕太			150	
	4	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	康 宏理		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	高 麗貞		指定	-	
	4	外国	必再	1-4	フランス語(B)I (再履修)	村松 マリ＝E			5	
	4	キャリア		1-4	マナー・ディスカッション	庄司 祐子			50	※5
	5	セミナー	必修	4	卒業研究B	齋藤 香里			-	
	5	セミナー	必再	1-4	研究基礎A (再履修)	枅岡 大輔			35	
	5	情報		1-4	特別講義 (特別演習・情報技術)	大矢野 潤、他			40	※5
火	1	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	森 浩気	経済	4ー6	85	
	1	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	東条 美和	経済	7ー9	85	
	1	学科基礎 (経済)	選必	1-4	マクロ経済学基礎	田原 慎二			70	
	1	情報(商経)		1-4	情報処理	大池 浩一			70	
	1	情報(商経)		2-4	情報資源管理	藤原 七重			30	
	1	言語文化		2-4	オーラル・コミュニケーション (2)	SCHERE Jacob			40	
	1	経営診断・起業		2-4	経営診断学 II	小原 久明			200	
	1	選択		2-4	物流論	青木 靖喜			50	
	1	国際経済		2-4	国際経済論 II	中尾 将人			100	
	1	地域経済		2-4	地域産業論/地方創生論	藏田 幸三			70	
	1	教職		2-4	特別活動と総合的な学習の時間	川崎 知己			50	※5
	1	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	土屋 清人			-	
	1	人文		1-4	言語学	松本 理一郎			150	
	1	社会		1-4	社会ネットワーク論	相良 陽一郎			150	
	1	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	藤野 和樹			40	
	1	体育	必修	1-4	体育学実習 バスケットボール	竹内 久善			40	
	1	体育	必修	1-4	体育学実習 フットサル&サッカー	武井 大輔			40	
	2	法学		1-4	憲法 I	合原 理映			65	
	2	経営診断・起業		1-4	企業経営体験講義	青木 靖喜			75	
	2	情報(商経)		2-4	プログラミング I	小野 聡			50	
	2	選択		2-4	刑法 II	内田 幸隆			40	
	2	選択		2-4	生産システム論	藏田 幸三			70	
	2	経営診断・起業		2-4	起業の実践	小原 久明			200	
	2	公共経済		2-4	金融論 II	大塚 茂晃			70	
	2	選択		2-4	映像情報処理 II	橋本 隆子			32	
	2	情報(商経)		2-4	W e b 情報デザイン	大池 浩一			70	
	2	選択		1-4	中級簿記 I	根岸 亮平			120	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基礎教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基礎教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基礎教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基礎教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基礎教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基礎教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断:起業_専攻_経営診断_起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解I~III」「日本語読解I~III」は留学生の履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	--

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス (組)	定 員	備 考
火	2	選択		2-4	特別講義（キャリア・マネジメント）	河田 美智子			50	※5
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	森 浩気			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	沖塩 有希子			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	川崎 知己			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	土屋 清人			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	中尾 将人			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	西村 修一			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	及川 拓也			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	藤原 七重			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	野木村 忠度			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	安藤 崇			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	栗林 隆			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	大賀 紀代子			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	田原 慎二			-	
	2	人文		1-4	イギリスの文学と文化	酒井 志延			150	
	2	人文		1-4	性格心理学	中村 晃			150	※5
	2	社会		1-4	生活環境論	政野 淳子			150	
	2	自然		1-4	健康科学 【リアルタイム】	藤野 和樹			150	
	2	自然		1-4	統計学入門	赤木 茅			150	
	2	社会		1-4	質的調査法	久保田 滋子			50	
	2	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	作田 久美子		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	岡留 聡子		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	和田 ゆり		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	菅原 典子		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	貝塚 泰幸		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	小黒 岳志		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	大勝 裕史		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	SCHERE Jacob		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	山内 真理		指定	-	
	2	外国		1-4	基礎中国語文法 I	王 佩民			30	
	2	外国		1-4	ドイツ語 III	森田 里津子			30	
	2	外国		1-4	スペイン語 I	日高 美奈子			30	
	2	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	鷲谷 浩輔			40	
	2	体育	必修	1-4	体育学実習 バスケットボール	竹内 久善			40	
	2	体育	必修	1-4	体育学実習 フットサル&サッカー	武井 大輔			40	
	2	キャリア		3-4	就業力実践	石田 美穂子			45	
	2	簿記		1-4	特別講義（ビジネス会計）	渡邊 圭			70	※5
	3	セミナー	必修	1-4	研究基礎 B	大風 薫、他	商	2-4	-	
							経済	2-3	-	
	3	セミナー	必修	1-4	研究基礎 B	河田 美智子、他	経済	4・5・7 -9	-	
	3	アカウンティング		2-4	原価計算論 II	安藤 崇			250	
	3	情報（商経）		2-4	コンピュータシステム	宮田 大輔			150	
	3	法学		2-4	商法 I/商法（I）I	小杉 亮一朗			130	
	3	選択		2-4	ライティング（3）	GILDART Samuel			25	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	--

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス(組)	定 員	備 考
火	3	マーケティング		2-4	ソーシャル・マーケティング論	森 久人			120	
	3	選択		2-4	財務報告論	小田 徳仁			70	
	3	地域経済		2-4	地域開発論/地域開発論 I	藏田 幸三			150	
	3	地域経済		2-4	中小企業政策論	小倉 信次			90	
	3	選択		2-4	IFRS 入門 II	及川 拓也			50	
	3	言語文化		2-4	異文化理解論(2)	酒井 志延			130	
	3	選択		2-4	与信管理論 B/特別講義(与信管理論 B)	大宮 有史			50	
	3	選択		1-4	中級簿記 II	根岸 亮平			140	
	3	教職		3-4	総合演習	永井 克昇			20	
	3	教職		3-4	総合演習	沖塩 有希子			20	
	3	選択		1-4	特別講義(総合教養 D)	江波戸 順史			70	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	松崎 朱芳			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	久保 誠			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	谷川 喜美江			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	長谷川 博			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	大賀 紀代子			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	小野 聡			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	師尾 晶子			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	相良 陽一郎			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	櫻井 聡			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	森 浩気			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	出口 弘			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	山崎 聡			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	橋本 隆子			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	山内 真理			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	小林 直人			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	野木村 忠度			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	戸室 健作			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	渡邊 圭			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	西村 修一			-	
	3	人文		1-4	心理学入門	中村 晃			150	
	3	社会		1-4	世界の紛争と平和	小松 寛			150	※5
	3	自然		1-4	数学	寺野 隆雄			150	
	3	自然		1-4	生物と機能	関口 雄祐			150	※5
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	岡留 聡子		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	菅原 典子		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	和田 ゆり		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	貝塚 泰幸		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	松本 理一郎		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	SCHERE Jacob		指定	-	
	3	外国		1-4	中級英語 III	作田 久美子			30	
	3	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	馬 大愚		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	王 佩民		指定	-	
	3	外国		1-4	ドイツ語 II	森田 里津子			30	
	3	外国		1-4	スペイン語 II	日高 美奈子			30	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基礎教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基礎教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基礎教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基礎教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基礎教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基礎教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 選択:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	--

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス (組)	定 員	備 考
火	3	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	武井 大輔			40	
	3	体育	必修	1-4	体育学実習 パレーボール	鷲谷 浩輔			40	
	3	体育	必修	1-4	体育学実習 フットサル&サッカー	竹内 久善			40	
	3	キャリア		1-4	雇用と労働の法律	手嶋 進			100	※5
	3	日本		1-4	日本語聴解 II	沢野 美由紀			30	※1
	4	経営診断・起業		1-4	中小企業診断 II	小谷 健一郎			100	
	4	情報(商経)		1-4	情報処理	宮田 大輔			50	
	4	マーケティング		2-4	流通経済論 II	長谷川 博			140	
	4	公共経済		2-4	公共政策	浅川 あや子			150	
	4	法学		2-4	商法 II/商法 (1) II	小杉 亮一朗			130	
	4	地域経済		2-4	地方財政論	江波戸 順史			100	
	4	国際経済		2-4	国際金融論/国際金融論 I	中尾 将人			70	
	4	ビジネスマネジメント		2-4	コーポレートガバナンス/企業行動論	小川 亮			160	
	4	教職		3-4	英語科教育法 (3)	山内 真理			5	
	4	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	GILDART Samuel			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	谷川 喜美江			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	関口 雄祐			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	齋藤 香里			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	大賀 紀代子			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	大塚 茂晃			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	森 久人			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	後藤 啓			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	相良 陽一郎			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	沖塩 有希子			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	櫻井 聡			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	森 浩気			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	松崎 朱芳			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	小野 聡			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	出口 弘			-	
	4	人文		1-4	歴史学入門	師尾 晶子			150	※5
	4	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	山崎 聡		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	岡留 聡子		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	作田 久美子		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	貝塚 泰幸		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	大勝 裕史		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	和田 ゆり		指定	-	
	4	外国		1-4	基礎英語 I	菅原 典子			30	
	4	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	馬 大愚		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	王 佩民		指定	-	
	4	外国		1-4	スペイン語 IV	日高 美奈子			30	
	4	日本		1-4	文章表現	行名 則子			80	
	4	日本		1-4	日本語読解 III	沢野 美由紀			30	※1
	4	セミナー	必再	1-4	研究基礎 B (再履修)	手嶋 進			35	
	4	情報		1-4	特別講義 (データサイエンス II)	赤木 茅、他			20	※5
	5	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	大塚 茂晃			-	

【区分】 ☐人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐国際経済:専攻_国際経済コース ☐公共経済:専攻_公共経済コース ☐地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐経営診断:起業_専攻_経営診断_起業コース ☐情報(商経):専攻_情報コース ☐法学:専攻_法学コース ☐言語文化:専攻_言語文化コース ☐選択:レクチャー科目群_選択 ☐教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐自由:自由科目 ☐セミナー:セミナー科目群 ☐集中:集中授業 ☐その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例)1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
---	--	---

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス(組)	定 員	備 考
火	5	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	後藤 啓			-	
	5	セミナー	必修	4	卒業研究 B	谷川 喜美江			-	
	5	自然		1-4	物理学	中山 琢夫			150	
水	1	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	及川 拓也	商	1-4	100	
	1	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	千葉 啓司	経営	1・3	100	
	1	学科基礎 (商)	選必	1-4	ファイナンス入門	三田村 智			220	※5
	1	ビジネスマネジメント		2-4	企業と社会	藤原 七重			50	
	1	選択		2-4	現代産業論	藏田 幸三			150	
	1	マーケティング		2-4	ブランド論/商品学 II	大風 薫			130	
	1	情報(商経)		2-4	プログラミング I	小野 聡			50	
	1	選択		2-4	経済法 II	木下 友夏芝			50	
	1	ファイナンス		2-4	デリバティブ入門	大塚 茂晃			60	
	1	選択		2-4	ミクロ経済学 II/ミクロ経済学上級	内海 幸久			50	
	1	地域経済		2-4	交通経済学/交通経済学 I	松崎 朱芳			50	
	1	選択		2-4	税務会計論 II	谷川 喜美江			70	
	1	アカウンティング		2-4	経営分析 II	森 浩気			70	
	1	ファイナンス		2-4	保険論 I	茶野 努			200	
	1	教職		2-4	教育相談論	相良 陽一郎			50	
	1	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	杉田 文			-	
	1	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	小谷 健一郎			-	
	1	セミナー	必修	4	卒業研究 B	土屋 和之			-	
	1	選択		2-4	労働経済論/労働経済学	佐藤 哲彰			50	※7
	1	社会		1-4	日本現代社会論	田中 信一郎			60	※5
	1	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	磯崎 聡子		指定	-	
	1	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	石田 早苗		指定	-	
	1	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	SPIGNESE Frank		指定	-	
	1	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	和田 ゆり		指定	-	
	1	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	GILDART Samuel		指定	-	
	1	外国		1-4	韓国語 I	李 女正 姫			30	
	1	情報	必再	1-4	情報入門(再履修)	長岡 篤			35	
	1	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	山中 浩敬			40	
	1	体育	必修	1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹			50	
	2	教職		4	教育実習(1)	永井 克昇			35	
	2	教職		4	教育実習(2)	永井 克昇			35	
	2	学科基礎 (商・経営)	選必	1-4	会計学総論 I	千葉 啓司			150	
	2	選択		2-4	西洋経済史/西洋経済史 I	大賀 紀代子			110	
	2	地域経済		2-4	現代の日本経済	藏田 幸三			150	
	2	選択		2-4	中国の社会とビジネス	朱 珉			65	
	2	法学		2-4	民法(1) II	長 友昭			65	
	2	国際経済		2-4	国際取引法 II	木下 友夏芝			150	
	2	ファイナンス		2-4	証券市場論 II	太田 達也			220	
	2	ビジネスマネジメント		2-4	国際経営	GILDART Samuel			50	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	藤原 七重			-	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断:起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例)1-4:1~4年生が履修可能 【備考】 ※1「日本語聴解I~III」「日本語読解I~III」は留学生の履修ができる科目です。 ※2「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜1時限・金曜3時限・水曜4時限・木曜4時限) ※4 2019年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6「アカデミック・リテラシー」は、2023年度から2024年度入学の1~2年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	--

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス(組)	定 員	備 考
水	2	社会		1-4	日本政治史	田中 信一郎			150	※5
	2	自然		1-4	生物学入門	関口 雄祐			150	
	2	外国	必再	1-4	英語(C)I (再履修)	SPIGNESE Frank			30	
	2	外国		1-4	基礎英語 II	笠原 涼太			30	
	2	外国		1-4	ドイツ語 III	大井 真奈			30	
	2	外国		1-4	フランス語 II	村松 マリ＝E			30	
	2	外国		1-4	韓国語 II	李 女正 姫			30	
	2	体育	必修	1-4	基礎体育学実習 特別体育	鷲谷 浩輔			-	※2
	2	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	山中 浩敬			40	
	2	体育	必修	1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹			50	
	2	キャリア		1-4	企業研究	手嶋 進			150	
	2	日本		1-4	文章表現	行名 則子			80	
	2	社会		1-4	特別講義 (SDGs 概論)	星野 智子			80	※5
	3	法学		2-4	民法 (2) II	長 友昭			65	
	3	言語文化		2-4	英文学 (2) /リーディング (2)	森野 豊			30	
	3	教職		3-4	情報科教育法 (2)	永井 克昇			30	
	3	人文		1-4	宗教学	加藤 弘二郎			150	
	3	社会		1-4	日本国憲法	及川 智志			150	
	3	社会		1-4	国際関係論	原 民樹			150	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	大澤 岳彦		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	作田 久美子		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	加藤 澄恵		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	石田 早苗		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	吉原 由紀子		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	SPIGNESE Frank		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	村上 真紀		指定	-	
	3	外国		1-4	基礎英語 I	加々美 成美			30	
	3	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	多田 佳子		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	張 麗		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	矢久保 典良		指定	-	
	3	外国		1-4	基礎中国語会話 II	韓 越			30	
	3	外国		1-4	中級中国語 II	王 克西			30	
	3	外国		1-4	フランス語 III	村松 マリ＝E			30	
	3	外国		1-4	韓国語 I	李 女正 姫			30	
	3	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	山中 浩敬			40	
	4	経営診断・起業		2-4	地域流通診断の理論と実践	池田 智史			50	
	4	教職		3-4	情報科教育実践	永井 克昇			30	
	4	選択		1-4	特別講義 (中小企業診断特論 C)	伊東 拓、他			70	
	4	人文		1-4	音楽史	伊藤 美由紀			150	
	4	人文		1-4	心理学入門	小川 奈美子			150	
	4	人文		1-4	哲学	加藤 弘二郎			150	
	4	人文		1-4	論理学	平原 卓			150	
	4	社会		1-4	国際関係論	原 民樹			150	
	4	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	大澤 岳彦		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	作田 久美子		指定	-	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例)1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	---

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス (組)	定 員	備 考
水	4	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	加藤 澄恵		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	加々美 成美		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	吉原 由紀子		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	王 克西		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	韓 越		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	張 麗		指定	-	
	4	外国	必再	1-4	中国語(A)I (再履修)	矢久保 典良			30	
	4	外国		1-4	韓国語 IV	李 女正 姫			30	
	4	簿記		1-4	簿記特講	勝谷 千恵子			40	※3
	5	選択		2-4	コンピュータ会計論 II	勝谷 千恵子			30	
	5	選択		1-4	特別講義 (中小企業診断特論 D)	伊東 拓、他			70	
	5	外国		1-4	ビジネス英語 II	加藤 澄恵			30	
木	1	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	及川 拓也	商	16-18	85	
	1	学科基礎 (経済)	選必	1-4	ミクロ経済学基礎/経済学 I	内海 幸久			85	
	1	選択		2-4	経済統計上級/経済統計 II	田原 慎二			65	
	1	法学		2-4	会社法 II/商法 (2) II	松田 和久			50	
	1	マーケティング		2-4	マーケティング・コミュニケーション/広告論	越川 靖子			200	
	1	選択		2-4	音楽情報デザイン II	中川 昭徳			32	
	1	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	小谷 健一郎			-	
	1	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	土屋 和之			-	
	1	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	西村 修一			-	
	1	セミナー	必修	4	卒業研究 B	奥寺 葵			-	
	1	人文		1-4	日本史	町田 明広			150	
	1	社会		1-4	法学	合原 理映			150	
	1	自然		1-4	宇宙科学	内田 俊郎			150	
	1	外国		1-4	ビジネス英語 II	BROWN Alex			30	
	1	外国	必再	1-4	中国語(B)I (再履修)	顧 銘			30	
	1	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	教員 共通			40	
	1	体育	必修	1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹			50	
	1	体育	必修	1-4	体育学実習 フットサル&サッカー	竹内 久善			40	
	2	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	谷川 喜美江	商	12-15	85	
	2	学科基礎 (商・経営)	選必	1-4	会計学総論 I	土屋 和之			100	
	2	情報(商経)		2-4	音楽情報デザイン I	中川 昭徳			32	
	2	公共経済		2-4	金融論 II	大塚 茂晃			70	
	2	学科基礎 (経営)	選必	1-4	中小企業論入門/地域と中小企業論	鈴木 直志			100	
	2	選択		2-4	環境経済学/環境経済学 I	中山 琢夫			220	
	2	選択		2-4	貿易英語 II	白土 さゆり			30	
	2	ファイナンス		2-4	保険論 I	山本 祥司			200	
	2	教職		3-4	商業科教育実践	西村 修一			35	
	2	選択		1-4	特別講義 (総合教養 F)	田原 慎二			70	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	宮田 大輔			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	松田 和久			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	内海 幸久			-	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基礎教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基礎教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基礎教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基礎教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基礎教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基礎教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基礎教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断:起業_専攻_経営診断_起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	--

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	学科	クラス(組)	定員	備考
木	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	奥寺 葵			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	橋本 隆子			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	山内 真理			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	安藤 崇			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	戸室 健作			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	及川 拓也			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	伊藤 泰生			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	西井 真祐子			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	越川 靖子			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	師尾 晶子			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	合原 理映			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	藤原 七重			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	荒川 敏彦			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究 B	小谷 健一郎			-	
	2	学部基礎	必再	1-4	初級簿記 II (再履修クラス)	枅岡 源一郎			20	
	2	人文		1-4	実学への招待 【リアルタイム】	枅岡 大輔、他			200	
	2	人文		1-4	東アジア文化論	佐和田 成美			150	
	2	社会		1-4	観光文化論	久保田 滋子			150	
	2	自然		1-4	自然科学入門	内田 俊郎			150	
	2	外国	必再	1-4	英語(C)I (再履修)	BROWN Alex			30	
	2	外国		1-4	基礎中国語文法 II	顧 銘			30	
	2	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	竹内 久善			40	
	2	体育	必修	1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹			50	
	2	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	教員 共通			40	
	2	キャリア		1-4	キャリアデザイン	庄司 祐子			100	
	2	キャリア		3-4	就業力実践	石田 美穂子			45	
	2	社会		1-4	特別講義 (芸術と商業文化)	西尾 淳			50	※5
	2	自然		1-4	特別講義 (環境・エネルギーの政策と実践)	手嶋 進、他			20	※5
	3	セミナー	必修	1-4	研究基礎 B	宮田 大輔、他	商	13・14・16・17	-	
							経営	I	-	
	3	セミナー	必修	1-4	研究基礎 B	大塚 茂晃、他	経営	3-7	-	
	3	選択		2-4	マクロ経済学中級/マクロ経済学 I	中尾 将人			50	
	3	選択		2-4	経営実践	佐藤 千里			60	
	3	ファイナンス		2-4	金融商品取引法 II	小杉 亮一朗			150	
	3	選択		1-4	上級簿記 II	枅岡 源一郎			45	
	3	アカウンティング		2-4	会計監査論 II	土屋 和之			80	
	3	選択		2-4	税効果会計論	谷川 喜美江			85	
	3	選択		1-4	中級簿記 II	小田 徳仁			150	
	3	選択		2-4	特別講義 (会計学特論 II) (生産管理から SDGs までの実物簿記)	出口 弘			50	※5
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	戸室 健作			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	師尾 晶子			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	内海 幸久			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	相良 陽一郎			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	合原 理映			-	

【区分】 □人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目_人文科学 □社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目_社会科学 □自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目_自然科学 □外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 □情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 □簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 □体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 □キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 □日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 □学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 □学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) □学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) □学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) □マーケティング:専攻_マーケティングコース □ファイナンス:専攻_ファイナンスコース □アカウンティング:専攻_アカウンティングコース □国際経済:専攻_国際経済コース □公共経済:専攻_公共経済コース □地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 □ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース □経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース □情報(商経):専攻_情報コース □法学:専攻_法学コース □言語文化:専攻_言語文化コース □選択:レクチャー科目群_選択 □教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) □自由:自由科目 □セミナー:セミナー科目群 □選択:選択必修科目 □空白:選択科目 □その他:その他 【履修種類】 □必修:必修科目 □必再:必修科目の再履修クラス □選択:選択必修科目 □空白:選択科目 □自由:自由科目	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	--	---

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス(組)	定 員	備 考
木	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	奥寺 葵			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	橋本 隆子			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	山内 真理			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	齋藤 香里			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	鈴木 直志			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	安藤 崇			-	
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	伊藤 泰生			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	田原 慎二			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	荒川 敏彦			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	千葉 啓司			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	土屋 清人			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	及川 拓也			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	西井 真祐子			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	越川 靖子			-	
	3	人文		1-4	倫理学	枅岡 大輔			150	
	3	社会		1-4	経済と社会	田中 信一郎			150	※5
	3	社会		1-4	文化人類学	久保田 滋子			150	
	3	自然		1-4	科学技術史	高橋 真樹			150	※5
	3	自然		1-4	環境と倫理	中山 琢夫			150	
	3	外国	必再	1-4	英語(A)I (再履修)	白土 さゆり			30	
	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	BROWN Alex		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	大勝 裕史		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	CUSHION. N. J.		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	呉 仲華		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	佐和田 成美		指定	-	
	3	外国		1-4	中級中国語 I	福原 崇夫			30	
	3	外国		1-4	ドイツ語 I	小松 真帆			30	
	3	外国		1-4	フランス語 IV	橋本 克己			30	
	3	簿記		1-4	税理実務研究 II	勝谷 千恵子			50	
	3	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	竹内 久善			40	
	3	体育	必修	1-4	体育学実習 バドミントン	藤野 和樹			50	
	3	キャリア		1-4	職業・業界研究	手嶋 進			100	
	3	キャリア		1-4	ホスピタリティ実践	佐野 昭子			70	
	4	アカウンティング		2-4	財務会計論 II/財務諸表論 II	小田 徳仁			150	
	4	選択		1-4	中級簿記 I (受験クラス)	渡邊 圭			100	
	4	教職		1-4	教育原理	沖塩 有希子			50	
	4	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	中村 晃			-	
	4	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	小杉 亮一朗			-	
	4	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	荒川 敏彦			-	
	4	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	布施 雄治			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	宮田 大輔			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	大塚 茂晃			-	
	4	人文		1-4	世界の文学	橋本 克己			150	
	4	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	玉川 明日美		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	BROWN Alex		指定	-	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 選必:選必科目 ☐ 選中:選中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例)1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解I~III」「日本語読解I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	---

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス (組)	定 員	備 考
木	4	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	CUSHION. N. J.		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	佐和田 成美		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	呉 仲華		指定	-	
	4	簿記		1-4	簿記特講	勝谷 千恵子			40	※3
	4	キャリア		1-4	ビジネス探究	手嶋 進			150	
	4	キャリア		1-4	ホスピタリティ実践	佐野 昭子			70	
	5	教職		3-4	介護等体験特論	沖塩 有希子			5	
	5	ビジネスマネジメント		2-4	技術イノベーション	布施 雄治			70	
金	1	言語文化		2-4	オーラル・コミュニケーション（2）	ELLSWORTH Ian Edward			30	
	1	マーケティング		2-4	サービスマーケティング論/サービス経営論	越川 靖子			130	
	1	選択		2-4	情報メディア論	磯山 友幸			230	
	1	選択		2-4	英語音声学特講（2）	小黒 岳志			25	
	1	経営診断・起業		2-4	中小企業経営論	松下 幸生			105	
	1	教職		1-4	生徒指導と進路指導/生徒・進路指導論	川崎 知己			50	
	1	セミナー	必修	4	卒業研究B	小川 亮			-	
	1	社会		1-4	ジェンダー論	坂本 洋子			150	※5
	1	自然		1-4	生命と倫理	柳内 和幸			150	※5
	1	自然		1-4	地球科学	杉田 文			150	
	1	体育	必修	1-4	基礎体育学実習	佐藤 智仁			40	
	2	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	野手 裕之	経営	2・4・5	115	
	2	学科基礎 (商・経営)	選必	1-4	会計学総論 II	梶岡 源一郎			110	
	2	情報(商経)		1-4	情報処理	仁木 拓志			70	
	2	情報(商経)		1-4	情報数学	久保 誠			70	
	2	選択		1-4	観光文化論実践	久保田 滋子			30	
	2	選択		2-4	ライティング（2）	BROWN Alex			30	
	2	選択		2-4	英語学（2）	山崎 聡			30	
	2	選択		2-4	オーラル・コミュニケーション（4）	ELLSWORTH Ian Edward			30	
	2	選択		2-4	外書講読 II	栗原 よし子			50	
	2	教職		3-4	英語科教育実践	山内 真理			5	
	2	選択		2-4	特別講義（ICT と会計 II）	出口 弘			75	※5
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	根岸 亮平			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	小田 徳仁			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	小黒 岳志			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	江波戸 順史			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	松下 幸生			-	
	2	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	越川 靖子			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	千葉 啓司			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	合原 理映			-	
	2	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	GILDART Samuel			-	
	2	セミナー	必修	4	卒業研究B	杉田 文			-	
	2	社会		1-4	地理学と社会	田野 宏			150	
	2	社会		1-4	社会調査法	磯山 友幸			150	
	2	自然		1-4	コーチング論	鷲谷 浩輔			150	※5
	2	外国	必再	1-4	英語(A)I（再履修）	和田 ゆり			30	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 必修:必修科目 ☐ 選択:選択必修科目 ☐ 空白:空白科目 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	---

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	学科	クラス(組)	定員	備考
金	2	外国		1-4	中級英語 I	村上 真紀			30	
	2	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	朱 珉		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	陳 志華		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	中国語(A)II 商経	多田 佳子		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	椿 正美		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	野原 敏江		指定	-	
	2	外国	選必	1-4	中国語(B)II 商経	呉 仲華		指定	-	
	2	体育	必修	1-4	体育学実習 卓球	佐藤 智仁			36	
	2	日本		1-4	文章表現	行名 則子			80	
	3	学部基礎	必修	1-4	初級簿記 II	野手 裕之	経済	1-3	115	
	3	学科基礎 (商・経営)	選必	1-4	会計学総論 I	桒岡 源一郎			100	
	3	情報(商経)		1-4	情報処理	仁木 拓志			70	
	3	学科基礎 (経済)	選必	1-4	経済統計基礎	出口 弘			45	※5
	3	地域経済		2-4	経済地理 II	田野 宏			100	
	3	アカウンティング		2-4	財務会計論 II/財務諸表論 II	千葉 啓司			160	
	3	公共経済		2-4	財政学 II	栗林 隆			200	
	3	法学		2-4	税法 II	泉 絢也			200	
	3	マーケティング		2-4	流通システム論/流通産業論	長谷川 博			150	
	3	ファイナンス		2-4	企業金融論 II/コーポレート・ファイナンス	三田村 智			100	
	3	選択		2-4	プログラミング II	久保 誠			70	
	3	学科基礎 (経営)	選必	1-4	中小企業論入門/地域と中小企業論	松下 幸生			100	
	3	教職		3-4	英語科教育法 (4)	山内 真理			5	※5
	3	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	杉田 文			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	山崎 聡			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	小田 徳仁			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	中村 晃			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	小杉 亮一朗			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	江波戸 順史			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	鈴木 直志			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	根岸 亮平			-	
	3	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	小川 亮			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	小黒 岳志			-	
	3	セミナー	必修	4	卒業研究 B	GILDART Samuel			-	
	3	人文		1-4	教育学	沖塩 有希子			150	
	3	自然		1-4	地球環境論	田中 信一郎			150	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	栗原 よし子		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	野川 浩美		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	白土 さゆり		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	作田 久美子		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	村上 真紀		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	大勝 裕史		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	和田 ゆり		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(B)II 商経	森野 豊		指定	-	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目_人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目_社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目_自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断:起業_専攻_経営診断_起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 選択:選択必修科目 ☐ 空白:空白科目 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1~2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	--

曜 日	時 限	区 分	履 修 種 類	配 当 年 次	授 業 科 目 名	教 員 名	学 科	ク ラ ス (組)	定 員	備 考
金	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	ELLSWORTH Ian Edward		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	BROWN Alex		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	CUSHION. N. J.		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	呉 仲華		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	椿 正美		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	植松 希久磨		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	野原 敏江		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	陳 志華		指定	-	
	3	外国	選必	1-4	中国語(C)II 商経	多田 佳子		指定	-	
	3	情報	必再	1-4	情報入門 (再履修)	市村 由起			35	
	3	簿記		1-4	簿記特講	東条 美和			40	※3
	3	体育	必修	1-4	体育学実習 バレーボール	鷲谷 浩輔			40	
	3	体育	必修	1-4	体育学実習 卓球	佐藤 智仁			36	
	3	キャリア		1-4	キャリアデザイン	櫻井 和典			100	
	3	日本		1-4	日本語読解 II	行名 則子			34	※1
	4	国際経済		2-4	貿易論 II	後藤 啓			80	
	4	選択		1-4	工業簿記 I (受験クラス)	渡邊 圭			100	
	4	国際経済		2-4	アメリカ経済論	朝比奈 剛			150	
	4	公共経済		2-4	経済政策 II	江波戸 順史			100	
	4	選択		2-4	時事英語	森野 豊			25	
	4	情報 (商経)		2-4	W e b 情報デザイン	仁木 拓志			70	
	4	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	栗林 隆			-	
	4	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	千葉 啓司			-	
	4	セミナー	必修	2-4	研究 I/研究 IB	小川 亮			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	三田村 智			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	長谷川 博			-	
	4	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	沖塩 有希子			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	小田 徳仁			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	中村 晃			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	小杉 亮一朗			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	鈴木 直志			-	
	4	セミナー	必修	4	卒業研究 B	根岸 亮平			-	
	4	社会		1-4	Global Studies	大勝 裕史			60	※5
	4	人文		1-4	倫理学	枘岡 大輔			150	
	4	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	栗原 よし子		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	野川 浩美		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	白土 さゆり		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(A)II 商経	作田 久美子		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	ELLSWORTH Ian Edward		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	山内 真理		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	吉原 由紀子		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	CUSHION. N. J.		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	BROWN Alex		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	村上 真紀		指定	-	
	4	外国	選必	1-4	英語(C)II 商経	GILDART Samuel		指定	-	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウンティング:専攻_アカウンティングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例)1-4:1~4 年次が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週2回の授業で4単位の科目となります。(月曜1時限・金曜3時限・水曜4時限・木曜4時限) ※4 2019年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023年度から2024年度入学の1~2年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	--

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	学科	クラス(組)	定員	備考
金	4	外国	必再	1-4	中国語(C)I (再履修)	植松 希久磨			30	
	4	外国		1-4	ドイツ語 II	LIEBHART Anette			30	
	4	外国	必再	1-4	フランス語(C)I (再履修)	村松 マリ＝E			5	
	4	日本		1-4	文章表現	行名 則子			80	
	4	社会		1-4	特別講義 (スポーツビジネス実践)	中村 聡宏			125	※5
	5	情報 (商経)		2-4	経営情報システム論	上山 俊幸			100	
	5	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	栗林 隆			-	
	5	セミナー	必修	3-4	研究 IIB	後藤 啓			-	
	5	セミナー	必修	4	卒業研究 B	三田村 智			-	
	5	学部基礎	必再	1-4	初級簿記 I (再履修クラス)	吉田 寛			100	
	5	外国		1-4	ビジネス英語 III	加藤 澄恵			30	
	5	情報	必再	1-4	情報入門 (再履修)	教員 共通			35	
	5	セミナー	必再	1-4	研究基礎 A (再履修)	枅岡 大輔			35	
土	1	教職		4	教職実践演習 (中・高)	川崎 知己			35	
オンデマンド		学部基礎	必修	1-4	商学入門/商学概論 I【オンデマンド】	越川 靖子	経済・経営	指定	270	
		学部基礎	必修	1-4	商学入門/商学概論 I【オンデマンド】	野木村 忠度	経済・経営	指定	270	
		学部基礎	必修	1-4	商学入門/商学概論 I【オンデマンド】	野木村 忠度	経済・経営	指定	270	
		学部基礎	必修	1-4	経済学入門/市場経済入門【オンデマンド】	大澤 美和	商	指定	200	
		学部基礎	必修	1-4	経済学入門/市場経済入門【オンデマンド】	夏 旋坤	商	指定	200	
		学部基礎	必修	1-4	経済学入門/市場経済入門【オンデマンド】	大澤 美和	商	指定	200	
		学部基礎	必修	1-4	経済学入門/市場経済入門【オンデマンド】	未定	商	指定	200	
		学部基礎	必修	1-4	経営学入門【オンデマンド】	大沼 沙樹	商	指定	200	※5
		学部基礎	必修	1-4	経営学入門【オンデマンド】	鄭 雅方	商	指定	200	※5
		学部基礎	必修	1-4	経営学入門【オンデマンド】	河田 美智子	商	指定	200	※5
		学部基礎	必修	1-4	経営学入門【オンデマンド】	布施 雄治	商	指定	200	※5
		情報 (商経)		1-4	情報科学概論【オンデマンド】	小林 直人			200	
		情報 (商経)		1-4	情報科学概論【オンデマンド】	小林 直人			200	
		マーケティング		2-4	マーケティング論 II【オンデマンド】	櫻井 聡			250	
		経営診断・起業		2-4	起業の理論【オンデマンド】	松下 幸生			200	
		ビジネスマネジメント		2-4	経営戦略論/経営戦略の理論【オンデマンド】	奥寺 葵			300	
		学科基礎 (経営)	選必	1-4	経営管理論/企業と管理【オンデマンド】	小川 亮			200	
		学科基礎 (経営)	選必	1-4	経営管理論/企業と管理【オンデマンド】	奥寺 葵			200	
		ビジネスマネジメント		2-4	経営組織論 II【オンデマンド】	大沼 沙樹			200	※5
		マーケティング		2-4	消費者行動論【オンデマンド】	芳賀 悠基			300	
		選択		2-4	キャッシュ・フロー会計論/連結会計論 II【オンデマンド】	根岸 亮平			200	
		ビジネスマネジメント		2-4	組織イノベーション/組織革新【オンデマンド】	伊藤 泰生			200	
		情報 (商経)		2-4	情報システム論【オンデマンド】	小林 直人			200	
		学科基礎 (商)	選必	1-4	マーケティング論 I【オンデマンド】	大風 薫			250	
		人文		1-4	社会思想史 【オンデマンド】	荒川 敏彦			150	
		人文		1-4	日本の文化 【オンデマンド】	杉浦 一雄			150	

【区分】 ☐ 人文:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 人文科学 ☐ 社会:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 社会科学 ☐ 自然:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 自然科学 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ 学部基礎:レクチャー科目群_学部共通基礎 ☐ 学科基礎(商):レクチャー科目群_学科基礎(商学科) ☐ 学科基礎(経済):レクチャー科目群_学科基礎(経済学科) ☐ 学科基礎(経営):レクチャー科目群_学科基礎(経営学科) ☐ マーケティング:専攻_マーケティングコース ☐ ファイナンス:専攻_ファイナンスコース ☐ アカウントニング:専攻_アカウントニングコース ☐ 国際経済:専攻_国際経済コース ☐ 公共経済:専攻_公共経済コース ☐ 地域経済:専攻_地域経済コース	【区分】 ☐ ビジネスマネジメント:専攻_ビジネスマネジメントコース ☐ 経営診断・起業:専攻_経営診断・起業コース ☐ 情報(商経):専攻_情報コース ☐ 法学:専攻_法学コース ☐ 言語文化:専攻_言語文化コース ☐ 選択:レクチャー科目群_選択 ☐ 教職:教職課程科目(教職履修学生のみ履修ができる科目) ☐ 自由:自由科目 ☐ セミナー:セミナー科目群 ☐ 集中:集中授業 ☐ その他:その他	【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4: 1～4 年生が履修可能 【備考】 ※1 「日本語聴解 I～III」「日本語読解 I～III」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「基礎体育学実習 特別体育」「体育学実習 特別体育」は傷病等により運動ができない、または禁止されている者が履修する科目です。履修希望者は、教務課へ申し出てください。 ※3 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。(月曜 1 時限・金曜 3 時限・水曜 4 時限・木曜 4 時限) ※4 2019 年度以降の入学者は履修できない科目です。 ※5 2018 年度以前の入学者は履修できない科目です。 ※6 「アカデミック・リテラシー」は、2023 年度から 2024 年度入学の 1～2 年次生のみ履修できる科目です。 ※7 他学部で開講される科目です。抽選申込の際は、抽選グループ「人間社会学部」から選択してください。
--	---	---

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	学科	クラス(組)	定員	備考
オンデマンド		社会		1-4	政治学入門 【オンデマンド】	田中 信一郎			150	
		社会		1-4	政治学入門 【オンデマンド】	田中 信一郎			150	
		自然		1-4	化学 【オンデマンド】	坂本 昌巳			150	
		自然		1-4	化学 【オンデマンド】	坂本 昌巳			150	
		自然		1-4	情報と倫理 【オンデマンド】	磯山 友幸			150	※5
		自然		1-4	エネルギー論 【オンデマンド】	中山 琢夫			150	
		自然		1-4	エネルギー論 【オンデマンド】	中山 琢夫			150	
		自然		1-4	情報と倫理 【オンデマンド】	磯山 友幸			150	※5
		簿記		1-4	会計学への扉 【オンデマンド】	渡邊 圭			150	※5
集中		情報（商経）		2-4	プログラミング I（集中）	永岡 淳一			32	
		教職		3-4	ICT 活用技術論（集中）	未定			50	※5

Q A よくある問い合わせ

Q 履修登録したい科目の曜日時限に事前履修科目（必修科目）が入ってしまったが、事前履修科目の曜日時限を変更できるか。

A 事前履修科目の曜日時限は変更できません。曜日時限が重なってしまった科目は、同一科目で別の曜日時限に開講されている授業を履修登録するか、次学期以降の履修を検討してください。

Q 時間割に記載されていない科目は、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。

A 履修学期の授業時間割表に載っていない科目は、開講されません。次学期以降に開講される可能性がありますので、開講されている年度・学期での履修を検討してください。

Q 必修科目の再履修の登録は、各自で行うのか。再履修の履修登録方法が分からない。

A 学部学科や科目によって、再履修の登録方法は異なります。詳細は[再履修科目](#)を確認してください。

Q 自分で選ぶ選択必修科目や選択科目などは選択肢が多すぎて、どの科目を履修したらよいか分からない。

A 学年によって履修登録できる科目は異なりますが、選択必修科目を優先して時間割を組んでみてください。組んだ結果、空いた時間割や残りの単位数に応じてシラバスを基に興味のある選択科目を履修登録することを推奨します。

Q 科目名の末尾に I・II、(1)・(2)等がついている科目について、I、(1)の単位を修得していなくても II、(2)を履修登録できるのか。

A 学部で条件が定められていなければ履修登録することができますが、II、(2)を履修する場合、I、(1)の単位を修得しておいた方が授業の理解を深めやすくなります。
学部で条件が定められている科目については[履修にあたり条件がある科目について](#)を参照してください。

手順3：各科目における注意点を確認する

【再履修科目】

再履修とは、不合格になった科目を翌学期以降に再び履修することをいいます。必修科目において再履修できる授業は下表のとおりです。下表に記載のない科目は、次学期以降に履修登録してください。

必修科目の再履修は、セミナー科目および「経済学入門」を除き、各自で履修登録が必要です。留学や休学等で履修できなかった場合においても、以下の表を確認して各自で履修登録を行ってください。

なお、1年次の体育科目を除き、再履修の場合は学科やクラス（組）の指定はありません。

再履修科目名称	教員氏名	曜日	時限	備考
英語(A)I（再履修）	白土 さゆり	木	3	
英語(A)I（再履修）	和田 ゆり	金	2	
英語(B)I（再履修）	小林 忠好	月	1	
英語(B)I（再履修）	小林 忠好	月	2	
英語(C)I（再履修）	SPIGNESE Frank	水	2	
英語(C)I（再履修）	BROWN Alex	木	2	
中国語(A)I（再履修）	矢久保 典良	水	4	
中国語(B)I（再履修）	顧 銘	木	1	
中国語(C)I（再履修）	植松 希久磨	金	4	
情報入門（再履修）	長岡 篤	水	1	
情報入門（再履修）	市村 由起	金	3	
情報入門（再履修）	吉田 実久	金	5	
基礎体育学実習	武井 大輔	月	2	
基礎体育学実習	藤野 和樹	火	1	
基礎体育学実習	鷺谷 浩輔	火	2	
基礎体育学実習	武井 大輔	火	3	
基礎体育学実習	山中 浩敬	水	1	
基礎体育学実習	山中 浩敬	水	2	
基礎体育学実習	山中 浩敬	水	3	
基礎体育学実習	青木 瑛美	木	1	
基礎体育学実習	青木 瑛美	木	2	
基礎体育学実習	竹内 久善	木	2	
基礎体育学実習	竹内 久善	木	3	
基礎体育学実習	佐藤 智仁	金	1	
体育学実習（バスケットボール）	武井 大輔	月	1	
体育学実習（フットサル&サッカー）	武井 大輔	月	3	
体育学実習（バスケットボール）	竹内 久善	火	1	
体育学実習（フットサル&サッカー）	武井 大輔	火	1	
体育学実習（バスケットボール）	竹内 久善	火	2	
体育学実習（フットサル&サッカー）	武井 大輔	火	2	
体育学実習（バレーボール）	鷺谷 浩輔	火	3	
体育学実習（フットサル&サッカー）	竹内 久善	火	3	
体育学実習（バドミントン）	藤野 和樹	水	1	
体育学実習（バドミントン）	藤野 和樹	水	2	
体育学実習（バドミントン）	藤野 和樹	木	1	
体育学実習（フットサル&サッカー）	竹内 久善	木	1	
体育学実習（バドミントン）	藤野 和樹	木	2	
体育学実習（バドミントン）	藤野 和樹	木	3	
体育学実習（卓球）	佐藤 智仁	金	2	

再履修科目名称	教員氏名	曜日	時限	備考
体育学実習（バレーボール）	鷲谷 浩輔	金	3	
体育学実習（卓球）	佐藤 智仁	金	3	
商学入門【オンデマンド】	越川 靖子	-	-	
商学入門【オンデマンド】	野木村 忠度	-	-	
商学入門【オンデマンド】	野木村 忠度	-	-	
経済学入門【オンデマンド】	大澤 美和	-	-	事前履修
経済学入門【オンデマンド】	大澤 美和	-	-	事前履修
経済学入門【オンデマンド】	夏 旋坤	-	-	事前履修
経済学入門【オンデマンド】	未定	-	-	事前履修
経営学入門【オンデマンド】	大沼 沙樹	-	-	
経営学入門【オンデマンド】	鄭 雅方	-	-	
経営学入門【オンデマンド】	河田 美智子	-	-	
経営学入門【オンデマンド】	布施 雄治	-	-	
初級簿記Ⅰ（再履修クラス）	吉田 寛	金	5	
初級簿記Ⅱ	佐藤 正雄	月	1	※Ⅰ
初級簿記Ⅱ	土屋 清人	月	1	
初級簿記Ⅱ	森 浩気	月	2	
初級簿記Ⅱ	森 浩気	火	1	
初級簿記Ⅱ	東条 美和	火	1	
初級簿記Ⅱ	及川 拓也	水	1	
初級簿記Ⅱ	千葉 啓司	水	1	
初級簿記Ⅱ	及川 拓也	木	1	
初級簿記Ⅱ	谷川 喜美江	木	2	
初級簿記Ⅱ（再履修クラス）	枘岡 源一郎	木	2	
初級簿記Ⅱ	野手 裕之	金	2	
初級簿記Ⅱ	野手 裕之	金	3	
研究基礎A（再履修）	枘岡 大輔	月	5	事前履修
研究基礎A（再履修）	枘岡 大輔	金	5	事前履修
研究基礎B（再履修）	手嶋 進	火	4	事前履修
研究Ⅰ	CUC PORTALで確認			事前履修
研究ⅡB	CUC PORTALで確認			事前履修
卒業研究B	CUC PORTALで確認			事前履修

※Ⅰ「初級簿記Ⅱ」は再履修クラスと通常クラスがあります。再履修者はいずれのクラスでも履修ができます。自身の時間割を確認し、履修できる時間帯の授業を選択してください。

【2018年度以前入学者のみ】

再履修科目名称	単位未修得科目名称	教員氏名	曜日	時限	備考
基礎英語Ⅰ	2年英語（A）Ⅰ	菅原 典子	火	4	
基礎英語Ⅰ	2年英語（A）Ⅰ	加々美 成美	水	3	
基礎英語Ⅱ	2年英語（A）Ⅱ	笠原 涼太	水	2	
会計学総論Ⅰ		千葉 啓司	水	2	
会計学総論Ⅰ		土屋 和之	木	2	
会計学総論Ⅰ		枘岡 源一郎	金	3	

【授業科目読替・新設・廃止等科目一覧】

2014～2018年度入学者カリキュラムにおいて、科目の改廃、名称変更等があったものは以下の通りです。

区 分	配当科目名称	開講科目名称	状況	備 考
ツール科目	人工言語	情報基礎	廃止	
	自然言語	英語 I	読替	
		英語 II	読替	
		英語 III	読替	
		英語 IV	読替	
		英語 V	廃止	
		英語 VI	廃止	
		ドイツ語 I	読替	
		ドイツ語 II	読替	
		ドイツ語 III	読替	
		ドイツ語 IV	読替	
		ドイツ語 V	廃止	
		ドイツ語 VI	廃止	
		フランス語 I	読替	
		フランス語 II	読替	
		フランス語 III	読替	
		フランス語 IV	読替	
		フランス語 V	廃止	
		フランス語 VI	廃止	
		中国語 I	基礎中国語会話 I	読替
		中国語 II	基礎中国語会話 II	読替
		中国語 III	基礎中国語文法 I	読替
		中国語 IV	基礎中国語文法 II	読替
		中国語 V	廃止	
		中国語 VI	廃止	
		スペイン語 I	スペイン語 I	読替
		スペイン語 II	スペイン語 II	読替
		スペイン語 III	スペイン語 III	読替
		スペイン語 IV	スペイン語 IV	読替
		韓国語 I	韓国語 I	読替
		韓国語 II	韓国語 II	読替
		韓国語 III	韓国語 III	読替
		韓国語 IV	韓国語 IV	読替
		I 年英語 (A) I	廃止	
		I 年英語 (A) II	廃止	
		I 年英語 (B) I	廃止	
		I 年英語 (B) II	廃止	
		I 年英語 (C) I	廃止	
		I 年英語 (C) II	廃止	
		I 年ドイツ語 (A) I	廃止	
		I 年ドイツ語 (A) II	廃止	
		I 年ドイツ語 (B) I	廃止	
		I 年ドイツ語 (B) II	廃止	
		I 年ドイツ語 (C) I	廃止	
		I 年ドイツ語 (C) II	廃止	
		I 年フランス語 (A) I	廃止	
		I 年フランス語 (A) II	廃止	
		I 年フランス語 (B) I	廃止	
		I 年フランス語 (B) II	廃止	
		I 年フランス語 (C) I	廃止	
		I 年フランス語 (C) II	廃止	
		I 年中国語 (A) I	中国語 (A) I	読替
		I 年中国語 (A) II	中国語 (A) II	読替
		I 年中国語 (B) I	中国語 (B) I	読替
		I 年中国語 (B) II	中国語 (B) II	読替

区 分		配当科目名称	開講科目名称	状況	備 考
ツール科目	自然言語	1年中国語(C)I		廃止	
		1年中国語(C)II	中国語(C)II	読替	
		2年英語(A)I	基礎英語 I	個別読替	
		2年英語(A)II	基礎英語 II	個別読替	
		2年英語(B)I		廃止	
		2年英語(B)II	2年英語(B)II(再履修)		
		2年英語(C)I		廃止	
		2年英語(C)II		廃止	
		2年ドイツ語(A)I		廃止	
		2年ドイツ語(A)II		廃止	
		2年ドイツ語(B)I		廃止	
		2年ドイツ語(B)II		廃止	
		2年ドイツ語(C)I		廃止	
		2年ドイツ語(C)II		廃止	
		2年フランス語(A)I		廃止	
		2年フランス語(A)II		廃止	
		2年フランス語(B)I		廃止	
		2年フランス語(B)II		廃止	
		2年フランス語(C)I		廃止	
		2年フランス語(C)II		廃止	
		2年中国語(A)I		廃止	
		2年中国語(A)II		廃止	
		2年中国語(B)I		廃止	
		2年中国語(B)II		廃止	
		2年中国語(C)I		廃止	
		2年中国語(C)II		廃止	
		上級英語 I		廃止	
		上級英語 II		廃止	
		上級英語 III		廃止	
		上級英語 IV		廃止	
		上級英語 V		廃止	
		上級英語 VI		廃止	
		上級英語 VII		廃止	
		上級英語 VIII		廃止	
		上級ドイツ語 I		廃止	
		上級ドイツ語 II		廃止	
		上級ドイツ語 III		廃止	
		上級ドイツ語 IV		廃止	
		上級ドイツ語 V		廃止	
		上級ドイツ語 VI		廃止	
		上級ドイツ語 VII		廃止	
		上級ドイツ語 VIII		廃止	
		上級フランス語 I		廃止	
		上級フランス語 II		廃止	
		上級フランス語 III		廃止	
		上級フランス語 IV		廃止	
		上級フランス語 V		廃止	
		上級フランス語 VI		廃止	
		上級フランス語 VII		廃止	
		上級フランス語 VIII		廃止	
		上級中国語 I		廃止	
		上級中国語 II		廃止	
		上級中国語 III		廃止	
		上級中国語 IV		廃止	
		上級中国語 V		廃止	
		上級中国語 VI		廃止	
		上級中国語 VII		廃止	
		上級中国語 VIII		廃止	
	スポーツ・トレーニング	基礎体育学実習	基礎体育学実習	読替	

区 分		配当科目名称	開講科目名称	状況	備 考		
レクチャー科目目群	総合科学	人間を知る	日本文学	古典日本文学	読替		
			哲学	哲学	読替		
			論理学	論理学	読替		
			倫理学	倫理学	読替		
			言語学	言語学	読替		
			心理学	心理学入門	読替		
			日本の文化	日本の文化	読替		
			文章表現	文章表現	読替		
			文学概論		廃止		
			美術史	美術史	読替		
			宗教学	宗教学	読替		
			アメリカの文学と文化	アメリカの文学と文化	読替		
			イギリスの文学と文化	イギリスの文学と文化	読替		
			社会を把握する	法学	法学	読替	
		ヨーロッパの歴史		ヨーロッパの歴史	読替		
		アジアの歴史		アジアの歴史	読替		
		政治学		政治学入門	読替		
		地理学		地理学と社会	読替		
		社会思想史		社会思想史	読替		
		文化人類学		文化人類学	読替		
		日本史		日本史	読替		
		観光文化論		観光文化論	読替		
		国際関係論		国際関係論	読替		
		政治思想史			廃止		
		社会学		社会学	読替		
		統計学		統計学入門	読替		
		教育学		教育学	読替		
		アラブ文化論		イスラーム・アラブ文化論	読替		
		東アジア文化論		東アジア文化論	読替		
		自然を探る		生物学	生物学入門	読替	
				数学	数学	読替	
			物理学	物理学	読替		
			宇宙科学	宇宙科学	読替		
			地球科学	地球科学	読替		
			自然科学概論	自然科学入門	読替		
			現代技術論		廃止		
			化学	化学	読替		
		現代を生きる	演劇	演劇	読替		
			地球環境論	地球環境論	読替		
			人権論	日本国憲法	読替		
			健康科学	健康科学	読替		
			スポーツ科学	スポーツ科学	読替		
			音楽	音楽史	読替		
			文芸	世界の文学	読替		
			生活環境論	生活環境論	読替		
			海外語学研修Ⅰ	海外短期文化研修Ⅰ	読替		
			海外語学研修Ⅱ	海外短期文化研修Ⅱ	読替		
			海外文化研修		廃止		
			資源エネルギー論	エネルギー論	読替		
			福祉論	福祉論	読替		
			ネットワーク社会論	社会ネットワーク論	読替		
			現代中国の思想	現代中国の思想	読替		
			言語文化特論Ⅰ	ヨーロッパ文化論	読替		
			言語文化特論Ⅱ	地中海文化論	読替		
	専攻科学		初級会計Ⅰ	初級簿記Ⅰ	読替	経済学科のみ／必修	
		初級会計Ⅱ	初級簿記Ⅱ	読替	経済学科のみ／必修		
		経営基礎	経営学入門	読替	経営学科の必修		
		経営学総論	経営学入門	読替	商学科・経済学科のみ		
		中小企業論入門	中小企業論入門	読替			
		経営学		廃止			

区 分		配当科目名称	開講科目名称	状況	備 考
レクチャー科目群	専攻科学	経営戦略の理論	経営戦略論	読替	
		経営学特殊講義 I		廃止	
		経営学特殊講義 II		廃止	
		企業と管理	経営管理論	読替	
		組織マネジメント	経営組織論 I	読替	
		組織革新	組織イノベーション	読替	
		社会的企業論		廃止	
		経営戦略の実践		廃止	
		キャリアデザイン I	キャリアデザイン	読替	
		就業力基礎	ホスピタリティ実践	読替	
		税理実務研究 I	税理実務研究 I	読替	
		税理実務研究 II	税理実務研究 II	読替	
		経理実務入門	経理実務入門	読替	
		税務実務入門	税務実務入門	読替	
		職業・業界研究	職業・業界研究	読替	
		ボランティア実践論		廃止	
		キャリアデザイン II		廃止	
		就業力実践A		廃止	
		就業力実践B	就業力実践	読替	
		ビジネス探究	ビジネス探究	読替	
		公務員実務研究 (A)		廃止	
		公務員実務研究 (B)		廃止	
		公務員実務研究 (C)		廃止	
		企業研究	企業研究	読替	
		インターンシップ	インターンシップ	読替	
		商学概論 I	商学入門	読替	
		商学概論 II	商学総論	読替	
		社会経済学		廃止	
		簿記特講	簿記特講	読替	
		海外特別研修		廃止	
		日本経済史		廃止	
		政治経済学中級	実験経済学	読替	
		環境経済学 I	環境経済学	読替	
		経営史		廃止	
		非営利組織の理論		廃止	
		行政組織の理論		廃止	
		自治体ガバナンス		廃止	
		環境経営		廃止	
		地域福祉経営		廃止	
		市民社会論		廃止	
		公益事業		廃止	
		経済統計 I	経済統計中級	読替	
		経済統計 II	経済統計上級	読替	
		ファイナンス入門	企業金融論 I	読替	
		上級工業簿記 I		廃止	
		上級工業簿記 II		廃止	
		商品学 I	商品学	読替	
		商品学 II	ブランド論	読替	
		ビジネス実践 I	ビジネス実践	読替	
		ビジネス実践 II	電子商取引実践	読替	
		ビジネス英語		廃止	
		災害リスクマネジメント論		廃止	
		プロジェクト演習		廃止	
		連結会計論	連結会計論 I	読替	
		キャッシュ・フロー会計論	連結会計論 II	読替	
		経済学史		廃止	
		厚生経済学	行動経済学	読替	
		景気変動論		廃止	
		比較経済体制論		廃止	
		政治経済学上級		廃止	

区 分		配当科目名称	開講科目名称	状況	備 考
レクチャー科目群	専攻科学	環境経済学 II		廃止	
		環境産業論		廃止	
		交通経済学 I	交通経済学	読替	
		交通経済学 II		廃止	
		地方税制論		廃止	
		医療経済学		廃止	
		行政組織の実践		廃止	
		企業行動論	コーポレートガバナンス	読替	
		会計学特論		廃止	
		コーポレート・ファイナンス	企業金融論 II	読替	
		IFRS 総論 I		廃止	
		IFRS 総論 II		廃止	
		リーディング(1)	英文学(1)	読替	
		リーディング(2)	英文学(2)	読替	
		リーディング(3)	リーディング(1)	読替	
		リーディング(4)	リーディング(2)	読替	
		-	技術イノベーション	新設	
		-	グローバル・マーケティング論 I	新設	2018 年度商学科入学者のみ
		-	グローバル・マーケティング論 II	新設	2018 年度商学科入学者のみ
		-	デリバティブ入門	新設	2018 年度入学者のみ
		-	商業中国語	新設	2018 年度入学者のみ

手順 4：気になる科目のシラバスを確認し、授業内容を把握する

開講されている科目が、実際にどのような授業を行うのか、その情報を提供しているものが「シラバス（講義概要）」です。シラバスには、各授業科目の講義内容や到達目標、事前事後学修等の指示、授業計画、評価方法、履修上の注意、教科書などが掲載されています。

時間割作成の際だけでなく、履修登録期間、授業期間など、常にシラバスの内容を確認するよう心がけてください。

シラバスは、CUC PORTAL で閲覧可能です。

シラバスの閲覧方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）

「3. 履修 シラバス内容を確認する／シラバス照会」

Q A よくある問い合わせ

Q

シラバスを検索しても科目の情報が出てこないときは、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいのか。

A

まずは「授業管理部署」や「開講年度学期」などの検索条件に誤りがないか確認してください。正しい検索条件で検索しても情報が出ない場合は、その学期には開講しないということになります。開講がない場合、次年度以降に開講される可能性がありますので、開講する学期に履修することを検討してください。

Q

シラバスに記載されている「先修科目」とは何か。指定された科目の単位を修得していないと履修できないということか。

A

「先修科目」とは、特定の科目を履修する場合、あらかじめ単位を修得しておくことが望ましい科目を指します。つまり、単位修得していなくても履修はできますが、単位修得していた方がより科目内容を理解できるということです。

Q

学年が1年となっている科目は1年次しか履修できないか。

A

学年は、履修可能な最低年次を示しています。詳細は[授業科目配当表](#)を参照してください。

手順 5：自分の時間割を決める

手順1～4を踏まえて、自分の時間割を決めてください。

時間割決定後、履修登録できない科目を時間割に含めていないか確認してください。

⑤履修登録を行う

以下の手順に沿って、履修登録を行ってください。履修登録後は必ずCUC PORTAL「学生時間割表」を見直して、正しく登録・修正が行われているかを確認してください。確認を怠り、履修登録をしていない科目を受講しても、その科目の成績は無効となります。履修登録期間外の対応は一切できませんので、十分注意してください。

履修登録は、CUC PORTAL にて行います。

各手順の方法は、CUC PORTAL 活用マニュアルを参照してください。

<https://portal.cuc.ac.jp/>

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）



【履修登録日程】

[履修登録日程表](#)を参照ください。

【履修登録を行う手順】

手順	内容	CUC PORTAL 活用マニュアル 項目
1	事前履修科目（必修科目）の確認	3. 履修 事前履修科目を確認する／学生時間割表
2	一次履修登録期間（抽選）にて、抽選科目申込を行う	3. 履修 抽選科目の希望申請登録をする／抽選希望登録
3	二次履修登録期間（先着）にて、履修登録を行う	3. 履修 履修登録、履修修正、履修取消をする／履修登録
4	三次履修登録期間（修正）にて、履修修正を行う	
5	履修取消期間にて、履修取消を行う	

【履修登録時における注意点】

- ・履修登録前に、授業時間割表に抽選申込したい科目が記載されているか確認してください。
- ・履修登録の際は、学期の履修上限単位数を越えないようにしてください。全ての申込が無効になる場合があります。

【授業不開講】

必修及び選択必修等の卒業に関わる授業科目を除き、二次履修登録期間（先着）終了時点において履修者数が3名以下の場合、授業を開講しない場合があります。対象科目等は、告示にてお知らせします。

授業不開講により、当該の曜日・時限の履修登録が取消となった場合は、三次履修登録期間（修正）期間中であれば、追加で他の授業を履修登録することができます。

Q A よくある問い合わせ

Q

抽選申込後、履修上限超過のエラーが出ているがどうしたらよいか、申し込みはすべて無効になるのか。

A

上限を超えて申し込んだ場合、全ての申込が無効になる場合があります。その結果、卒業可否に影響する場合があります。

履修上限単位数を超えて申し込んではいけません。合計単位数には、事前履修科目の単位数も含めますので注意してください。

間違えて申し込んでしまった場合は、抽選科目の申込期間内に履修上限単位数以下となるように修正を行ってください。

Q

抽選申込みした科目が時間割表に反映されていないが、落選したということか。

A

落選したこととなります。落選した科目は時間割表に反映されません（落選通知は行っていません）。落選した科目は、二次履修登録期間（先着）で定員に空きが出た場合は先着順で履修することができます。空きが出ない場合は、別科目を二次履修登録期間（先着）で登録することを検討してください。

Q

抽選結果発表日の前に、既に抽選科目の結果が出ている友人がいたが、自分の時間割には反映されていない。自分はすべて落選したということか。

A

抽選結果は「履修登録日程表」でご案内している抽選結果発表日時に公開します。公開前に、システム処理過程の内容が表示されることがありますが、正式な抽選結果は抽選結果発表日時に公開される内容になります。

授業

学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）、授業準備について確認の上、授業を受講してください。

⑥学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）を知る

【2学期制（セメスター制）】

本学は春学期（4月1日～9月30日）と秋学期（10月1日～3月31日）の2学期制（セメスター制）です。

授業は、原則として週1回（一部、1日2回または週2回の科目もあり）開講され、各学期13週にわたって開講されます。

この学期完結の授業形態が2学期制（セメスター制）です。それぞれの学期（セメスター）で授業期間などが学事カレンダーに定められていますので、学事カレンダーをよく確認してください。

Q A よくある問い合わせ

Q ゴールデンウィーク、夏休み、春休みはいつか。

A 休暇期間の開始日および終了日は各自の時間割により異なります。学事カレンダーに数字が記載されていない日は授業がありません。自身の学生時間割表と学事カレンダーを照らし合わせてご確認ください。

【授業時間】

授業は1時限あたり105分で行われ、授業時間は、下表のとおりです。

時限	時間
1 時限	9 : 00 ~ 10 : 45
2 時限	10 : 55 ~ 12 : 40
昼休み	12 : 40 ~ 13 : 30
3 時限	13 : 30 ~ 15 : 15
4 時限	15 : 25 ~ 17 : 10
5 時限	17 : 20 ~ 19 : 05

学事カレンダー 商経学部、政策情報学部、サービス創造学部、人間社会学部

2024年度春学期

4月								7月							
日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土	
	1	新入生オリエンテーション					入学式		10	11	11	11	11	11	
7	8	9	10	11	12			7	8	9	10	11	12	13	
	新入生オリエンテーション						1		11	12	12	12	12	12	
14	15	16	17	18	19	20		14	15	16	17	18	19	20	
	1	1	1	1	1	2			12 海の日	13	13	13	13	13 補講日	
21	22	23	24	25	26	27	休講日	21	22	23	24	25	26	27	
	2	2	2	2	2				13	補講期間	補講期間	補講期間	補講期間	補講期間	
28	29 昭和の日	30 7/15 海の日 振替休日						28	29 補講期間	30	31				
5月								8月							
			1 創立 記念日	2 10/14 スポーツ の日 振替休日	3 憲法 記念日	4 みどりの 日						1	2	3	
5 こどもの 日	6 振替 休日	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10	
	3	3	3	3	3	3									
12	13	14	15	16	17	18		11	12 振替 休日	13	14	15	16	17	
	3	4	4	4	4	4 補講日		山の日							
19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	23	24	
	4	5	5	5	5	5									
26 体育祭	27	28	29	30	31			25	26	27	28	29	30	31	
	5	6	6	6	6										
6月								9月							
						1 6		1	2	3	4	5	6	7	
2	3	4	5	6	7	8		8	9 卒業 者 発表	10	11	12	13	14	
	6	7	7	7	7	7 補講日									
9	10	11	12	13	14	15		15	16 敬老 の日	17	18	19	20 学位記 授与式	21	
	7	8	8	8	8	8									
16	17	18	19	20	21	22		22 秋分 の日	23 振替 休日	24	25	26	27	28	
	8	9	9	9	9	9									
23/30	24	25	26	27	28	29		29	30						
	9	10	10	10	10	10 補講日									

2024年度秋学期

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
10月			1	2	3	4	5	11月				1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11	12		5	6	7	8	9	10	11
	13	14 ① スポーツの日	15 ①	16 ①	17 ①	18 ②	19 ②		12	13 成人の日	14 ②	15 ②	16 ②	17 準備日 3/20 春分の日 振替休日	18 大学入学 共通 テスト
	20	21 ②	22 ②	23 ②	24 ②	25 ③	26 ③		19 大学入学 共通 テスト	20 ②	21 ③	22 ③	23 ③	24 ③	25 ③ 補講日
	27	28 ③	29 ③	30 ③	31 ③				26	27 ③	28 補講期間	29 補講期間	30 補講期間	31 補講期間	
11月						1 ④	2 ④ 補講日	12月							1 補講期間
	3 文化の日 瑞穂祭	4 振替休日 瑞穂祭	5 休講日 瑞穂祭 片付け日	6 ④	7 ④	8 ⑤	9 ⑤		2	3 補講期間	4	5	6	7	8
	10	11 ④	12 ④	13 ⑤	14 ⑤	15 ⑥	16 ⑥		9	10	11 建国 記念日	12	13	14	15
	17	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑥	21 ⑥	22 ⑦	23 ⑦ 勤労感謝 の日		16	17	18	19	20	21	22
	24	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑦	28 ⑦	29 ⑧	30 ⑧ 補講日		23 天皇 誕生日	24 振替 休日	25	26	27	28	
12月	1 ⑦	2 ⑦	3 ⑧	4 ⑧	5 ⑧	6 ⑨	7 ⑨	1月							1
	8	9 ⑧	10 ⑧	11 ⑨	12 ⑨	13 ⑩	14 ⑩		2	3	4	5	6	7	8
	15	16 ⑨	17 ⑨	18 ⑪	19 ⑩	20 ⑪	21 ⑪ 補講日		9	10 卒業 者 発表	11	12	13	14	15
	22	23 ⑩	24 ⑩	25	26	27	28		16	17	18	19	20 学位記 授与式 春分の日	21	22
	29	30	31						23	24	25	26	27	28	29
									30	31					

⑦授業の準備をする

教科書の購入

授業で利用する教科書は、自分自身で購入する必要があります。

教科書は「千葉商科大学生協 教科書販売サイト」で購入できます。ただし、Web サイトで情報がない教科書もありますので、その際は一般の書店かインターネットの書籍販売サイト等で購入してください。

履修登録した科目の教科書は、シラバスから確認してください。

① シラバスの閲覧方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）

「3. 履修 シラバス内容を確認する／シラバス照会」

▶千葉商科大学生協 教科書販売サイト

https://www.univcoop.jp/cuc/info/info_60.html

- ・支払い：クレジット払いまたはコンビニ支払い
- ・受け渡し方法：店頭受け取りまたは配送



【問い合わせ先】千葉商科大学生活協同組合（生協） 購買書籍部 047-372-0195

Q A よくある問い合わせ

Q 科目によっては、教科書を購入しなくてもよい科目があるのか。

A シラバスで教科書名が記載されていない科目または「教科書使用なし」などと記載されている科目は、教科書の購入が不要です。ただし、必ず授業にて担当教員の説明を聞き、教科書購入の必要性を確認してください。

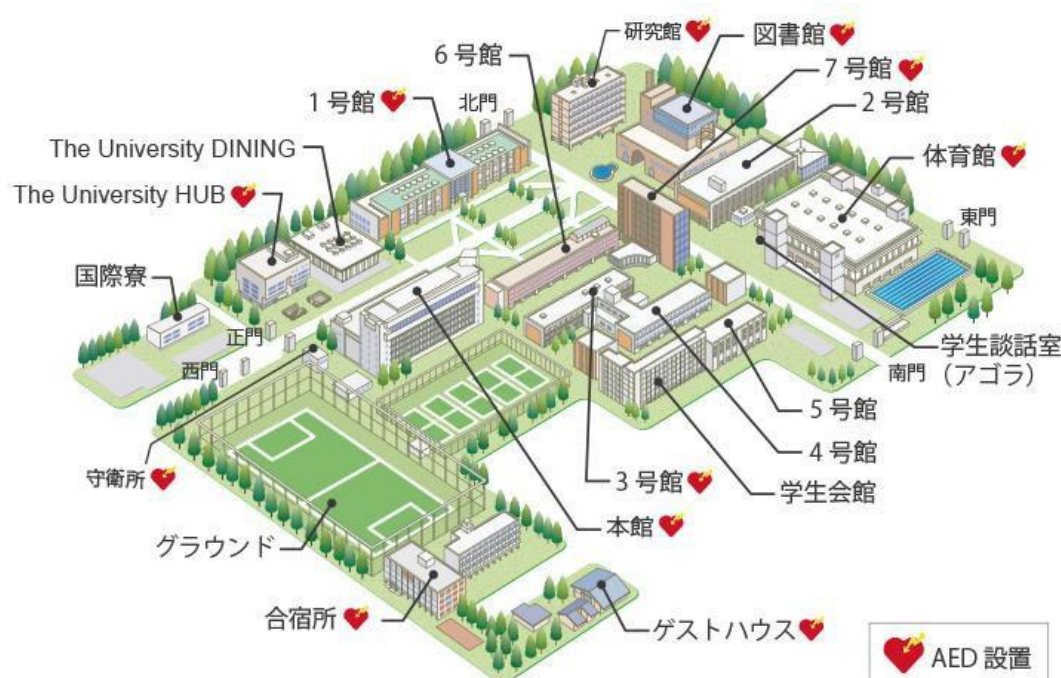
教室の確認

教室の場所はCUC PORTAL「学生時間割表」で確認することができます。

月 4
☐ 研究I/研究IB
教員名
646教室

教室は、授業期間中、履修者数やその他の事情で変更になる場合があります。特に、学期のはじめは注意してください。教室の変更は、CUC PORTAL で確認できます。

遠隔・リアルタイム型の授業についても、リアルタイム受講用教室を表示しています。大学内で遠隔・リアルタイム授業を受講する場合は指定の教室で受講してください。



教室番号は 1 文字目の「号館」と 2 文字目の「階数」の組合せになっています。

(例) 教室名	説明
<u>1</u> <u>2</u> 0 3 教室	<u>1 号館</u> <u>2 階</u> にあります
<u>2</u> <u>3</u> 1 教室	<u>2 号館</u> <u>3 階</u> にあります
<u>7</u> <u>0</u> 2 教室	<u>7 号館地下</u> にあります
<u>H</u> <u>3</u> 1 教室	<u>The University HUB</u> <u>3 階</u> にあります

以下の教室は、教室名から号館・階数が分かりにくい教室です。ご注意ください。

教室名	場所
化学実験室	2 号館 3 階
商品学実験室	
324PC 室（旧第 6 コンピュータ実習室）	3 号館 2 階
325PC 室（旧第 7 コンピュータ実習室）	
326PC 室（旧第 8 コンピュータ実習室）	
327PC 室（旧第 9 コンピュータ実習室）	
H31 教室	The University HUB 3 階
H32 教室	
H33 教室	
指定場所 ※「基礎体育学実習」「体育学実習」などの履修時に表示されます	※告示や掲示にて詳細を確認してください

⑧授業を受講する

以下について確認の上、授業を受講してください。

- ・ 出席登録
- ・ 遠隔授業の受講
- ・ 休講・補講
- ・ 課題の提出
- ・ 教員への連絡・質問
- ・ 欠席の扱い
- ・ 不正行為
- ・ 授業の受講以外の対応

CUC PORTAL の作業手順や方法は、CUC PORTAL 活用マニュアルを参照してください。

<https://portal.cuc.ac.jp/>

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）



出席登録

大学では、授業の出席確認は授業担当教員に一任されているため、出席登録の有無や方法は授業により異なります。以下のパターンを参照の上、各授業にて出席登録の有無・方法を確認してください。

なお、必修科目や出席を調査する科目の場合、その授業の欠席回数によって、保証人に対し、出欠状況を知らせる通知が出され、注意喚起が行われることがあります。授業内容を理解するためには出席することが大切ですので、授業には毎回出席するようにしてください。

パターン	出席確認方法
出席登録を行うパターン	CUC PORTAL の「出席登録」の利用や出席カード等配布物の回収等によって出席を確認します。 CUC PORTAL 「出席登録」を利用した出席確認の場合、スマートフォンまたはパソコンが必要になりますので、担当教員の指示に従ってください。
出席登録を行わないパターン	出席を確認しない場合や、課題やレポートの提出をもって出席とみなす場合などがあります。詳細な出席確認方法については担当教員の指示に従ってください。

遠隔授業の受講

本学では面接形式で授業を行うことを基本としていますが、一部の科目については、遠隔形式で行われます。

遠隔形式とは、各自で PC やスマートフォンを利用して授業を受ける形式です。自宅や学内で受講することができます。

遠隔形式は「リアルタイム型」と「オンデマンド型」に区分されます。以下の通り、受講方法が異なりますので、確認したうえで授業を受講してください。

? 遠隔形式の授業の確認方法

遠隔形式の授業は、CUC PORTAL「学生時間割表」で次のように科目名の後ろに授業形式が記載されます。

	月曜日	火曜日
2		健康科学 【リアルタイム】 藤野 和樹 1103教室 9101069 2単位

オンデ

授業科目	教員氏名	
1106004 商学入門 【オンデマンド】	越川 靖子	遠隔授業

遠隔形式の種類	受講方法	曜日・時限の指定	大学内で受講する場合の受講場所指定
リアルタイム型	Teams などのオンライン会議機能を利用して、時間割表の授業時間に受講する授業です。授業によっては、Zoom を利用する授業もあります。	<u>指定あり</u>	<u>指定あり</u> 「学生時間割表」に教室名が表示されます。 学内で受講する場合は、必ずヘッドセット（マイク付きイヤホン含む）を利用してください。
オンデマンド型	各自で動画教材や音声教材を視聴して受講する授業です。	<u>指定なし</u>	<u>指定なし</u> 曜日・時限の指定がないため、受講場所は指定していません。

「リアルタイム型」の受講方法	
初回授業の参加方法	・ CUC PORTAL の「クラスプロフィール」の「授業資料」より、授業日の 2 日前までを目安に指示がなされます。授業資料に記載された指示に従って準備をしてください。 ▼「クラスプロフィール」の確認方法▼  
「出席登録」を利用した出席確認	面接形式の授業と同様、CUC PORTAL「出席登録」の機能を利用する場合があります。（利用有無は教員により異なります）
注意点	・ 学修に適した環境で受講してください。 ・ アルバイト中にスマートフォンで参加するなど不適切な環境で授業参加し、懲罰の対象となった事例があります。 ・ 都合により受講環境が準備できない場合、担当教員に相談してください。

「オンデマンド型」の受講方法	
初回授業の参加方法	・ CUC PORTAL の「クラスプロファイル」の「授業資料」より、授業日の 2 日前までを目安に指示がなされます。授業資料に記載された指示に従って準備をしてください。 ▼「クラスプロファイル」の確認方法▼  
「出席登録」を利用した出席確認	曜日・時限の指定がないため、「出席登録」を利用した出席確認は行いません。出席確認の代わりに、課題の提出状況などで受講状況が把握されます。
注意点	・ オンデマンドとは「いつでも好きな場所で」といった意味ですが、本学のオンデマンド授業は「いつでも」というわけではありません。 ・ 授業各回について、受講開始日（授業資料の公開日）と受講終了日（課題提出の締切日）が定められており、この期間内に受講する必要があります。 ・ 授業各回の受講期間は約 1 週間です。面接形式の授業と同様の進捗となります。 ・ 期間内であれば「いつでも好きな場所で」受講できる授業ですが、一方で、自分 1 人で学修するという意思をもって受講しなければなりません。事前に受講する時間や場所を定め、計画的に受講しましょう。

休講・補講

以下の場合、授業が休講になります。休講になった授業は、別日で補講が実施されます。
各パターンにおける休講・補講通知方法をご確認ください。

授業が休講になる場合	休講・補講通知方法
教員の都合により急遽授業が休講になった場合 休講等の掲示が配信されていないにもかかわらず、授業開始時刻から 30 分経過しても担当教員が教室に来ない等、授業が開始されない場合 ※この場合は教務課へご連絡ください	休講および補講について CUC PORTAL「掲示板」で掲示配信されます。
台風や暴風・豪雨等の自然災害等により、交通機関等に支障が出ると予想される場合	休講については、本学 Web サイトのトップページに「お知らせ」が出されますので、それを確認し、その指示に従ってください。 補講については、授業担当教員の判断により実施有無が決定されます。必ず授業担当教員に確認し、その指示に従ってください。

Q A よくある問い合わせ

Q 補講は、いつ実施されるのか。授業第 13 回終了後に実施されることはあるか。

補講の実施日時は、CUC PORTAL「掲示板」でお知らせしますので、必ず確認してください。
補講日は、学事カレンダーで「補講日」「補講期間」と記載されています。詳細は[学事カレンダー](#)を参照してください。

原則として、補講が行われる曜日・時限は、次のとおりです。

- A**
- ・月 1 回補講日として設定された土曜日
 - ・当該学期の 14 週目の、授業と同一曜日・同一時限

補講は、「リアルタイム型」または「オンデマンド型」の遠隔形式で実施される場合があります。
実施形式は「掲示板」で確認してください。

? 休講・補講の確認方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「2. 掲示を確認する」

課題の提出

レポートなどの課題提出については担当教員の指示に従ってください。

提出した課題は、授業終了後、成績評価が終了するまで必ず保存しておいてください。

CUC PORTAL「課題提出」の「ウェブ提出」の場合、入力途中の内容を誤った操作によって紛失してしまうことがあります。課題作成の際は、まず Word など文章ファイルにて内容を作成し、その内容をブラウザへコピー＆ペーストする形で提出してください。

? CUC PORTAL「課題提出」の使用方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「4. 授業 課題を確認・提出する」

教員への連絡・質問

以下のような授業に関する連絡や質問は、担当教員に直接、CUC PORTAL「授業 Q&A 登録」で行ってください。別途、担当教員から「授業 Q&A 登録」以外の方法で連絡するよう指定があった場合は、その指示に従ってください。

Q A よくある問い合わせ

Q どのような状況になったら、「授業 Q&A」で担当教員へ直接連絡する必要があるか。

基本的には、授業に関する連絡はすべて各教員に連絡・確認してください。
以下が、担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例です。参考にしてください。

A

担当教員に「授業Q&A」で連絡する内容例

- ・ 授業を欠席します（欠席しました）。欠席の扱い・対応を教えてください。
- ・ 授業に遅刻しそうです。遅刻の扱い・対応を教えてください。
- ・ 課題の提出方法が分かりません。
- ・ （何かしらのトラブルにより）課題が提出できませんでした。どうしたらよいですか。
- ・ 課題の提出するデータ、提出先を間違えてしまいました。どうしたらよいですか。
- ・ 授業内容について質問したいことがあります。

? 「授業 Q&A 登録」の使用方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「4. 授業 教員へ質問をする／授業 Q&A 登録」

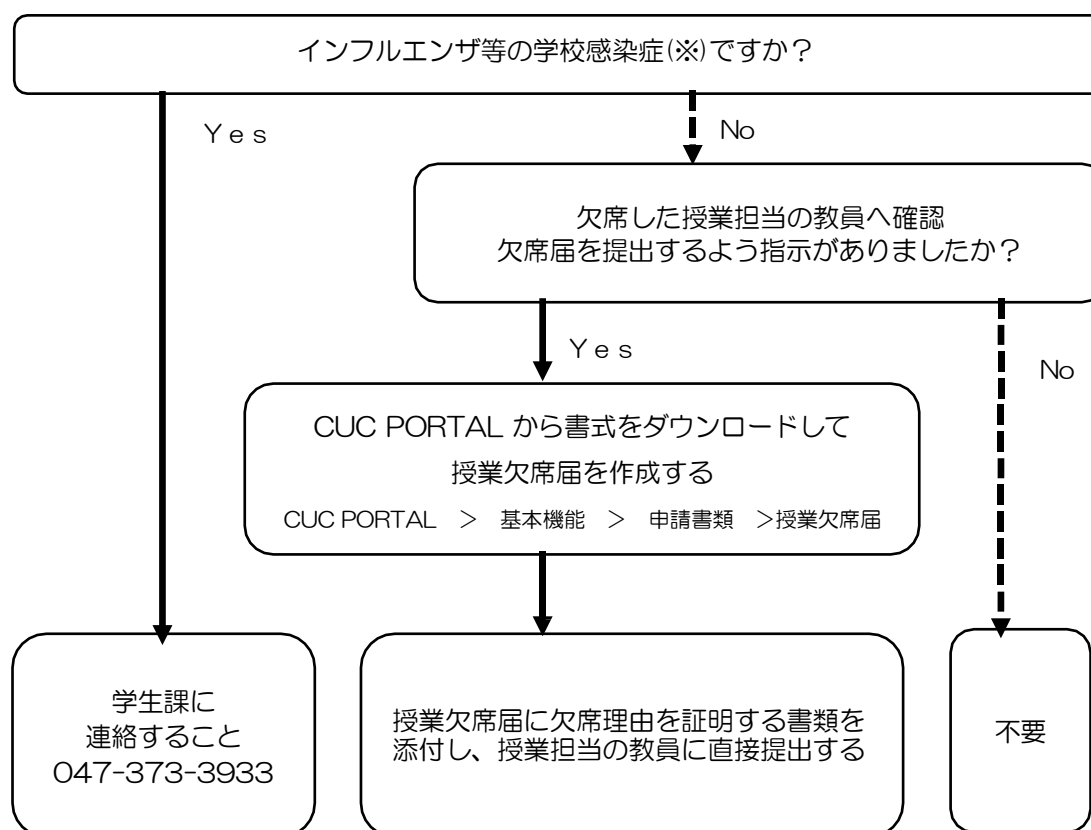
欠席の扱い

授業を欠席する（した）場合は、各自で担当教員に直接報告し、担当教員の指示に従ってください。

担当教員から指示があった場合には、CUC PORTAL に「授業欠席届」がありますので、ダウンロード後、各自で作成し、授業担当教員に提出してください。詳細については、以下「授業欠席届の提出」フローを参照し、各自対応してください。

なお、学校保健安全法に定める感染症等の病気で授業を欠席する（した）場合は、所定の手続きを行うことで欠席の回数から除外されます。治癒後、登校を開始する場合は、本学所定の「登校許可証明書(法定感染症)」又は医療機関の「診断書」を学生課に提出してください。

◆授業欠席届の提出フロー



※学校感染症とは、学校において予防すべき感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、百日咳、麻疹、おたふくかぜ等)です。

詳細は、本学 Web サイト内の「感染症による出席停止等について」を参照。

- ・ 欠席を証明する書類や教員への連絡方法等で不明な点があれば教務課(047-373-9754)にご相談ください。
- ・ 欠席期間が長期にわたり休学等を希望する場合は、学生課に連絡してください。

学生課の連絡先：電話 047-373-3933 / メール gakstf@cuc.ac.jp

不正行為

授業時の試験等において、千葉商科大学学生懲戒規程第5条に該当する行為を行った場合、不正行為とみなし、しかるべき手続きに則り懲戒処分とします。

レポートを執筆する際、出典を明記しないで引用するなどの行為も不正行為となります。絶対に行ってはいけません。

レポートの執筆方法や行ってはいけないことについては、1年次の必修科目で学修しますので、必ず留意しましょう。

授業の受講以外の対応

【授業評価アンケート】

本学では、学生の授業における満足度を高め、教育の質的向上を図るため、各学期末の授業時間中に、履修学生を対象とした授業評価アンケートを実施しています。

このアンケート調査は、その結果に基づき、授業の内容や方法の改善、学生の授業満足度の向上など、授業をより良くするためのものですので、調査への回答に協力してください。

【学修ポートフォリオ】

体系的・計画的に学修を進めるにあたり、適宜、自身の学修行動・学修成果を振り返ることも重要になります。本学では、学生のみなさんが、自身の学修行動・学修成果の履歴を蓄積し、適宜振り返りを行うことができるように、Webを用いた学修ポートフォリオという仕組みを設けています。

学修ポートフォリオとは、自身の学修に関わるデータや課外での取組内容、成果を蓄積し、振り返りを行うためのWebシステムです。

学修ポートフォリオに入力した内容は、指導教員等も確認することができ、適宜、Web上でアドバイスやコメントを受けることができます。学修ポートフォリオを、自身の学修の振り返りや指導教員とのコミュニケーションツールとして活用して、積極的に学修に取り組み、成長に繋げてください。

【オフィスアワー】

各学部に所属する専任教員は、オフィスアワーを設けています。オフィスアワーとは、教員が授業を担当する時間以外に、学生の個人指導や相談にあたる時間のことです。

オフィスアワーでは、専任教員が授業の学修についての質問、学生生活全般、資格取得、就職活動等、様々な相談に応じますので、積極的にこの時間を活用してください。

なお、オフィスアワーの時間帯は、学期の初めにCUC PORTAL（履修関連 > オフィスアワー）でお知らせします。

成績

大学では単位制が採用されています。単位制とは、授業科目ごとに一定の基準により、単位数が決められており、その授業科目を履修し、授業に出席し、教員ごとに定めた評価方法により合格した場合、所定の単位が認定される制度です。

大学における学修の達成度は、修得された単位数をもとに判定されます。

卒業するためには、所定の単位数（124 単位以上）を修得することが必要です。

⑨成績公開日程・確認方法を知る

成績の公開時期

2024 年度秋学期の成績は以下日時に公開されます。

学期	成績公開日時
2024 年度 秋学期	2025 年 2 月 14 日(金)10:00

※授業期間外（休暇期間中）に開講される集中授業を履修する場合、集中授業の成績は上記とは別の日時に成績公開される可能性があります。



成績の確認方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「6. 成績を確認する／成績照会」

Q

A

よくある問い合わせ

Q 成績優秀者の発表はいつか。成績優秀者となる基準はなにか。

成績優秀者表彰制度については、本学 Web サイトを確認してください。

A

▶ 本学 Web サイト > [学生生活](#) > [学費・支援制度](#) > [授業料減免制度](#)
<https://www.cuc.ac.jp/campus/expenses/genmen/index.html>



成績評価・成績表記

成績評価および成績表記は、以下の通りです。

成績評価基準は、科目により異なります。各科目のシラバスにて成績評価の基準を確認してください。

判 定	合 格				不合格	認定	編入学 時認定
点 数	100～ 90	89 ～80	79 ～70	69 ～60	59 ～0		
成績評価	S	A	B	C	F	T	T
成績証明書 (評語)	S	A	B	C	記載 しない	T	T

注：「T」（単位認定、編入学時認定及び再入学時単位認定）は、単位認定制度等により認定を受けた授業科目及び編入学生が本学入学前に他の大学等により修得した単位を包括的または個別に認定した授業科目について表記されます。

Q A よくある問い合わせ

Q レクチャー科目群「その他」はレクチャー科目群の必要単位の 54 単位に含まれるのか。それとも任意選択科目の 28 単位に含まれるのか。

レクチャー科目群の修得済み単位数のうち、科目分類「その他」には、副専攻コースの修得済単位数が重複してカウントされています。

下図の例の場合、科目分類：【その他】の修得済単位数は 30 単位となっていますが、副専攻コースの修得済単位数（8 単位）が重複してカウントされているため、科目分類：【その他】の実際の修得済単位数は 22 単位となりますので、注意してください。

<解説> レクチャー科目＝学部共通+学科基礎+主コース+副コース+（その他-副コース）となるので、下図の場合、56 単位＝10 単位+4 単位+12 単位+8 単位+（30 単位-8 単位）となります

A

科目分類	卒業要件単位	修得済単位	履修中単位	合計単位
レクチャー	54	56	0	56
学部共通	10	10	0	10
学科基礎	4	4	0	4
選択必修	4	4	0	4
選択	0	0	0	0
主コース	12	12	0	12
副コース	8	8	0	8
その他	0	30	0	30
セミナー	14	6	0	6
単位互換	0	0	0	0
教職専門		2	0	2
自由科目		8	0	8

GPA（成績平均点数制度）

本学では、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するために、GPA（Grade Point Average：成績平均点数制）による成績・単位修得状況評価を行っています。

GPA は、それぞれの評価に設定されたグレードポイント（GP）に単位数を乗じた成績点数の和を、総履修単位数で除することによって算出されます。

就職活動における企業の採用基準に GPA や成績評価を取り入れる企業は増えてきています。一旦履修した科目については、途中で放棄することなく、確実に単位を修得するようにしてください。

CUC PORTAL 上の成績照会画面より、その学期の GPA と累積の GPA を確認できます。

なお、GPA は、主に以下の事項について活用しています。

ア．選考、選抜

成績優秀者の選考、給費生の継続給費基準、早期卒業基準、卒業代表者選考、派遣交換留学生の選抜等に使用される場合があります。

イ．学生個人の学修指導

総修得単位数及び GPA が一定基準を下回った学生に対しては学修への取組みに対する注意喚起や指導を行います。

◆GPA の算出方法

判 定	合 格				不合格	認定	編入学 時認定
成績評価	S	A	B	C	F	T	T
グレードポイント (GP)	4.0	3.0	2.0	1.0	0	—	—

《GPA の計算式》

$$\text{GPA} = \frac{(\text{取得単位} \times \text{グレードポイント}) \text{の総和}}{\text{総履修単位数}}$$

注：総履修単位数には、成績評価が「T」（認定）及び卒業要件外科目（教職課程科目、自由科目等）の単位数は含まれません。

◆GPA の算出例

科目名	単位数	評価	単位数×グレードポイント
哲学	2	B	$2 \times 2 = 4$
憲法	2	F	$2 \times 0 = 0$
〇〇学概論	2	S	$2 \times 4 = 8$
△△総論	2	A	$2 \times 3 = 6$
××経済学	2	F	$2 \times 0 = 0$
英語	1	C	$1 \times 1 = 1$
合 計	11	—	19

$$\text{GPA} = \frac{19}{11} = 1.72 \quad \text{※小数点第3位を切り捨て}$$

⑩成績について教員に問い合わせる

成績問い合わせ制度

授業への取組や出席状況、提出した課題の出来、試験の解答等がシラバスに記載の評価方法を充足し、客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ問い合わせできる制度です。

授業担当教員に成績評価の確認を依頼する場合は、以下の内容に従って、所定の期間内に手続を行ってください。

【成績問い合わせ期間】※期間外の申し出や電話及びメール等による問い合わせには一切応じません。

学期	成績問い合わせ期間	【参考】2024 年度秋学期 成績公開日時
2024 年度 秋学期	2025 年 2 月 14 日(金)10:00 ～2 月 17 日(月)12:00	2025 年 2 月 14 日(金)10:00

【成績問い合わせ方法】

手順	対応内容																
1	CUC PORTAL「アンケート回答」を確認する CUC PORTAL > 基本機能 > 回答 > アンケート回答 																
2	アンケート「【全学部】2024 年度秋学期成績問い合わせ申請」に回答する 【アンケート回答項目】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答項目</th><th>入力すべき回答</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員氏名</td><td>(例) 千葉商太 ※フルネームで記載</td></tr> <tr> <td>授業コード</td><td>(例) 9100000 ※学生時間割表に記載されている 7 桁の数字</td></tr> <tr> <td>科目名</td><td>(例) 体育科目 (バドミントン)</td></tr> <tr> <td>曜日時限</td><td>(例) 月曜日 1 時限</td></tr> <tr> <td>現在の評価</td><td>成績照会に記載されている評価を選択</td></tr> <tr> <td>自己評価</td><td>シラバスに記載されている評価方法を参考に自己評価し、選択</td></tr> <tr> <td>自己評価に至った理由および問い合わせ事項</td><td>※シラバスに記載されている評価方法を参考に、自己評価に至った理由(授業の取り組み状況、提出課題の出来、試験の解答状況、点数等)について具体的に記入し、その上で問い合わせ内容を記載してください。</td></tr> </tbody> </table>	回答項目	入力すべき回答	教員氏名	(例) 千葉商太 ※フルネームで記載	授業コード	(例) 9100000 ※学生時間割表に記載されている 7 桁の数字	科目名	(例) 体育科目 (バドミントン)	曜日時限	(例) 月曜日 1 時限	現在の評価	成績照会に記載されている評価を選択	自己評価	シラバスに記載されている評価方法を参考に自己評価し、選択	自己評価に至った理由および問い合わせ事項	※シラバスに記載されている評価方法を参考に、自己評価に至った理由(授業の取り組み状況、提出課題の出来、試験の解答状況、点数等)について具体的に記入し、その上で問い合わせ内容を記載してください。
回答項目	入力すべき回答																
教員氏名	(例) 千葉商太 ※フルネームで記載																
授業コード	(例) 9100000 ※学生時間割表に記載されている 7 桁の数字																
科目名	(例) 体育科目 (バドミントン)																
曜日時限	(例) 月曜日 1 時限																
現在の評価	成績照会に記載されている評価を選択																
自己評価	シラバスに記載されている評価方法を参考に自己評価し、選択																
自己評価に至った理由および問い合わせ事項	※シラバスに記載されている評価方法を参考に、自己評価に至った理由(授業の取り組み状況、提出課題の出来、試験の解答状況、点数等)について具体的に記入し、その上で問い合わせ内容を記載してください。																

手順	対応内容						
	<悪い例・受け付けできない例> ①友人より出席しましたし、テストも受けました。自分より出席していない友人が受かっているのに、自分が落ちた理由が分かりません。 ⇒他者と比較している。試験についての自己評価が具体的に記載されていない。 ②積極的に受講しました。 ⇒具体的な取り組みが記載されていない。 ③内定を得ていますが、このままでは卒業ができないため、どうか評価の見直しをお願いします。 ⇒個人的事情が入っている上に、救済を求めている。 ④単位取得のため、再度課題を与えてください。 ⇒成績評価に関する問い合わせではない。救済を求めている。 ⑤授業内の試験結果が知りたいです。 ⇒試験に対する自己評価が記載されていない。 ⑥全授業に出席しました。課題は期日内に提出したのに評価が F の理由が知りたいです。 ⇒授業への取り組みや課題に対する自己評価が記載されていない。						
3	CUC PORTAL「掲示板」で問い合わせ結果を確認する 【問い合わせ結果配信期間】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th><th>問い合わせ結果配信期間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年生のうち8セメスター以上在学している者</td><td>2月28日(金)10:00～3月31日(月)23:59</td></tr> <tr> <td>1～3年生及び、4年生のうち7セメスター在学している者</td><td>3月7日(金)10:00～3月31日(月)23:59</td></tr> </tbody> </table>	対象	問い合わせ結果配信期間	4年生のうち8セメスター以上在学している者	2月28日(金)10:00～3月31日(月)23:59	1～3年生及び、4年生のうち7セメスター在学している者	3月7日(金)10:00～3月31日(月)23:59
対象	問い合わせ結果配信期間						
4年生のうち8セメスター以上在学している者	2月28日(金)10:00～3月31日(月)23:59						
1～3年生及び、4年生のうち7セメスター在学している者	3月7日(金)10:00～3月31日(月)23:59						

Q A よくある問い合わせ

Q 成績評価に納得できない。教員に直接問い合わせてよいのか。

A 教員には直接問い合わせないでください。
成績評価に関する問い合わせは、「成績問い合わせ制度」のみで受け付けています。
なお、成績問い合わせは授業への取組や貢献度、提出した課題の出来、試験の解答等がシラバスに記載の評価方法を充足し、客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ問い合わせできる制度ですので、留意したうえでお問い合わせください。

⑪証明書を発行する

成績証明書や卒業見込証明書等の各種証明書は、証明書発行サービスからオンライン申請し、コンビニのマルチコピー機を利用して受け取ることができます。

取得方法の詳細については、本学 Web サイトで確認してください。なお、証明書の種類によっては交付に要する日数がかかる場合がありますので、時間に余裕をもって手続きしてください。

本学 Web サイト > 学生生活 > 証明書の発行

<https://www.cuc.ac.jp/campus/certificates/index.html>



発行可能な主な証明書は、以下の通りです。

証明書の種類	取得可能条件	2024 年度発行開始日
在学証明書	在学していること（休学者は除く）	春学期：4 月 5 日(金) 秋学期：10 月 7 日(月)
成績証明書	単位を修得していること	
卒業見込証明書	定められた単位数以上の単位を修得している <u>4 年生</u>	
健康診断証明書	当該年度に定期健康診断を受診し、発行条件を満たしている学生	5月22日(水)

Q A よくある問い合わせ

もっと詳しく知りたい人は、CUC PORTAL > 基本機能 > 証明書 > 証明書に関するQ&A を確認！

Q 各証明書の取得にかかる所要日数はどのくらいか。

A コンビニで発行できる証明書は、申請した日に発行することができます。その他の証明書は 1 週間程度かかる場合があります。

Q 卒業証明書は、いつから、どのように取得可能か。

A 卒業した年度・学期の学位記授与式実施日以降取得可能です。学位記授与式では卒業証明書と成績証明書を 1 部贈呈します。2 部以上必要な場合は、卒業後に証明書発行サービスで申請してください。

Q 単位修得した成績はいつ成績証明書に反映されるか。

A 単位修得した学期の翌学期です。成績公開後、すぐに反映されるわけではありません。
例) 2024 年度春学期に単位修得した科目・成績は、2024 年 10 月 7 日（月）以降に発行する成績証明書に記載されます。

Q 証明書をデータで受け取りたい。

A 提出先に直接 PDF ファイルを送信する機能がありますが、申請者本人がデータで受け取ることにはできません。データが必要な場合は、コンビニで出力した証明書（紙）を PDF ファイルに変換してください。

卒業

⑫卒業生発表日程を知る

卒業は、修業年限を満たし、かつ、卒業に必要な単位を修得した学期末で認定されます。

卒業生発表・学位記授与式日程

卒業生の発表および学位記授与式は、以下日程で行います。詳細は、CUC PORTAL 告示を確認してください。

なお、卒業生発表については、個人情報保護の観点から、電話での問い合わせは一切応じませんので、各自告示を確認してください。

対象	内容	日程等	CUC PORTAL 告示件名 ※告示番号未定
2025 年 3 月 卒業生	卒業生発表日時	2025 年 3 月 10 日(月)10:00	【全学部】告●号※_2025 年度 3 月卒業確定者について
	学位記授与式	2025 年 3 月 20 日(木)午後	【全学部】告●号※_(2025 年 3 月卒業見込者対象) 3 月学部卒業確定者等発表および 3 月学部学位記授与式の開催について

授与される学位

各学部・学科を卒業し、授与される学位は以下の通りです。

学 部	学 科	学 位
商経学部 Faculty of Commerce and Economics	商学科 Department of Commerce	学士（商学） Bachelor of Commerce
	経済学科 Department of Economics	学士（経済学） Bachelor of Economics
	経営学科 Department of Business Administration	学士（経営学） Bachelor of Business Administration
政策情報学部 Faculty of Policy Informatics	政策情報学科 Department of Policy Informatics	学士（政策情報学） Bachelor of Policy Informatics
サービス創造学部 Faculty of Service Innovation	サービス創造学科 Department of Service Innovation	学士（経営学） Bachelor of Business Administration
人間社会学部 Faculty of Humanities and Social Sciences	人間社会学科 Department of Humanities and Social Sciences	学士（人間社会学） Bachelor of Humanities and Social Sciences
国際教養学部 Faculty of Global Studies	国際教養学科 Department of Global Studies	学士（国際教養学） Bachelor of Global Studies

千葉商科大学で身につける「CUC3つの力」と「CUC6つの能力要素」

～カリキュラムマップを活用した体系的で計画的な学修に向けて～

本学では、ディプロマ・ポリシーに基づき、本学として育成する力である「高い倫理観」「幅広い教養」「専門的な知識・技能」を「CUC3つの力」として定めるとともに、「CUC3つの力」を構成する能力要素を「CUC6つの能力要素」として定め、カリキュラムを編成しています。

4年間の学修を通じて、「CUC3つの力」と「CUC6つの能力要素」を身につけ、社会の発展に貢献できる人材へと成長してください。

千葉商科大学で身につける「CUC3つの力」



【ディプロマ・ポリシーより】

<高い倫理観>

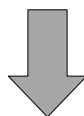
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラル

<幅広い教養>

- ◆ 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力

<専門的な知識・技能>

- ◆ 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力



「CUC3つの力」は、以下の6つの能力要素（CUC6つの能力要素）からなります。

<CUC3 つの力>	<CUC6 つの能力要素>
高い倫理観	社会規範意識・誠実さ
	主体性・責任感
	チャレンジ精神・実践力
幅広い教養	相互理解・コミュニケーション力
	普遍的な知識・技能
専門的な知識・技能	専門的な知識・技能

カリキュラムマトリクスとカリキュラムマップ

本学では、学生のみなさんが体系的・計画的に学修を進めることができるように、「カリキュラムマトリクス」と「カリキュラムマップ」を作成しています。

カリキュラムマトリクス

カリキュラムマトリクスとは、学生のみなさんが履修する各科目と「CUC6つの能力要素」との対応関係を図示したものです。カリキュラムマトリクスにより、自身の身につけたい力・能力要素が、どの科目を履修・修得することで身につけることができるかを一目で把握することができます。また、各科目で身につけることができる能力要素については、シラバスでも確認することができます。

<カリキュラムマトリクス イメージ図>

授業科目名		学問分野	学問分野コード	レベルコード	ナンバリングコード	専門的な知識・技能	幅広い教養		高い倫理観		
						専門的な知識・技能	普遍的な知識・技能	相互理解・コミュニケーション力	チャレンジ精神・実践力	主体性・責任感	社会規範意識・誠実さ
科目区分	〇〇概論					◎					○
	△△入門						◎		○	○	
	科目名称							○		◎	
	科目名称						○	○			◎
	科目名称					○			◎	○	
	科目名称						○	◎			○

※学問分野コード、レベルコード、ナンバリングコードは、「ナンバリング」の項目を参照してください。

<シラバス イメージ図>

科目名	〇〇概論
担当教員名	
・・・	

この授業を通じて身につける〈CUC6つの能力要素〉（主として身につけるもの「◎」を1つ、身につけるもの「○」を2つ以内）					
専門的な知識・技能		普遍的な知識・技能	◎	相互理解・コミュニケーション力	
チャレンジ精神・実践力		主体性・責任感		社会的規範意識・誠実さ	○
CUC6つの能力要素	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html				

科目概要
科目の到達目標

※カリキュラムマトリクスおよびシラバスについては、本学Webサイトを参照してください。

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、「科目間の順次性・関連性」を一目で把握できるように、各学部・学科のカリキュラムを体系的に図示したものです。カリキュラムマップにより、学修したい分野についてどのように学修を進めていけば良いかなどが明確になり、体系的・計画的に学修を進めることが可能となります。

<カリキュラムマップ イメージ図>

	専門的な知識・技能			幅広い教養		高い倫理観		
	専門的な知識・技能			普遍的な知識・技能	相互理解・コミュニケーション力	チャレンジ精神・実践力	主体性・責任感	社会規範意識・誠実さ
	経営	社会福祉	...					
4年次								
3年次								
2年次								
1年次								

※カリキュラムマップの形式は学部・学科によって異なります。本学Webサイトを参照してください。

カリキュラムマップは、科目間の順次性・関連性を図示していますが、必ずしも順番どおりに履修をしなければいけないという訳ではありません。

一部の科目では、ある科目を修得していなければ履修できないというものもありますが、履修したい科目の履修条件を満たしていれば、矢印（→）の前の科目を修得していなくても履修することは可能です。各科目の履修条件については、[履修にあたり条件がある科目について](#)に記載がありますので、カリキュラムマップと履修ガイド・シラバスを適宜参照し、みなさんの学修したい分野について積極的に学修を進めてください。

学修ポートフォリオ

体系的・計画的に学修を進めるにあたり、適宜、自身の学修行動・学修成果を振り返ることも重要になります。本学では、学生のみなさんが、自身の学修行動・学修成果の履歴を蓄積し、適宜振り返りを行うことができるように、Web を用いた学修ポートフォリオという仕組みを設けています。

学修ポートフォリオとは、自身の学修に関わるデータや課外での取組内容、成果を蓄積し、振り返りを行うための Web システムです。

学修ポートフォリオに入力した内容は、指導教員等も確認することができ、適宜、Web 上でアドバイスやコメントを受けることができます。学修ポートフォリオを、自身の学修の振り返りや指導教員とのコミュニケーションツールとして活用して、積極的に学修に取り組み、成長に繋げてください。

ナンバリング

ナンバリングとは、科目ごとに適切なナンバーを付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。学問分野やレベル、学修順序等に応じて特定のナンバーを付与しています。シラバスにも記載していますので、科目選択の参考としてください。

<ナンバリングコードの構成>

AB - DEF I 001

① ② ③ ④

<ナンバリングコードの名称・意味>

- ① 開講部局コード：基盤教育機構、学部を 2 文字の略称で表示します。
- ② 学問分野コード：学問分野を 3 文字の略称で表示します。
- ③ レベルコード：授業科目のレベル分けを数字で表示します。
- ④ 整理コード：001～999 までの数字で表示します。

各コードの詳細については、本学 Web サイトを参照してください。

学籍

修業年限と在学年限

修業年限とは、入学してから卒業するまでに必要な最低修学年数で、通算 4 年と定められています。（学則第 36 条）

在学年限とは、本学に在籍することができる期間で、上限を通算 8 年と定めています。（学則第 37 条）

修業年限 通算 4 年（8 学期）	在学年限 通算 8 年（16 学期）以内
-------------------	----------------------

ただし、3 年次編入学生の場合は、4 年を超えて在学することはできません。（学則第 37 条）

休学

疾病その他やむを得ない理由により、2 か月以上修学できない者は、保証人連署で、願い出て、学長の許可により休学することができます。（学則第 31 条）

休学できる期間の単位は、1 学期または 1 年以内ですが、休学の理由が消滅しない場合は、保証人連署で改めて休学を学長に願い出ることができます。

ただし、休学期間は連続して 2 年、通算して 4 年を超えることはできません。なお、休学期間は上述の在学期間には算入しません。（学則第 32 条第 2・3 項）

復学

休学期間が満了し、休学の理由が消滅した場合は、保証人連署で、願い出て、学長の許可により復学することができます。

ただし、復学は休学した学年とし、時期は学期のはじめとします。

退学

疾病その他やむを得ない理由により退学を希望する者は、保証人連署で、その理由を付して願い出て、学長の許可により退学することができます。その際、理由が疾病である場合は医師の診断書を添えなければなりません。

なお、退学希望日の属する学期に納入すべき学生納付金が完納されていない場合、退学は許可されません。

除籍

次のいずれかに該当する者は、除籍となります。

- (1) 学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 学則第37条に定める在学年限を超えた者。但し、学長が所定の年限を超えて在学することもやむを得ないと認めた者は除く。

- (3) 学則第32条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者
- (5) 当該年度の入学許可者のうち、入学意思のない者

懲戒

本学の規則に違反または学生の本分に反する行為をした者は、学長が懲戒（退学、停学、訓告）します。

転部・転学科

転部とは、現在所属する学部から他の学部に移籍することを言い、転学科とは、現在所属する学部の学科から同じ学部の他の学科に移籍することを言います。

転部・転学科を希望する者は、前年度の 11 月～12 月の所定の期日までに学長に願い出なければなりません。詳しくは教務課までご相談ください。

再入学

本学を退学または除籍になった者で、本学への再入学を希望する者は、所定の手続きを経て、各学部・学科が定める試験を受験し、合格すれば再入学することができます。

再入学を希望する者は、再入学を希望する年度の前年度 11 月～12 月の所定の期日までに学長に出願書類を提出しなければなりません。出願前には必ず教務課にて出願の資格があるか確認してください。

おすすめ検索キーワード集

パソコンにて本データを参照している場合、PDF の「テキストまたはツールを検索」【Ctrl + F】でキーワード検索が可能です。

分からない・気になるキーワードがあれば、検索してみてください。

以下、参考となるキーワードをご参照ください。

区分	おすすめキーワード
履修	い 一次履修登録期間（抽選）
	こ コース ※商経・政策情報学部のみ
	さ 再履修
	さ 三次履修登録期間（修正）
	し シラバス
	じ 事前履修
	じ 自由科目
	じゅ 授業科目配当表
	じゅ 授業時間割表
	しよ 初級簿記 ※商経・人間社会学部のみ
	せ 選択必修科目
	せ 選択科目
	そ 卒業要件
	た 単位認定
	た 体育
	ちゅ 抽選科目
	に 二次履修登録期間（先着）
	ひ 必修科目
	り 履修できる科目
	り 履修できない科目
	り 履修にあたり条件がある科目
	り 履修上限単位数
授業	え 遠隔授業
	お オンデマンド
	か 化学実験室
	か 課題
	が 学生時間割表
	が 学事カレンダー
	きゅ 休講
	きよ 教室

区分	おすすめキーワード
授業	きよ 教科書
	きよ 教員への連絡・質問
	く クラスプロファイル
	け 欠席
	しゅ 出席
	じゅ 授業時間
	ほ 補講
	り リアルタイム
成績	け 健康診断証明書
	ざ 在学証明書
	じ GPA
	しよ 証明書
	せ 成績公開
	せ 成績問い合わせ
	せ 成績証明書
	そ 卒業見込証明書
	ひよ 評価
卒業	が 学位記授与式
	そ 卒業者発表

内容別 事務問い合わせ先

内容により担当部署が異なります。下表を確認のうえ担当部署に問い合わせをしてください。

教務課 047-373-9754 kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp	学部事務課 047-382-5205 office-gkb@cuc.ac.jp
・ 時間割 ・ 履修登録、履修問い合わせ ・ 成績 ・ 単位認定 ・ 授業（休講・補講） ・ CUC PORTAL の操作に関すること	・ ゼミナール選考 ・ ビジネスコンテスト ・ GPS-Academic テスト ・ その他（学部独自の学修プログラム等）

よくある問い合わせ まとめ

①履修登録日程・流れを知る

Q	一次履修登録期間（抽選）で、抽選科目申込をし忘れてしまったが、どうしたらよいか。救済措置はあるか。
A	二次履修登録期間（先着）および三次履修登録期間（修正）で定員に空きがある抽選科目の追加登録が可能です。

Q	履修登録期間外だが、履修を変更（追加・取消）することは可能か。
A	履修登録期間外は、一切履修を変更できません。 履修取消できなかった科目の受講継続有無はご自身で判断してください。なお、受講を継続しない場合も成績評価はされますので、GPA の算出にも影響があることをご理解の上ご判断ください。

Q	三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、授業第 1 回目時点ではまだ履修登録が完了していないが、第 1 回目から出席してもよいか。
A	履修登録が完了していない科目は、出席できません。 ほぼ全ての科目で履修定員を設定しており、定員に応じた席数の教室を設定しています。履修登録していない学生が教室に行くことで、履修登録している学生の席がなくなる可能性がありますので、出席はしないでください。

Q	三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、出席しなかった授業第 1 回目の授業資料が欲しい。
A	履修登録完了後、担当教員にお問い合わせください。教員によっては、すでにクラスプロフィール授業資料などから資料を公開している可能性もございます。

Q	履修取消した科目は、取消以降は出席しなくてよいのか。GPA に影響はあるか。
A	履修取消する科目の授業に出席する必要はありません。また、GPA の算出にも影響しません。

③履修できる科目と事前履修科目を知る

Q	他学部の科目を履修したいが、履修可能か。
A	原則、他学部の科目は履修できません。履修できる科目は、 授業科目配当表 に記載のある科目となります。 授業科目配当表に記載のない科目は履修できませんので、ご注意ください。

Q	必修科目の単位を落とした場合、次学期以降再履修はできるか。再履修の科目内容は同じか。
A	再履修は可能です。再履修時の科目概要は同じです。詳細な授業計画などはシラバスを参照してください。 再履修クラスを履修可能な年度・学期は、科目ごとの開講年度・学期により異なります。科目によっては、再履修する科目が事前履修登録されることもあります。詳細は 再履修科目 を参照してください。

Q	単位認定申請をしたが、申請結果はいつ、どのように分かるか。
A	申請期間終了後、以下を目安に CUC PORTAL の掲示配信にてお知らせします。 (第1期：9/30(月)頃まで 第2期：10/7(月)頃)

Q	申請期間中に必要な合格証書データを用意できない、どうすれば良いか。
A	Microsoft Forms 上での申請を行わず、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。 メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、合格証書を用意できない理由を明記してください。

Q	1度申請をしたが、申請内容に不備があったため、再申請したい。
A	Microsoft Forms による申請は1人1回のみとなります。 申請内容を間違えた場合、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。 メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、再申請をしたい理由を明記してください。

Q	指定 URL をクリックしても Microsoft Forms にログインできない。
A	Microsoft Forms での申請が可能となるのは申請期間中のみです。 まずは、申請期間中であるかどうか確認をしてください。 申請期間中に関わらず、ログインできない場合、大学メールアカウント以外でログインを試みている可能性があります。必ず大学メールアドレスのアカウントでログインするようにしてください。 (〇〇〇〇〇〇@st.cuc.ac.jp のメールアドレス)

④自分の授業時間割を組む

Q	履修登録したい科目の曜日時限に事前履修科目（必修科目）が入ってしまったが、事前履修科目の曜日時限を変更できるか。
A	事前履修科目の曜日時限は変更できません。曜日時限が重なってしまった科目は、同一科目で別の曜日時限に開講されている授業を履修登録するか、次学期以降の履修を検討してください。

Q	時間割に記載されていない科目は、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。
A	履修学期の授業時間割表に載っていない科目は、開講されません。次学期以降に開講される可能性がありますので、開講されている年度・学期での履修を検討してください。

Q	必修科目の再履修の登録は、各自で行うのか。再履修の履修登録方法が分からない。
A	学部学科や科目によって、再履修の登録方法は異なります。詳細は 再履修科目 を確認してください。

Q	自分で選ぶ選択必修科目や選択科目などは選択肢が多すぎて、どの科目を履修したらよいのか分からない。
A	学年によって履修登録できる科目は異なりますが、選択必修科目を優先して時間割を組んでみてください。組んだ結果、空いた時間割や残りの単位数に応じてシラバスを基に興味のある選択科目を履修登録することを推奨します。

Q	科目名の末尾に I・II、(I)・(2)等がついている科目について、I、(I)の単位を修得してなくても II、(2)を履修登録できるのか。
A	学部で条件が定められていなければ履修登録することができますが、II、(2)を履修する場合、I、(I)の単位を修得しておいた方が授業の理解を深めやすくなります。 学部で条件が定められている科目については 履修にあたり条件がある科目について を参照してください。

Q	シラバスを検索しても科目の情報が出てこないときは、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。
A	まずは「授業管理部署」や「開講年度学期」などの検索条件に誤りがいないか確認してください。 正しい検索条件で検索しても情報が出ない場合は、その学期には開講しないということになります。開講がない場合、次年度以降に開講される可能性がありますので、開講する学期に履修することを検討してください。

Q	シラバスに記載されている「先修科目」とは何か。指定された科目の単位を修得していないと履修できないということか。
A	「先修科目」とは、特定の科目を履修する場合、あらかじめ単位を修得しておくことが望ましい科目を指します。つまり、単位修得していなくても履修はできますが、単位修得している方がより科目内容を理解できるということです。

Q	学年が1年となっている科目は1年次しか履修できないか。
A	学年は、履修可能な最低年次を示しています。詳細は 授業科目配当表 を参照してください。

⑤履修登録を行う

Q	抽選申込後、履修上限超過のエラーが出ているがどうしたらよいか、申し込みはすべて無効になるのか。
A	上限を超えて申し込んだ場合、全ての申込が無効になる場合があります。その結果、卒業可否に影響する場合があります。 履修上限単位数を超えて申し込んではいけません。合計単位数には、事前履修登録科目の単位数も含めますので注意してください。 間違えて申し込んでしまった場合は、抽選科目の申込期間内に履修上限単位数以下となるように修正を行ってください。

Q	抽選申込みした科目が時間割表に反映されていないが、落選したということか。
A	落選したこととなります。落選した科目は時間割表に反映されません（落選通知は行っていない）。落選した科目は、二次履修登録期間（先着）で定員に空きが出た場合は先着順で履修することができます。空きが出ない場合は、別科目を二次履修登録期間（先着）で登録することを検討してください。

Q	抽選結果発表日の前に、既に抽選科目の結果が出ている友人がいたが、自分の時間割には反映されていない。自分はすべて落選したということか。
A	抽選結果は「履修登録日程表」でご案内している抽選結果発表日時に公開します。公開前に、システム処理過程の内容が表示されることがありますが、正式な抽選結果は抽選結果発表日時に公開される内容になります。

⑥学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）を知る

Q	ゴールデンウィーク、夏休み、春休みはいつか。
A	休暇期間の開始日および終了日は各自の時間割により異なります。学事カレンダーに数字が記載されていない日は授業がありません。自身の学生時間割表と学事カレンダーを照らし合わせてご確認ください。

⑦授業の準備をする

Q	科目によっては、教科書を購入しなくてもよい科目があるのか。
A	シラバスで教科書名が記載されていない科目または「教科書使用なし」などと記載されている科目は、教科書の購入が不要です。ただし、必ず授業にて担当教員の説明を聞き、教科書購入の必要性を確認してください。

⑧授業を受講する

Q	補講は、いつ実施されるのか。授業第 13 回終了後に実施されることはあるか。
A	補講の実施日時は、CUC PORTAL「掲示板」でお知らせしますので、必ず確認してください。補講日は、学事カレンダーで「補講日」「補講期間」と記載されています。詳細は学事カレンダーを参照してください。 原則として、補講が行われる曜日・時限は、次のとおりです。 ・月 1 回補講日として設定された土曜日 ・当該学期の 14 週目の、授業と同一曜日・同一時限 補講は、「リアルタイム型」または「オンデマンド型」の遠隔形式で実施される場合があります。実施形式は「掲示板」で確認してください。

Q	どのような状況になったら、「授業 Q&A」で担当教員へ直接連絡する必要があるか。
A	基本的には、授業に関する連絡はすべて各教員に連絡・確認してください。
	以下が、担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例です。参考にしてください。
	担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例
	・ 授業を欠席します（欠席しました）。欠席の扱い・対応を教えてください。
	・ 授業に遅刻しそうです。遅刻の扱い・対応を教えてください。
	・ 課題の提出方法が分かりません。
	・ （何かしらのトラブルにより）課題が提出できませんでした。どうしたらよいですか。
	・ 課題の提出するデータ、提出先を間違えてしまいました。どうしたらよいですか。
・ 授業内容について質問したいことがあります。	

⑨成績公開日程・確認方法を知る

Q	成績優秀者の発表はいつか。成績優秀者となる基準はなにか。
A	成績優秀者表彰制度については、本学 Web サイトを確認してください。 ▶本学 Web サイト>学生生活>学費・支援制度>授業料減免制度 https://www.cuc.ac.jp/campus/expenses/genmen/index.html



※商経学部のみ対象

Q

レクチャー科目群「その他」はレクチャー科目群の必要単位の 54 単位に含まれるのか。それとも任意選択科目の 28 単位に含まれるのか。

レクチャー科目群の修得済み単位数のうち、科目分類「その他」には、副専攻コースの修得済単位数が重複してカウントされています。

下図の例の場合、科目分類：【その他】の修得済単位数は 30 単位となっていますが、副専攻コースの修得済単位数（8 単位）が重複してカウントされているため、科目分類：【その他】の実際の修得済単位数は 22 単位となりますので、注意してください。

<解説> レクチャー科目 = 学部共通 + 学科基礎 + 主コース + 副コース + (その他 - 副コース) となるので、下図の場合、56 単位 = 10 単位 + 4 単位 + 12 単位 + 8 単位 + (30 単位 - 8 単位) となります

A

科目分類	卒業要件単位	修得済単位	履修中単位	合計単位
レクチャー	54	56	0	56
学部共通	10	10	0	10
学科基礎	4	4	0	4
選択必修	4	4	0	4
選択	0	0	0	0
主コース	12	12	0	12
副コース	8	8	0	8
その他	0	30	0	30
セミナー	14	6	0	6
単位互換	0	0	0	0
教職専門		2	0	2
自由科目		8	0	8

⑩成績について教員に問い合わせる

Q

成績評価に納得できない。教員に直接問い合わせてよいのか。

教員には直接問い合わせないでください。

成績評価に関する問い合わせは、「成績問い合わせ制度」のみで受け付けています。

A

なお、成績問い合わせは授業への取組や出席状況、提出した課題の出来、試験の解答等がシラバスに記載の評価方法を充足し、客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ問い合わせできる制度ですので、留意したうえでお問い合わせください。

⑪証明書を発行する

Q	各証明書の取得にかかる所要日数はどのくらいか。
A	コンビニで発行できる証明書は、申請した日に発行することができます。その他の証明書は1週間程度かかる場合があります。
Q	卒業証明書は、いつから、どのように取得可能か。
A	卒業した年度・学期の学位記授与式実施日以降取得可能です。学位記授与式では卒業証明書と成績証明書を1部贈呈します。2部以上必要な場合は、卒業後に証明書発行サービスで申請してください。
Q	単位修得した成績はいつ成績証明書に反映されるか。
A	単位修得した学期の翌学期です。成績公開後、すぐに反映されるわけではありません。 例) 2024年度春学期に単位修得した科目・成績は、2024年10月7日(月)以降に発行する成績証明書に記載されます。
Q	証明書をデータで受け取りたい。
A	提出先に直接PDFファイルを送信する機能がありますが、申請者本人がデータで受け取ることはできません。データが必要な場合は、コンビニで出力した証明書(紙)をPDFファイルに変換してください。